キャンディ♡キャンディ ボックス

CANDY♥CANDY BOX

ーなつかしいポニーの丘からー



近藤 恵
川上千恵子

情報センター出版局

CANDY ♥ CANDY BOX

キャンディ♥キャンディBOX

近藤 恵
川上千恵子

情報センター
出版局

ISBN4-7958-2242-5
C0095 ¥1262E
9784795822429
1920095012629
定価(本体価格1262円＋税)



CANDY♥CANDY BOX

CANDY♥CANDY BOX

キャンディス＝ホワイト＝アードレー

赤ちゃんのときに孤児院ポニーの家に拾われ、その色の白さにキャンディス＝ホワイトと名付けられた。ひとりぼっちでもいじけず、明るく真っすぐに成長し、そばかすだらけで鼻ペチャではねっかえりのおてんば娘となる。木登り、かけっこ、投げ縄、ケンカは大のお得意……

（22ページ人物紹介より）

CANDY♥CANDY BOX



photo:Yasushi Kumon

川上千恵子（かわかみ ちえこ・右）

小学一年生の頃、当時カゼをひいたときだけ親が買ってくれた「なかよし」でキャンディと出会う。単行本の一巻から発売日を待ちかねて手にいれた。丘の上の王子さまのバッジをピアノ発表会のときにつける小学生だった。都立芸術高校で近藤と出会い意気投合、大学では美学を専攻し、現在世田谷美術館学芸員。一九六八年生まれ。

近藤 恵（こんどう めぐみ・左）

キャンディと出会ったのは小学校二年生のとき。友達の家でたまたま読んだ単行本でのめり込んだ。以来キャンディの絵を描いたらクラスで一番だった。都立芸術高校卒業後、イラストレーター、漫画家のアシスタントなどを経て、ミニコミ誌「VANDA」を創刊。現在サブカルチャー雑誌「縦横」編集長。一九六八年生まれ。

CANDY♥CANDY BOX

CANDY♥CANDY BOX

近藤　恵
川上千恵子

情報センター出版局

Kondo Megumi

Kawakami Chieko

キャンディ♡キャンディ ボックス

CANDY♥CANDY BOX

—なつかしいポニーの丘から—



近藤 恵　川上千恵子

情報センター出版局

『キャンディ♡キャンディ』ストーリー・ダイジェスト

花の舞い散る五月のある日、アメリカの小さな村にある孤児院ポニーの家の前にバスケットに入った赤ちゃんが捨てられていました。その子の名はキャンディ。やさしいポニー先生、レイン先生に見守られてキャンディは元気に成長しました。

おてんばで明るいキャンディ、でもなかよしのアニーがお金持ちに引き取られ、キャンディに別れをつげた時は、さびしくなって泣いてしまいます。そんな時、突然キャンディの前にバグパイプをもった素敵な少年が現れ、やさしく声をかけてくれたのです。キャンディはこの不思議な少年を忘れられず、心の中であこがれの王子さまとするのでした。



そんなキャンディも十二歳になり、お金持ちのラガン家に使用人として引き取られることになります。そこに待っていたのは、いじわるなニールとイライザの兄妹。でも、あこがれの王子さまにそっくりなアンソニー、おしゃれなアーチー、発明好きのステアにも出会えました。三人はいつもキャンディにやさしくしてくれるのです。

キャンディはイライザたちに毎日のようにいじめられます。ある日、ポニーの家に帰りたい気持ちから、ボー

トで川を下り、誤って滝にのまれてしまいました。おぼれたキャンディを助けてくれたのはアルバートさんでした。見かけよりうんとやさしいアルバートさんにはげまされてキャンディはラガン家に戻りますが、次に待ち受けていたのは、まったく身に覚えのない泥棒の汚名でした。

ラガン家を追い出されたキャンディはメキシコの農場に行くことになります。ところが、アンソニーたちの頼みもあって、アードレー家の大おじさまはキャンディを養女にしてくれたのでした。

アードレー家の養女になったキャンディは大好きなアンソニーたちと幸せな毎日を送ります。しかし、運命のきつね狩りの日、アンソニーは馬から落ちて死んでしまうのでした。悲しみにくれたキャンディは、アードレー家を後にし、ポニーの家に帰ります。でも大おじさまはキャンディにロンドンの寄宿学校に入るようにいうのでした。

ロンドンの聖ポール学院で規則づくめの生活を始めたキャンディは、そこで寂しげな影のある少年、テリィと出会い、いつしか心魅かれていくようになります。ところがイライザもひそかにテリィを愛していたのです。キャンディとテリィの仲に嫉妬したイライザは二人を罠にはめてしまいます。結局テリィはキャンディをかばって退学し、ひとりアメリカへ旅立って行くのでした。

テリィを追うようにアメリカに帰ったキャンディは、自分の道を歩むため、メリー＝ジェーン看護学校に入学し、看護婦を目指します。人の死に接したキャンディは改めて看護婦の仕事のきびしさに気づき、勉強にはげむのでした。

キャンディは正式な看護婦になるために、シカゴの聖ヨアンナ病院に派遣されます。シカゴにはアードレー家の本宅があり、ステア、アーチー、アニー、パティと再会をよろこびあうのでした。

ヨーロッパで戦争が始まり、暗い噂がとびかう中、キャンディはテリィが俳優となって活躍していることを知ります。しかもキャンディのいるシカゴに公演に来るというのです。愛するテリィに一目だけでも会いたいと、キャンディは病院の夜勤を抜け出します。そして舞台の上で光り輝くテリィを見るのでした。話をすることまではかなわなかったけれども、ふたりは心のつながりを確認したのでした。





幸せな気分もつかの間、突然病院に運ばれて来た身元不明の患者は、何とアルバートさんだったのです。アルバートさんは記憶をなくし、別人のように変わっていました。子供のころお世話になった恩返しにキャンディは心を込めて看病します。看護婦の試験に合格し、一人前になったキャンディはアパートを借りてアルバートさんと暮らし始めるのでした。



オーディションで主役を勝ち取ったテリィはキャンディをブロードウェイの舞台に招待します。しかし、テリィは再会を

喜びつつも、なぜか苦悩の色を漂わせるのでした。そう、実は、テリィを愛する美人女優、スザナが彼をかばって片足を失うという事故にあっていたのです。スザナに対する思いとキャンディへの愛のはざまでテリィは苦しんでいたのでした。キャンディがスザナのもとを訪れた時、スザナはテリィの苦しみを察して、自ら死ぬことを考えていました。スザナを助けたキャンディは、スザナのテリィへの愛の深さを知ると、身を引く決心をしてシカゴに帰るのでした。

　シカゴでキャンディを待っていたのは、ステアが兵隊に志願したという知らせでした。ステアは恋人であるパティのふるさとを守るために、ヨーロッパに行ってしまったのです。そんなことで困惑している人たちのなかで、アルバートさんだけが、キャンディの痛みに気がつきます。キャンディはアルバートさんの暖かさに少しずつ傷ついた心をいやすのでした。

　そんなキャンディとアルバートさんの仲を嫉妬するものがいました。ニールです。彼はいつしかキャンディに思いを寄せるようになっていたのです。ニールは自分の思いが通じないことを知ると、アードレー家の力でキャンディを病院からクビにしてしまいます。

　仕事を失ったキャンディはアルバートさんを診ていたマーチン先生の小さな診療所で働くことになりました。マーチン先生は見かけによらず名医で、アルバートさんはついに記憶を取り戻すのです。





悲しい知らせはある日突然届きました。ステアが撃墜され、戦死したというのです。悲しみの中で、キャンディにはアルバートさんだけが心のよりどころでした。しかし、ギャングに疑われて、キャンディに迷惑がかかることを恐れたアルバートさんは、記憶が戻ったことを言えないまま、姿を消してしまいました。

　それから半年近くたってもアルバートさんは見つかりませんでした。キャンディは、寂しさの中で、ポニーの家に帰って看護婦の仕事をすることを決心します。そんな時、大おじさまの命令だといわれて、キャンディはニールと一方的に婚約させられてしまいます。どうにも納得できないキャンディは、レイクウッドにいるという大おじさまに会いに行きます。

　なつかしいレイクウッド。そのアードレー家のサンルームで背を向けて座る大おじさまに、キャンディはニールとの婚約のことを話します。返ってきた声は…それはよく知っている声でした。そう、優しくこちらにほほえみかけるのは、まぎれもなくアルバートさんだったのです。キャンディを養女にしたウイリアム大おじさまの正体は実はアルバートさんだったのです。もちろんニールとの婚約は取り消してもらいました。

　でも、キャンディはやっぱりポニーの家に帰ることにしました。ポニーの家や小さな村では自分を必要としているのです。

　ふるさと、ポニーの家に帰ったキャンディは、子供のころと同じように丘をかけ登ります。すると、優しい声が…「おちびちゃん　わらった顔のほうがかわいいよ」と。それは忘れるはずもない、丘の上の王子さまです。振り返ると、そこに立っていたのは、丘の上の王子さま―アルバートさんだったのです。

現在発行されている『キャンディ♡キャンディ』3種



●講談社コミックス版

1975年10月の第1巻初版発行から21年を過ぎた今でも版を重ねる「講談社コミックスなかよし」の『キャンディ♡キャンディ』。装丁が少し変わったけれど、カバーイラストはそのままで、キャンディと出会った頃の少女時代を思い出させてくれます。

／講談社刊



●愛蔵版

『キャンディ♡キャンディ』を全2巻にまとめた愛蔵版。1991年刊行。「いがらしゆみこコスチュームプレイ全集」として刊行された、全5巻のうちの2巻目と3巻目。厚さのあるA5サイズなので本を開くと雑誌で読んでいる雰囲気もする。机に向かって集中して読むのがおすすめ。画面が大きいので『キャンディ』の世界に浸れます。

／中央公論社刊



●文庫版

『キャンディ♡キャンディ』を全6巻にまとめた文庫サイズの「中公文庫コミック版」。1995年刊行。電車の中で通勤中にも読めるお手軽サイズ。表紙にスコットランドっぽいタータンチェックを使い、タイトルまわりも黒になっていて、大人っぽい雰囲気。

／中央公論社刊

当時のキャンディグッズ

キャンディ人形、かんごふさんセット、ミスマンガ家……クラスの誰かがどれか持っていた。なつかしのグッズたち。









1 おすましキャンディ
2 オフロセット
3 キャンディ人形
4 ミスマンガ家
5 かんごふさんバッグ
6 いんさつやさん



1975年4月号から月刊「なかよし」に連載開始された『キャンディ♡キャンディ』。連載開始の次の号で表紙を飾り、以後一月おきに表紙になっていることから、当時の人気のすごさがわかる。右端は連載終了の号。
(左から「なかよし」1975年10月号(開かれている本)、5月号、7月号、9月号、1979年3月号)

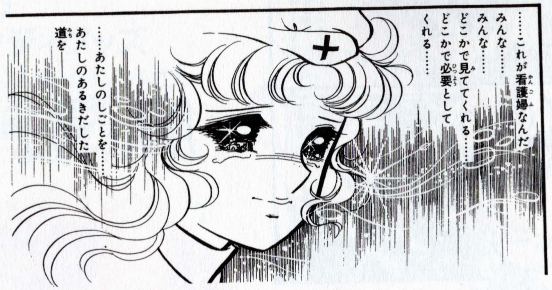


解説

このお話は単なるラヴ・ストーリーでもサクセス・ストーリーでもありません。キャンディというひとりの少女―どこにでもいそうな、明るくおてんばで素直な、そんな少女の「生き方」を書いた物語です。当時、ほとんどの少女に読まれ、愛された物語は、大人になった今でもバイブルとして心に残っています。

この物語は大きく分けて四部構成となっています。仮に名前をつけさせてもらえば、第一部レイクウッド編（ポニーの家に拾われるオープニングからアンソニーが亡くなって再びポニーの家に帰るまで）、第二部ロンドン編（～聖ポール学院を出てポニーの家に帰るまで）、第三部看護婦編（～テリィと別れるまで）、第四部自立編となります。大きな流れは少女が自我に目覚め、アイデンティティを確立していく過程なのですが、四部それぞれが一つのストーリーとして成り立つ構成になっています。

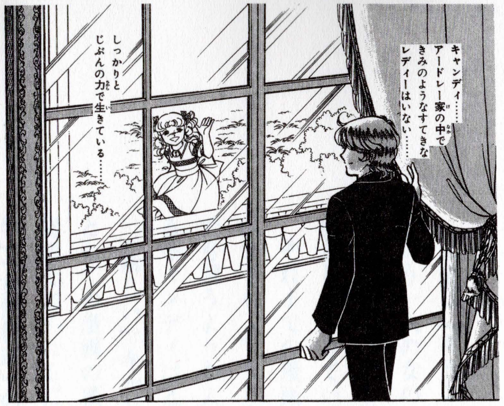
まず、レイクウッド編は孤児であるキャンディが数々の苦難を乗り越えて大おじさまの養女となり、幸運をつかみ取るストーリーです。しかし、初恋の人アンソニーの死をきっかけにキャンディはその幸運を自ら捨て、ポニーの家に帰ります。ここで自我の目覚めを感じさせ、話は第二部へ移



ります。

ロンドン編では恋愛をベースにキャンディの内面の成長と充実が書かれています。恋愛、友情、派閥、組織としての学園への反発、ここだけをとれば、完全に学園ものと言えるでしょう。奔放なキャンディが社会への一歩を踏み出すのです。この第二部の終わりで初めてキャンディは自我の確立を意識します。これまで運命に対して受動的だったキャンディは自分の生き方を自分で探し始めるのです。

それはまず形から、職業として見つけました。看護婦編でキャンディは経済面、精神面で自立します。人に頼ることがなくなったのです。アードレー家の後ろ盾を捨て、恋人とははなればなれ、ステア、アーチーはすでにキャンディのことだけを考える立場ではなくなっています。そして心の保護者といえるアルバートさんは記憶をなくしていました。キャンディは自分の運命に自分の力で立ち向かいます。しかし、どんなに前向きであってもどうにもならなかった人の死、そしてテリィとの別れという経験によりさらに成長します。今まで自我に影響する大きな問題の後では、必ずポニーの家に帰るキャンディでした。マクレガーさんの死に際してもポニーの家に帰ったので



す。これはキャンディが真に自立していないことを象徴的に表していました。しかし、テリィとの一件は、自分自身で受け止めます。

第四部自立編は、ストーリーとしても様々なできごとが起こり、魅力的ですが、一つの主題で成り立つというよりは全体のまとめとしての役割を果たします。ここで自分自身と自分の運命を受け入れたキャンディに、自我の確立があります。自分の運命は自分で決める、それが幸せであることに気づくのです。幸せは、待っていてもくるかもしれない、でも自分でつかんだのなら十倍も素晴らしいものに違いないのです。

最後にキャンディは再びポニーの家に帰ります。しかし、それはあたたかな家庭に逃げ込むことではなく、自らの道を選んでの決心なので、「帰る」というよりはむしろ「行く」という表現がよりふさわしいのです。

少女たちはキャンディから生き方を学びました。でもそれは生き方のマニュアルではなく、いつでも自分らしく、できることをするという、とても自然なことだったのです。今、大人になったあの頃の少女たちはなつかしいこの物語をいつか自分の娘にも読んでもらいたいと思っていることでしょう。

はじめに

私達は『キャンディ♡キャンディ』と共に少女時代を過ごしました。いわば、キャンディという一人の女の子を誰もが友人にして育った世代です。この私達の世代は、昔、『赤毛のアン』が発表された時代に少女だった世代と同じく、友人でありながら先輩となって一人の人間として生きていく主人公に、女性としての新しい生き方を教わりました。

それまでの漫画などのヒロインのほとんどは、地味で目立たない子も、おちゃめでおてんばな子も、すてきな殿方の目に留まって結婚して若奥様になるのが女の子の最高の幸せ、とでも言うような人生を生きていましたから、「自分で自分の道を選ぶ」という生き方をしているキャンディはとても新鮮で、私達は自然に、自分らしく生きることを教わったのです。「新しい」キャンディに少女の誰もが惹かれ、『キャンディ♡キャンディ』は「子供向け」としての漫画の領域を大きく越えて、社会現象にまでなり、日本のみならず海外にまでその物語を知られるに至りました。それは、『赤毛のアン』や『若草物語』などの小説が「少女文学」「女性作家」の社会的位置づけの格を上げたように、日本の「漫画」という文化形態の格を上げたという、文化史に残る大きなできごとでもありました。

キャンディから一つの生き方を教わった、この本の著者である私達も、たぶんほとんどの

当時の少女たちと同じく、自身のアイデンティティの形成に大きな影響を受け、そのもとに生きてきました。そして大人になった今、新たな目で『キャンディ♡キャンディ』を読み、初めて自分達にとってのキャンディの意味に気づきました。

ちょうど、私達の年齢は仕事も軌道に乗り、結婚、出産、子育てなども迎える時期、これからの人生の選択期にあります。私達二人は同じ世代の女性達にこの本を通じてキャンディという友人がいたこと、キャンディのいる世界で胸をはずませた少女時代を思い出してもらい、もう一度大人になった今、キャンディと会ってその生き方を見つめることで、自分自身の選びとった生き方への自信を深めてもらいたい、と考えています。

そして、自分の子供達にも『キャンディ♡キャンディ』を読ませ、自分の人生は自分で選ぶことが大切なのだと伝えてほしいと願っています。

『キャンディ♡キャンディ』から私達二人の感じたことを楽しみながら、一冊の本として素直に形にしてみました。あのころを思い出しながら一緒に時を過ごしていただけたら、と思います。

一九九六年九月

川上千恵子
近藤　恵

CANDY♥CANDY BOX

CONTENTS

CANDY♥CANDY BOX

BOX1 PERSONS

BOX2 HISTORY

BOX3 PEOPLE

BOX4 WORLD

BOX5
MANIA

BOX6
THE ACADEMIC

BOX7
INTERVIEW

BOX8
ENCYCLOPEDIA

BOX 1 ♥ PERSONS

・メインキャラクター紹介
・図解・華麗なるアードレー家

●図版・セリフ等の使用テキスト
『キャンディ♡キャンディ』全巻
いがらしゆみこ　原作：水木杏子
「講談社コミックスなかよし」全9巻・講談社刊
「中公愛蔵版」全2巻・中央公論社刊
「中公文庫」全6巻・中央公論社刊
●本書中に登場人物の初出ページ、「ステアの発明品」の登場ページなどを表記した部分がありますが、次のように見てください。
例：本書62ページの人物紹介でジョルジュの欄の後に（2 - 23p ／ 上 - 224p ／ ① - 222p）とある表記では、
2……「講談社コミックス」での巻数
上……「中公愛蔵版」の第１巻（下は第２巻）
①……「中公文庫」での巻数
を表わし、その後の数字がページを表わします。

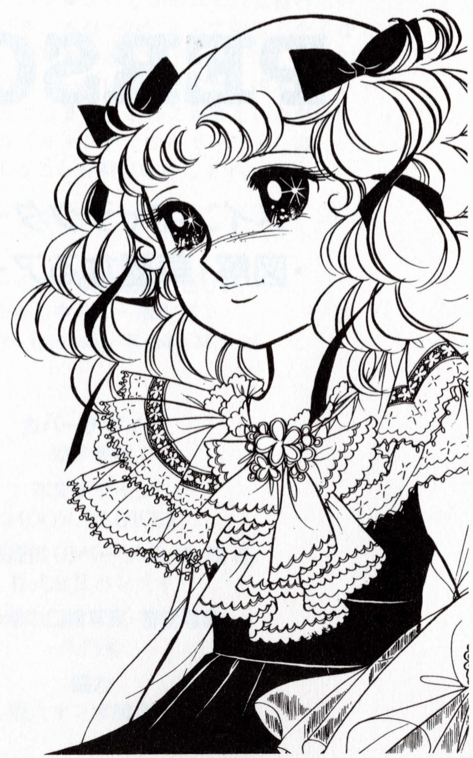
●キャンディの多くのファンの方がそれぞれに持っている理解の仕方や思いを、本書のみによって限定したくないという理由から、原作者の水木杏子先生には、本書の刊行にあたり「刊行については認めますが、内容については関与しないことにします」とのご返事をいただいています。本書は名作『キャンディ♡キャンディ』の、一つの理解の仕方であることを明記いたします。

カバー・口絵・本文図版／セリフ
いがらしゆみこ・水木杏子

カバーデザイン
室伏香枝
本文デザイン
MOON FLOWER
口絵写真提供（8ページ：2, 4, 5, 6）
株式会社バンダイ
その他の口絵写真・著者写真
久門易
協力
現代マンガ図書館

CANDY

キャンディス＝ホワイト＝アードレー



赤ちゃんのときに孤児院ポニーの家にひろわれ、その色の白さにキャンディス＝ホワイトと名づけられた。ひとりぼっちでもいじけず、明るくまっすぐに成長し、そばかすだらけで鼻ペチャではねっかえりのおてんば娘となる。木登り、かけっこ、投げなわ、ケンカは大のお得意。素直でやさしい心と思い立ったらすぐ実行する行動力をあわせもち、まわりにいる人間はそんなキャンディを愛しつつ、ハラハラさせられる。特別美人ではないけれど表情豊かでくったくのないグリーンの瞳で人を魅きつける。

実際男の子によくもてるけれど、残念ながら人生いろいろ、大切な思い出と人生の道しるべを残し、彼らはキャンディのもとを去っていく。

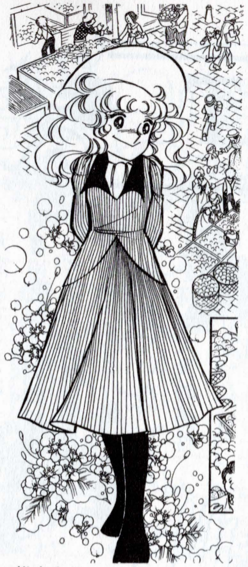
ラガン家のお嬢様の話し相手として引き取られ、馬番、女中見習いと苦労を重ね、十三歳の時にアメリカの大金持ちアードレー家総長の養女となる。その後初恋の人、アンソニーの死に際して、「運命は人からもらうものではない」というアルバートさんの言葉をきっかけに自分の生き方をさがし求めるようになっていく。

出会いと別れ、いろいろな経験を経て、ようやく見つけた自分の道を歩むべく看護婦となり、希望を胸に生まれ育ったポニーの家に帰る。

どんなときにも自分らしさを見失うことなく、不幸を不幸だとは意識せずに、その中にある一条の光を大切にできる、そんな前向きな明るさが魅力の女の子。

『キャンディ♡キャンディ』の主人公。

「さっきのことぐらいでくじけてたまるもんですか
あたしは幸福への第一歩をふみだしたのよ」
「キャンディはだれも見てないとすぐ泣くんだから」



推定身長 160cm くらい
推定体重 48kg くらい
B 83・W 60・H 85…かな？

成長の記録



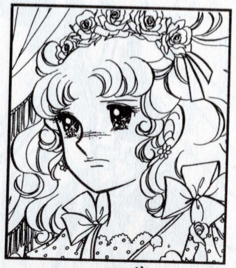
6歳



赤ん坊時代



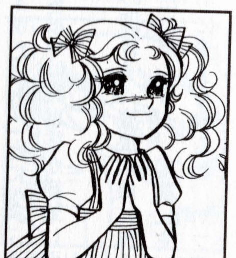
0歳



17歳



15歳



12歳

ALBERT

ウイリアム＝アルバート＝アードレー

大富豪アードレー家の御曹司にして影の総帥。富や名誉よりも自然を愛し、動物たちと一緒に放浪生活をしていた。少年の心を持つ大人の男性。

アルバートさん＝ウイリアム大おじさま＝丘の上の王子さま、賢明な読者は途中で気づいたことだろう。実際、連載中のずいぶん早くからそういう噂も流れていた。

偶然、滝に落ちたキャンディを助け、その後キャンディを養女にし、遠くから見守り続けることになる。記憶をなくし、キャンディと暮らすようになってからはキャンディに深くかかわることに。

奔放なわりに細やかで適切な采配をふるう。そして大きく構えて始終目を細め、笑顔以外の顔は滅多に見せない。まさにキャンディが頼るにたる男。また、ふとした表情に浮かぶ影が、女心を刺激する。が、実は亡き姉の思い出をひきずるシスター・コンプレックス…。

大人になって考えてみると出来過ぎのヒーローぶり、王子さまになってほしいタイプだったことに気づく。だが記憶を失ったときの不安定さは実は彼が窮地に弱いことを示しているのかも。

しかし、この気楽な富豪の御曹子、放浪の旅に出る前には高い教育を受けていたのだろうが、定職にもつかずふらふら遊び歩いて勝手に養子を取るわ、アフリカに行くわ、果ては兵隊に志願するわの放蕩息子……そういう社会勉強のかいあって確かに大物。腕もたつと見え、そのうえ物知りで優しい。寡黙で頭が良く、さすが年の功と思わせる殺し文句を絶妙のタイミングで放つ。だから彼には物語の中心になる名セリフが多い。



名セリフ

「おチビちゃん　わらった顔のほうがかわいいよ」

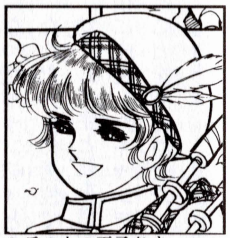
「キャンディ……運命はね　人からもらうものじゃないんだよ　じぶんの手できりひらくものなんだ」

「キャンディ……一つのものを二人でわけあうっていいことだね……」



偶然の出会いが重なるごとにキャンディとの関係が近いものとなっていった

アルバートさん六変化



1. 丘の上の王子さま (1-137p/上-139p/①-137p)



2. アルバートさん（髭面）(1-22p/上-24p/①-22p)



3. アルバートさん（髭なし）(3-127p/上-507p/②-189p)



4. アルバートさん（金髪）(6-193p/下-291p/④-291p)

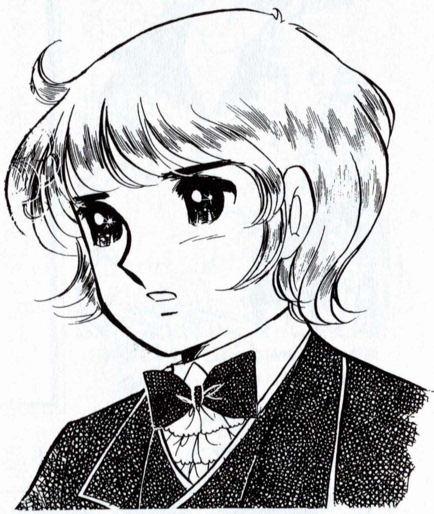


5. アルバートさん（短髪）(8-36p/下-570p/⑤-278p)



6. ウイリアム大おじさま (9-148p/下-884p/⑥-270p)

ANTHONY
アンソニー＝ブラウン



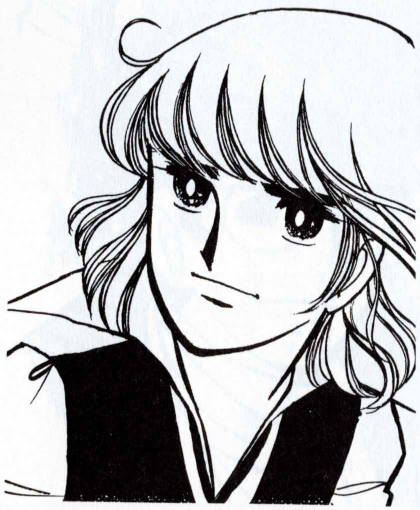
アードレー一族、ブラウン家の一人息子。
キャンディの本当の意味での初恋の相手。キャンディがあこがれた丘の上の王子さまによく似た面差しをしている優等生的な正統派のハンサム。バラの品種改良が趣味の小公子。やさしげでおとなしいが、自分の信念に対してはゆずらない頑固さを持つ。
キャンディとの仲が少し気まずくなったときのフォローがロマンチックで絶妙。胸がキュンとなる初恋を見事に演出する才能がある。そんなキャンディとの淡い恋もはかなく、バラの咲く初夏のきつね狩りにて落馬し命をなくす。
キャンディに丘の上の王子さまのことを「心あたりがあるんだ」と言っていることから、王子さまの正体を知っていたと思われる。
マザー・コンプレックスの気が強く、よくキャンディを見て母・ローズマリーを思い出していた。しかし、大人になったキャンディとの結婚を思い描いたただ一人の男性でもある。
幼くして生と死を悟った彼の言葉は、後に成長したキャンディに生きるということを考えさせた。
（1・49p／上・51p／①・49p）

名セリフ

散るから花は美しいんだよ　花は散ってより美しく咲き
人は死んで……人の心の中により美しく永遠によみがえるんだ

TERRY
テリュース＝G＝グランチェスター

イギリスの名門貴族グランチェスター公爵とアメリカの美人女優エレノア＝ベーカーの間に生まれた私生児。通称テリィ。母親には捨てられたと思い込み、公爵家の体面を重んじる父親には反抗していた。おまけに継母や異母兄弟との折り合いも悪く、お酒、たばこ、ケンカと規則やぶりの常習犯という不良だった。キャンディに会ってから、その破天荒さと明るさにひかれ、少しずつ心を溶かしていく。母の血を濃く受け継いだのか演劇に並々ならぬ才能を示し、学院を出てブロードウェーでデビュー、即トップスターに躍り出る。が、彼はニヒルでハンサムだったため、よくもててトラブルも多い。美人女優スザナに身をていして事故から救われて、彼女への恩義とキャンディへの愛の間で悩むことになる。
生来の情熱ゆえに、あたたかでやすらぎに満ちた恋愛など望めるはずもなく、キャンディとの恋愛はいろいろな意味で激しいものとなった。結果的にキャンディとスザナの話し合いにより、スザナの伴侶に決定。精神的にズタズタになった時期もあったが、おそらく責任を持ってスザナを幸せにしたはずである。
本来は真面目で繊細な芸術家肌で、孤独を匂わせる大人っぽさと強引とも思える行動力が魅力。
（3・18p／上・398p／②・80p）



名セリフ

おれはとうさんみたいな愛しかたはしない！
そんなふうに人を愛しはしない！

STARE

アリステア＝コーンウェル

アードレー一族、コーンウェル家の長男。アーチーの兄。通称ステアと呼ばれる。

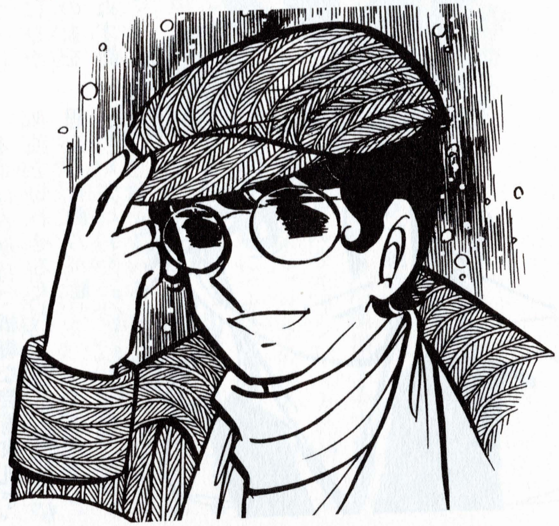
発明好きでいろいろなものをつくるがそのほとんどは失敗作。しかし、すぐ壊れてしまうとはいえ、ちゃんと使える車や飛行機をつくったのだから、才能はあるらしい。

第一次世界大戦が起きた時、早く平和を取り戻そうと、志願兵としてフランス空軍に参加。少尉となるが、ドイツ軍との空中戦にて騎士道精神を見せたために撃墜され、この世を去る。

明るくて冗談好きだが、人づきあいに関してはつねに一歩ひいてこまやかな気配りを見せた。それゆえキャンディへの自分の気持ちがあこがれに近いものといち早く気づいたのかもしれない。聖ポール学院でパティと出会って最高のパートナーを得、そのままいけば幸せな家庭を築けただろう。しかしコーンウェル家をついでもあれこれと新事業に手を出しすぎてアードレー家の子会社を山ほどつぶしたかもしれない。

何度読んでも泣かせてくれる名脇役。

（1・68p／上・70p／①・68p）

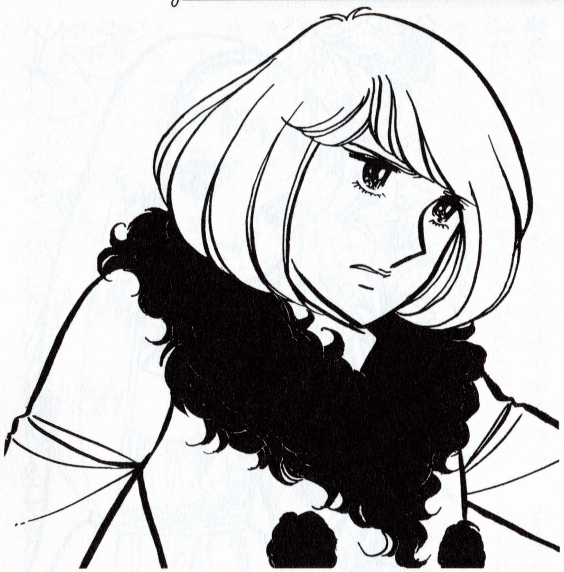


名セリフ

パティ……このかぎりなく広がる夕やけを
いつかきみに見せてやりたい……

ARCHIE

アーチーボルト＝コーンウェル



アードレー一族、コーンウェル家の次男坊。通称アーチー。ステアの弟。おしゃれでキザで美少年。少し派手好きとも思えるフリルやレースのシャツをいつも着こなしている。兄とはとても仲が良いが性格も容貌もまるで似ていない。行動がストレートで感情的なのは性格というよりも、おそらく年少のせいだろう。実は真面目で実直な面を持つ。

始めは、ちょっと可愛い女の子をからかう調子でキャンディに接するが、次第に本気になっていく。まともにキャンディに告白をしたのは彼だけであった。しかし、長年に渡り慕ってくれたアニーの気持ちに応え、キャンディをあきらめることに。それでも、彼はテリィを嫌っていたため、素直にキャンディとテリィの仲を認めることはできず、終わり近くまでテリィには反感を抱いていた。

アンソニー、ステア、と仲良く育った仲間を失い、最後に一人残される。

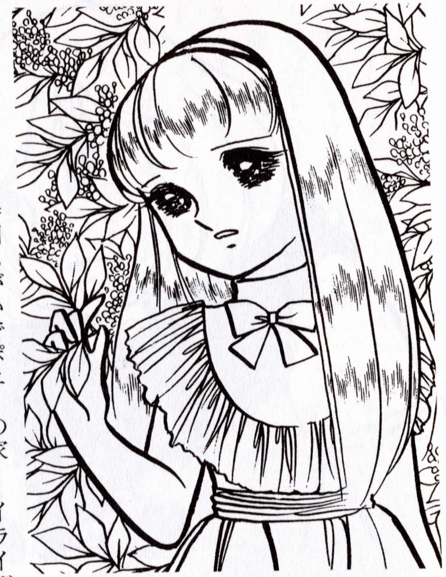
（1・65p／上・67p／①・65p）

名セリフ

このシルクのブラウスをごらん　高かったんだよ
ぬらせると思うかい？

ANNY

アニー＝ブライトン



キャンディと一時間ちがいでポニーの家にひろわれ、キャンディとは双子のように仲良く育った。さらさらの金髪にかわいらしい顔のきゃしゃな女の子。六歳のとき死んだ娘に似ているという理由で、お金持ちのブライトン家にもらわれる。養父母には大切にされるが、孤児院で育ったことが友達の誰にも言えずコンプレックスになっていた。おてんばなキャンディとは対照的に女の子らしいおとなしさや弱さが目立ったが、このコンプレックスを乗り越えた後は、落ち着きがあり芯の強い本来の自分を取り戻した。

アードレー家と肩を並べたがっているブライトン家のお嬢様としては、アーチーを好きになってもアードレー一族の人に対して下手な行動はできなかっただろうし、苦手なイライザともきちんと友達付き合いしなければならなかっただろう。それを考えると、純真な少女としてのキャンディとの楽しい暮らしからブライトン家への突然の環境の変化は、彼女にとって幸せも多ければ試練も多い道のりであったかもしれない。そのような中で、恋心に任せてたった一人でロンドンまでアーチーを追える情熱はたいしたもの。（1・5p／上・7p／①・5p）

名セリフ

人をすきになるってたのしいことばかりじゃない……

PATTY

パトリシア＝オブライエン

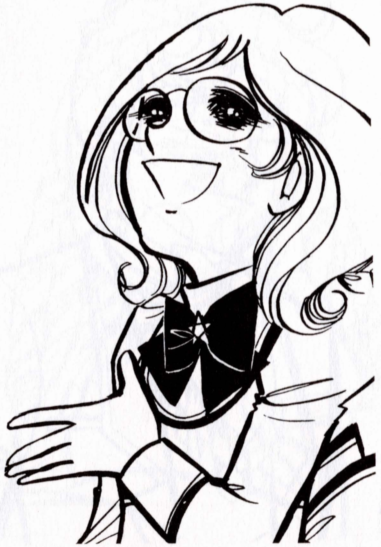
キャンディが聖ポール学院で知り合った、ちょっと太めのイギリス人の女の子。生き生きとした笑顔が、とても可愛い。

アニーをのぞいて、キャンディの一番初めの女の子の友達。寮の部屋が隣で、特別室に入ったキャンディに挨拶に来たのが始まりだった。キャンディには好意を持つが、気の弱さから初めのうちはイライザのいじわるに加担してしまう。しかし、負けないキャンディに勇気づけられたのか、キャンディのとなりの席に来てからなかよくなっていく。

五月祭（メイ＝フェスティバル）で偶然ステアと出会い、恋に落ちる。それからの彼女は以前のおどおどとしたところを感じさせず、自分の意志が出てきて、本来の姿を見せ始めた。第一次世界大戦が始まってからはアメリカのステアのもとへ亀のヒューリィと一緒に疎開。しかし幸せな時間もつかの間、ステアの出征、戦死とつらい状況にさらされることになる。

穏やかで優しく、男性陣のステアと同様、落ち着いたお姉さん的性格を持つ。温厚なように見えて、芯の強い情熱家である。実は登場人物中、誰よりも気が強いのでは？

（3・41p／上・421p／②・103p）



名セリフ

ステアは死んじゃいないわ！あの鐘をとめて……とめて！

NEILL
ニール＝ラガン

アードレー一族、ラガン家の長男。イライザの兄。性格はまがっているが妹よりちょっと気が弱い。いとこ同士でもアンソニーたちと仲良くすることはなく、イライザとばかり行動を共にしていた。

得意技は弱いものいじめで、キャンディがラガン家に来てからずっと、イライザとあの手この手でキャンディに意地悪をくりかえしていた。しかし、いつも負けずに明るいキャンディの魅力に気づき、いつしか意地悪は幼稚な好きな子いじめに変わっていく。最後はステアの死を利用してキャンディに婚約を迫り、自滅した。

お金持ちのおぼっちゃまの失敗作にありがちな、実力を伴わないプライドの塊で、虚勢をはらずにはいられないらしい。思い込みが激しく人の心が理解できない。キャンディを好きになったあたりでの彼の将来の夢想はあまりにピントがずれていて幼児の語る夢のようにほほえましくもある。……近くにいてほしくないタイプだ。（1・36p／上・38p／①・36p）



名セリフ

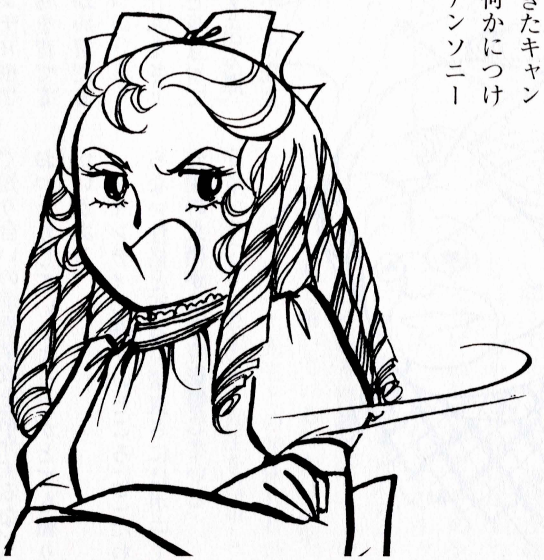
このぼくがおまえと結婚してやってもいいっていってるんだぞ！

ELIZA
イライザ＝ラガン

ラガン家の長女。アードレー家の従兄弟たちの中では唯一の女の子。くるくるたてロールのお嬢様で、わがままに育てられた。プライドが高く、思い込みの激しい直情型。

話し相手として引き取られてきたキャンディを、兄のニールと共謀し、何かにつけいじめる。キャンディの出現でアンソニーに失恋し、またアンソニーの死もキャンディのせいだと思ってキャンディを憎む。その後好きになったテリィもキャンディに取られたことで、キャンディへの憎しみは高まるばかり。いじわるもさらに陰湿になり、ひどさが増した。おまけに兄のニールもキャンディに魅かれ、こっぴどく振られることになる。

いじわるな女の子の代名詞になったほどのイライザだが、よくよく考えると彼女がキャンディにいじわるをしたくなるのもわかる気はする。表情豊かで美人だが、豊か過ぎて表情が歪むのが難点。（1・36p／上・38p／①・36p）



名セリフ

あたしあの子がヘラヘラ笑ってここにいるのがたまらないの
あの子がベソかいて無一文でこのシカゴからでていかないかぎりイライラするわ

PONY
ポニー

ポニーの家の院長先生。キャンディやアニーなど、身寄りのない子供たちを育てている。おおらかでポカポカと暖かい日だまりのような人。
心からポニーの家や丘を愛し、ふるさとを必要とするキャンディをずっと見守っている。キャンディがポニーの家を出る際、自分のクルスをあげた。以来、ポニー先生のクルスは王子さまのバッジ、アンソニーの写真と並んでキャンディの大切な宝物となる。
ポニーの家は教会なので彼女もシスターなのかも。しかし、立ち退き問題のときなど、教会の関係者が登場しないし、教会なのに「ポニーの家」と呼んでいることから、子供たちのために私財を投じて孤児院を始めたすごい人なのかもしれない。
キャンディの就職相談にも、すぐ知り合いの看護学校を紹介するなど、おっとりしているようだがとても頼りがいがある。
キャンディの細かいところにこだわらない性格と明るい素直さにはポニー先生の人柄が大きく影響している。

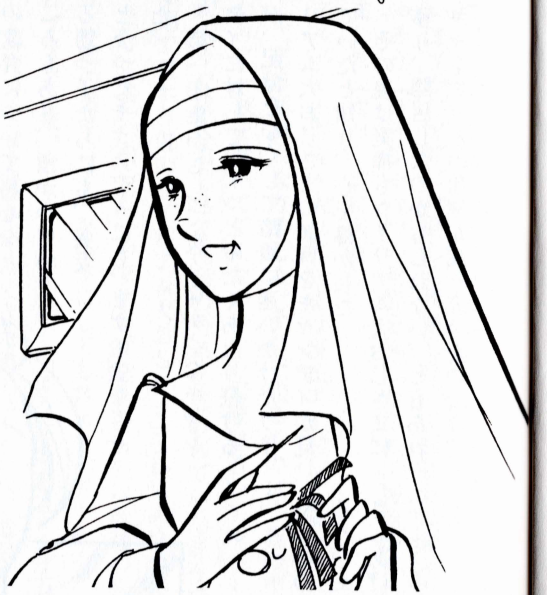
(1・6p/上・8p/①・6p)



名セリフ

あの子にはあの子なりの理由があってやってることだから
しかってもしょうがないでしょう

RAIN
レイン



ポニーの家で働いているシスター。捨てられていたキャンディを見つけ、ひろう。
キャンディにとって母親的存在。ポニー先生と比べると、神経質でしつけにうるさいところもある。キャンディの破天荒さにいつもおろおろさせられ、きびしくしかることもあったが、誰よりもキャンディを心配している人。
物語の中で一番長くにわたって登場する人物のひとり。なんと十七年間。始めの方は地味ながら、まだうら若い婦人であったが、本編が軌道にのる十二年後にはすっかり老け込んでいた。そのシワの一本、一本に対するキャンディの責任は重いだろう。
どういう経緯でポニーの家で働いているのかは不明。ポニー先生との関係もわからないが、きっとポニー先生を尊敬し、一緒に仕事をしているのだろう。

(1・4p/上・6p/①・4p)

名セリフ

たいせつなのは心です　人と人とのつながり
いたわり　思いやり　やさしさ　どんなことにもたちむかう勇気

ELROY

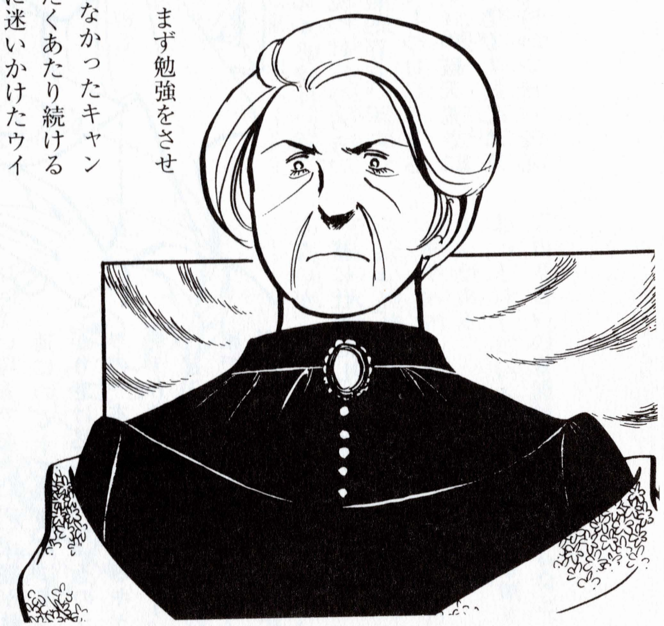
エルロイ＝アードレー

アードレー家の総長。唯一、表に出ていたアードレー本家の人。分家の多いアードレー一族をまとめる権力者で、「大おばさま」と呼ばれてこわがられていた。反面、子供の教育について熱心なところもあり、預かっている甥っ子たちにも、養女となったキャンディにも、まず勉強をさせた。

　第一印象からして良くなかったキャンディに対して、ずっと冷たくあたり続けるが、記憶をなくして路頭に迷いかけたウイリアム大おじさまの面倒をキャンディが見ていたと知り、心を溶かした。

　その後は実権もウイリアム大おじさまに移り、隠居したのかもしれない。ともあれキャンディとの和解が成り立ったのでようやく心の落ち着きを取り戻せたことだろう。おつかれさまでした、と言ってさしあげたい。

（1・87p／上・89p／①・87p）



名セリフ

おお……アードレー家の養女ともあろうものが……

図解・華麗なる アードレー家

『キャンディ♡キャンディ』は意外に複雑な人間関係で構成されています。頭を痛めた人もいるかと思いますが、実際には詳しく理解しなくても物語は楽しむことができます。しかし今回あえて、よりいっそう『キャンディ』の世界を楽しむために物語からわかる関係、特に血縁関係についてまとめてみました（次ページに図解）。

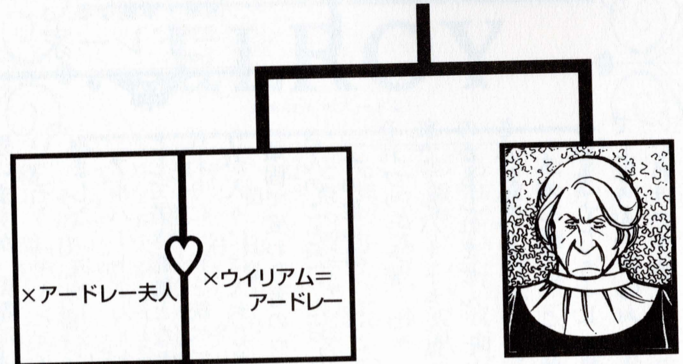
　アルバートさん＝大おじさまは現在アードレー家ただ一人の直系男子です。前総帥亡き後、後継者として若き総帥となりました。それを知るものは一族の中でも少なく、まだ表立っては大おばさまが代わりに一族を統べていたのです。実際は若いアルバートさんに代わって、ということなのでしょうが人々には大おじさま高齢のためと思われていたようです。最初のころステアたちが言っていた「頑固で変わり者のウイリアム大おじさま」というのはアルバートさんではなく、シニアのウイリアムさんのことだったらしいのですが、一族のものは総帥の死を知らなかったのでしょうか？

　その他の男子はアンソニーにしてもステア、アーチー、ニールにしても一族ではあるものの、それぞれブラウン家、コーンウェル家、ラガン家の跡取り息子というわけです。女の子続きのアードレー家でアルバートさんはやっとできた男の子でした。彼が生まれたときには姉たちは既に結婚していたのかもしれません。それ故に兄弟間の付き合いも薄く、彼の甥や姪（とはいえイライザはアルバートさんに会ったことはない）も叔父の顔を知らなかったのでしょう。

「大おじさま」、この呼称がやっかいで、始めのうち大おじさまが大おばさまの旦那さんと思った人もいるでしょう。エルロイ大おばさまはアルバートさんの次に偉いのですから、直系には違いないのでしょうが、アルバートさんの母親とも思えません。サラ＝ラガンにしても「大おばさま」と呼んでいたわけですから彼らの母親ではないと思われます。となるとアルバートさん、サラたちからみて伯

図解・華麗なる

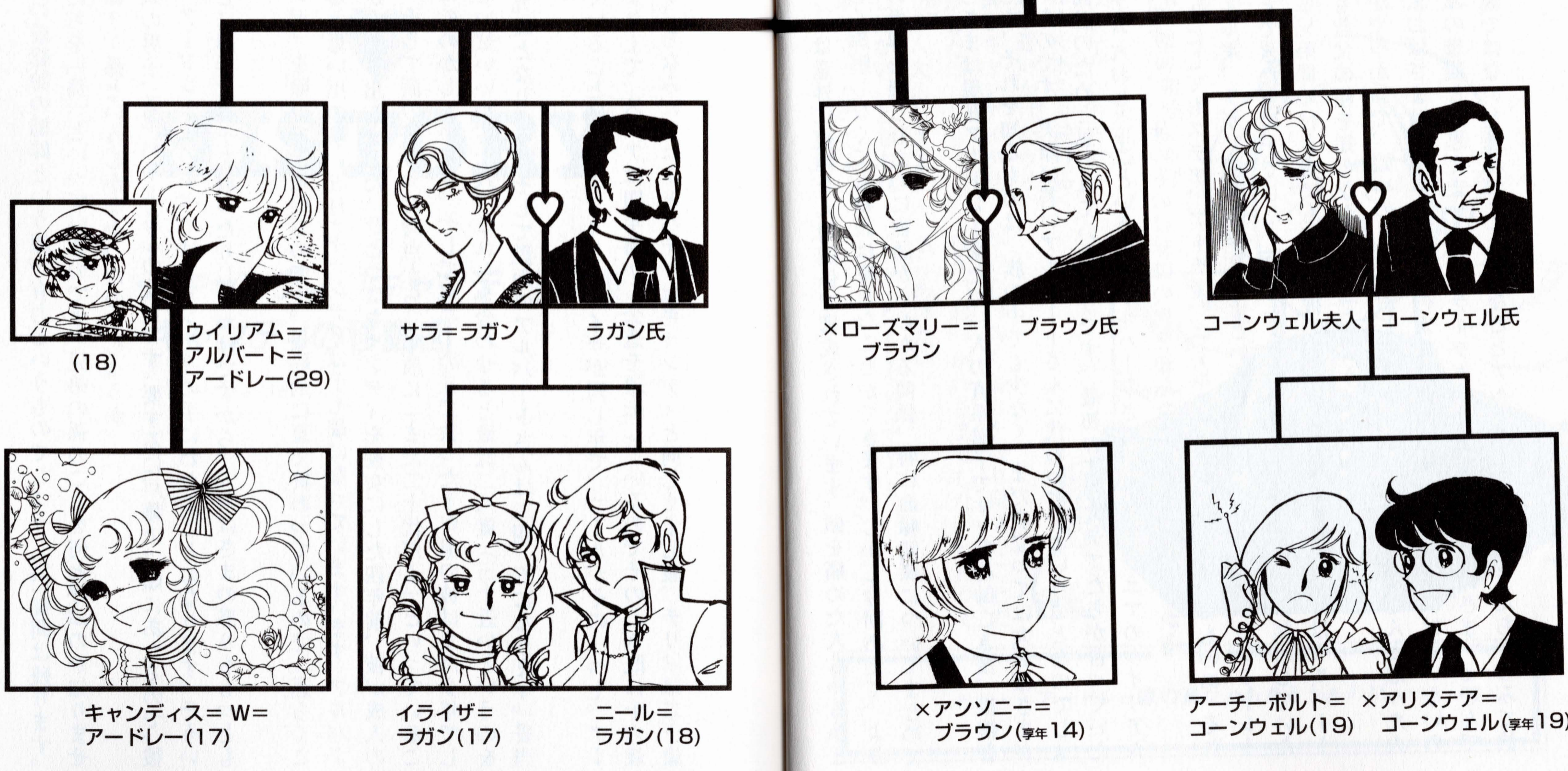
アードレー家



亡きウイリアム大おじさまとエルロイ大おばさまが兄妹か姉弟。

亡きウイリアム大おじさまの娘がステア、アーチー、アンソニー、ニール、イライザの母。亡きウイリアム大おじさまの息子がアルバートさん。

そのアルバートさんの養女がキャンディ。太い線でつながっているのはアードレー家直系となる人。



BOX2

♥

HISTORY

・『キャンディ♡キャンディ』年表
・キャンディの移動図

母、つまりアードレー本家の前総帥の姉妹という線が有力というものでしょう。ただ疑問は残ります。大おばさまはアンソニーたちを「孫」といっているのです。兄弟の孫のことを何と呼ぶのか知りませんが、すでに遠縁なのでは？　孫というしかなかったのでしょうか。

キャンディは唯一の直系の男子、アルバートさんの養女です。要するに戸籍上は娘にあたるので、彼が子供をつくらない限り、アードレー家のすべてはキャンディの手にわたることになります。そういう状況で総帥が相談もなしに勝手に養子を取ったりしたわけですから、大おばさまの怒りももっともなわけです。

年齢に関しては、キャンディを除いて推定のものです。最終的に夏で終わっているので（恐らくこの物語のドラマ性を考えると思い出の多い五月）キャンディは十七歳になっています。まず、アルバートさんですが三つのことから割り出しました。ひとつはキャンディを養女にした四年前、彼が成人の二一歳に達していたこと。そして話の終わった時点から三年前に「まだ二十代だよ」といっていること。既に三十近いことをほのめかしています。そしてポニーの丘で会った十年前の彼はまだ少年でした。見たところ十三からせいぜいいって十八。これらを合わせると最低二八歳（三十近いというのを二五からにして）、最高二九歳となります。そして髭面のアルバートさんは二四、五になります。妥当な線ではないでしょうか。

またそのほかでわかっていることはキャンディとイライザが同じ年で、ニールがその一つ上。アーチーとアンソニーはそれより上で、ステアは四年前から公道を運転しているのでそのとき既に十六歳以上。と、そんな感じです。ちなみにアニーとパティはキャンディと同じく十七歳。テリィは二十歳だと考えられます。



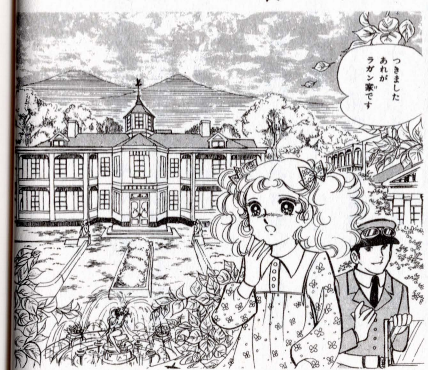


『キャンディ♡キャンディ』年表

1899年
5月　0歳
キャンディ、『この子を……キャンディスをおねがいします』というメモとキャンディ（飴）の入ったバスケットに入れられ、ポニーの家の前に置き去りにされているのをレイン先生に発見される。キャンディス＝ホワイトと名付けられる。
同日、アニー、キャンディと一時間違いで拾われる。

1906年
5月　6歳
キャンディ、アニーと二人だけでバースデーパーティーをする。
数日後、アニー、ブライトン家に養女として引き取られる。
秋
キャンディ、丘の上の王子さまとポニーの丘で会う。王子さま、バッジを落として去る。



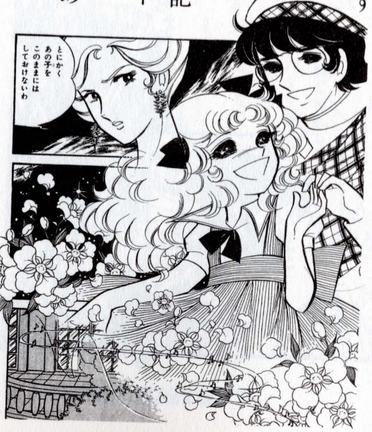


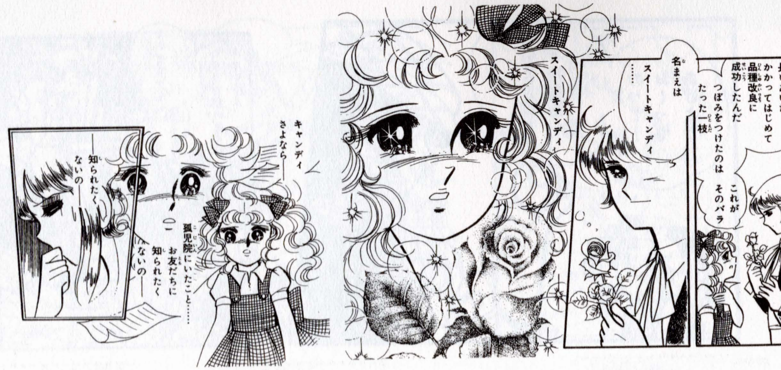




1912年
春　12歳
キャンディ、ラガン家へイライザの話し相手としてレイクウッドへ引き取られる。しかしイライザらと相性が悪く、ことあるごとに衝突するようになる。
アニー、アーチーを恋するようになる。
春（5月まで）
エルロイ大おばさま、ステア、アーチー、アンソニーら、レイクウッドの別荘へ引っ越してくる。
キャンディ、レイクウッド、バラの門の前でアンソニーと出会う。
ラガン夫人、キャンディを将来使用人（女中）にするつもりであるとイライザに告げる。
キャンディ、水の門にてアーチーと出会う。
キャンディ、町でステアと出会う。
同日、アリステアスペシャルⅡ世号湖に沈む。
数日後、キャンディ、アードレー家別荘引っ越し記念パーティーに出席。ステア、アーチー、アンソニーらと再会し、意気投合。
その夜、パーティでの態度をラガン夫妻に見とがめ







られ、馬小屋へ引っ越し、馬番兼使用人見習いになる。

5月　13歳

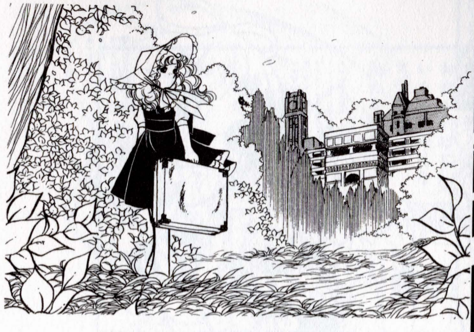
アンソニー、バラの品種改良に成功。スイートキャンディと名付け、「キャンディの誕生日」につぼみをプレゼントする。

同日、キャンディ、七年ぶりにアニーに対面するが、アニーは孤児院出身を隠していたため避けられる。アニーの件でのニールとのケンカもアンソニーに誤解され、さみしさを紛らわしてボートに乗っているうちに流されてしまい、滝壺に落ちてしまう。そしてアルバートさんに助けられる。

キャンディ、どろぼうの罪をきせられメキシコで働くことになる。道中ジョルジュにさらわれ、アードレー家総長ウイリアムの養女になる。









夏

キャンディ、アードレー家にてレディー教育を受ける。

初秋

アンソニー、きつね狩りにて死亡。

キャンディ、自主的にポニーの家に帰る。

12月　クリスマス期間

キャンディ、ポニーの家を地主による立ち退きの危機から救う。

キャンディ、聖ポール学院へ入学するため、迎えに来たジョルジュと共にイギリスへ渡る。

1913年

1月1日

キャンディ、船の中でテリィと出会う。

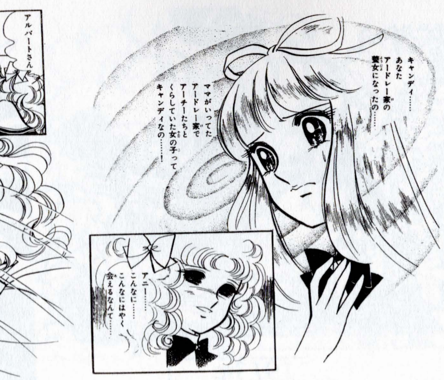
1月5日

キャンディ、聖ポール学院に編入する。パティと出会う。









1月7日

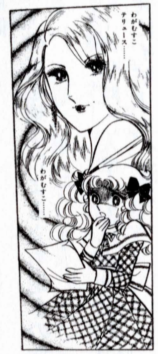
アニー、恋するアーチーを追って聖ポール学院に編入する。

テリィ、ケンカの傷を負い、自室と間違えてキャンディの部屋へ飛び込む。

キャンディ、テリィのために薬を買いに寮を抜け出し、夜の町中でアルバートさんに出会う。

1月20日頃

キャンディ、テリィが女優エレノア＝ベーカーの隠し子だと知る。

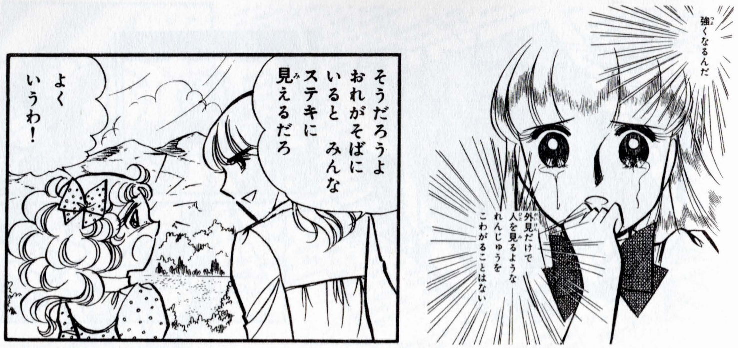


5月　14歳

キャンディ、パティのペットのことで学院長と口論の末、反省室に入れられる。

三日後、キャンディ、反省室を抜け出して学園祭五月祭（メイ・フェスティバル）に参加。正体を隠すためロミオとジュリエットの扮装をする。テリィにファーストキスを奪われる。





翌日、アニー、アーチーがキャンディに告白しようとするのを見る。ポニーの家出身だったことがばれてしまうが、好転してアーチーとカップルになる。

夏

キャンディ、学園のサマースクールに参加。スコットランドへ行き、テリィと青春の夏休みを過ごす。

イライザ、テリィへの恋を自覚、キャンディに嫉妬するようになる。



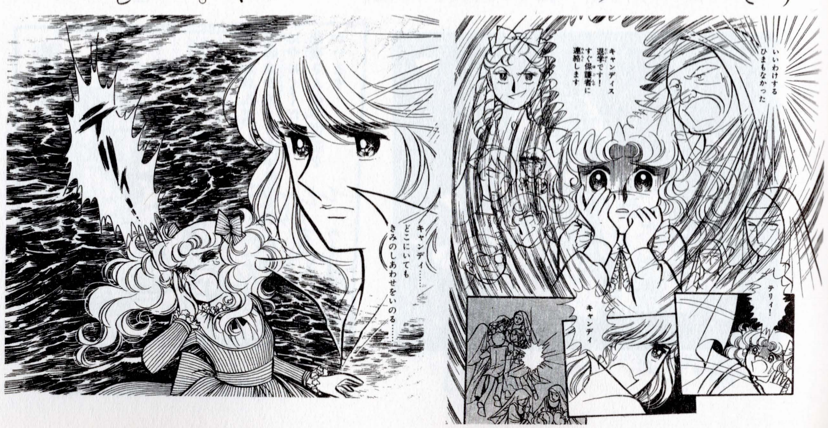
秋

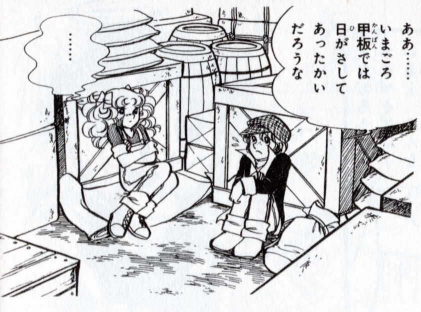
イライザ、テリィにふられる。

キャンディ、テリィと共にイライザの罠にはまり、夜中の馬小屋で密会させられ、学生牢に入れられる。

テリィは一週間の自室謹慎を言い渡される。

翌日、テリィ、キャンディの身代わりに自主退学して演劇をするためにアメリカへ渡る。









数日後、キャンディ、自主退学。数日の放浪の末、農夫カーソンの家に十日間ほど身を寄せる。

さらに数日後、キャンディ、アメリカ行きの船に密航。クッキーに出会う。

この旅行中、看護婦の重要性を知る。

冬

キャンディ、ポニーの家に帰る。

1914年

春

キャンディ、メリー＝ジェーン看護学校へ入学。フラニーと出会うが初めから嫌われる。

キャンディ、最初の担当患者、マクレガー氏の死にあう。

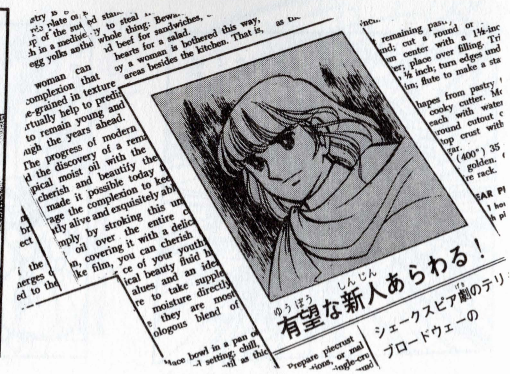
5月　15歳

ステア、アーチー、アニー、聖ポール学院からアメリカのシカゴのアードレー家本宅へ帰る。









7月26日

テリィ、有望な新人として新聞に取り上げられる。

同日、第一次世界大戦勃発。

8月

キャンディ、看護生としてシカゴの聖ヨアンナ病院へ派遣される。

テリィ、所属するブロードウェーのストラスフォード劇団がシカゴにて慈善公演。『リア王』を上演する。

キャンディ、夜勤を抜け出してテリィの劇を観に行ったことがばれ、看護生仲間から村八分にされる。

翌日、キャンディ、昼休みに汽車で去るテリィを見送る。

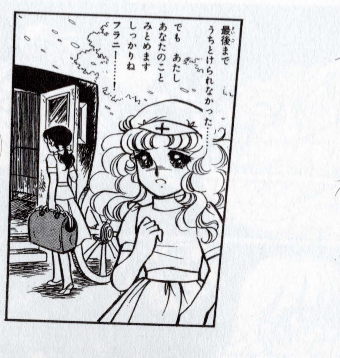
フラニー、従軍看護婦として戦地へ赴く。

アルバートさん、記憶を失ってイタリアの野戦病院から聖ヨアンナ病院にかつぎ込まれる。

パティ、シカゴに疎開してくる。

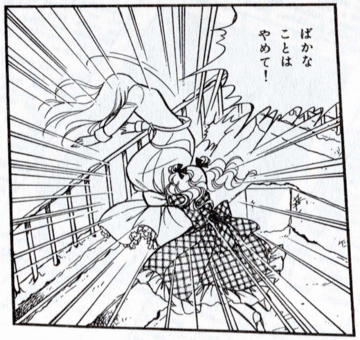
9月

テリィ、オーディションで次回公演の『ロミオと









ジュリエット』のロミオ役を勝ち取る。

キャンディ、看護婦試験合格。正看護婦となる。

キャンディ、記憶が戻らないまま病院を出たアルバートさんを世話するため、同居し始める。

スザナ、テリィに愛を告白。二人で主演する『ロミオとジュリエット』の稽古中、テリィに落ちて来た舞台用ライトからテリィを守り、片足をなくす。



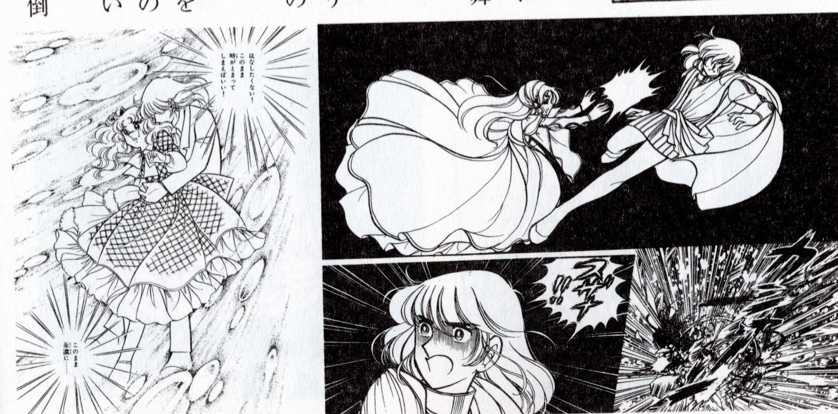
冬

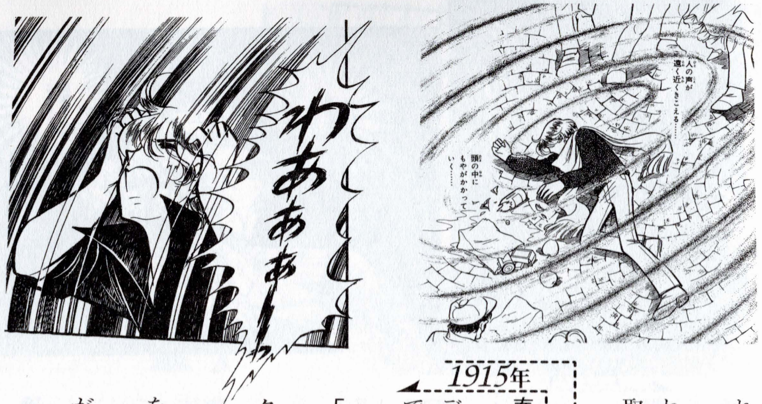
キャンディ、テリィの出演する『ロミオとジュリエット』を見るために、休暇を取ってニューヨークのブロードウェーへ行く。

ステア、志願兵としてフランスの戦地へ赴く。

キャンディ、スザナが怪我を理由にテリィに結婚をせまっていると聞き、テリィの劇も見ないでスザナのいる病院へ直談判に行くが、彼女の自殺を未遂で防いだ上、テリィから身を引く決意をする。

翌日、キャンディ、シカゴへの帰りの汽車の中で倒れる。





アルバートさん、車にはねられてから徐々に記憶を取り戻し始める。

1915年 春

ニール、チンピラにからまれているところをキャンディに助けられ、次第に魅かれていく。あの手この手でアタックを始める。



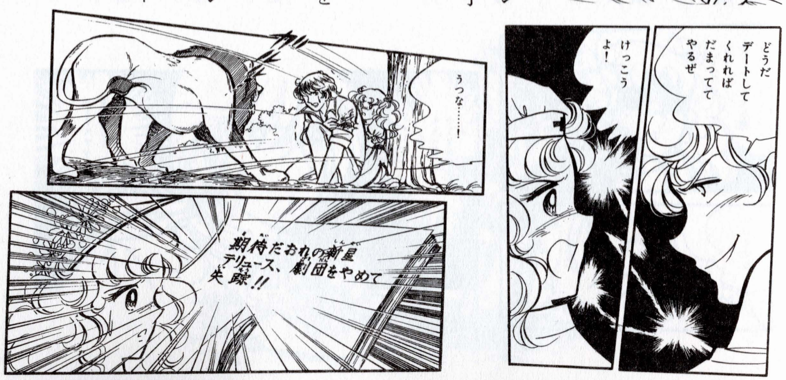
5月　16歳

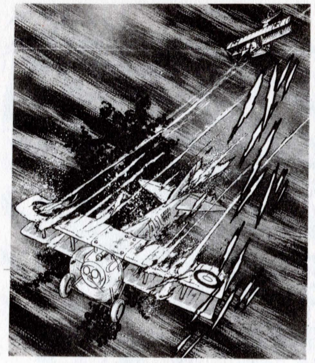
キャンディ、ニールのさしがねで聖ヨアンナ病院をクビになる。

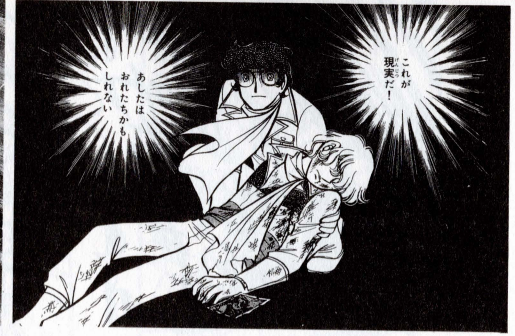
同日、アルバートさん、完全に記憶を取り戻す。

翌日、アルバートさん、逃げたサーカスのライオンをなだめることに成功する。

同日、キャンディ、ハッピー診療所に就職。テリィが劇団をやめて失踪したことを知る。







晩夏〜秋

ステアの戦友ドミィが戦死。

同日、キャンディ、ニールにおびき寄せられ、結婚をせまられる。

四日後、ステア、フランスの戦地にてドイツ機に撃墜され死亡。

このころ、アルバートさんがギャングではないかという噂がアパート内でとびかう。

冬

アルバートさん、記憶が戻ったことを告げ、キャンディと暮らしたアパートから出て行く。

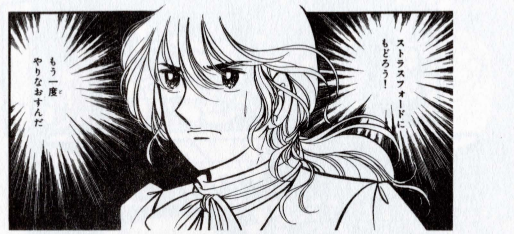
1916年

2〜3月頃

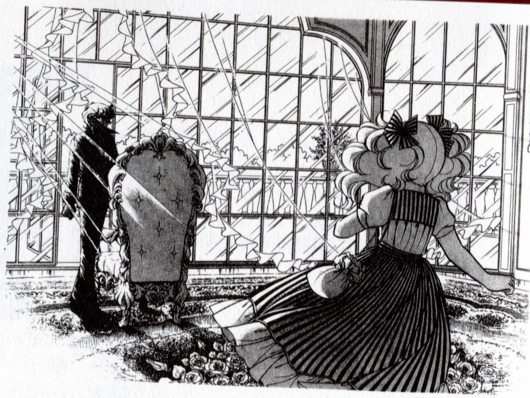
アルバートさん、キャンディに春のコートを送る。

キャンディ、消印を見てロックスタウンへ行き、演劇を続けてはいるものの落ちぶれたテリィを見る。

テリィ、そのキャンディを客席に認め、気合を入れ直して、ストラスフォード劇団に戻る決意をする。









4月

キャンディ、エルロイ大おばさまからニールとの婚約を言いわたされる。ジョルジュからレイクウッドにウイリアム大おじさまがいると聞き出し、訪ねる。

翌日、キャンディ、レイクウッドにてウイリアム大おじさまと対面。その正体がアルバートさんであることを知る。

二日後、アルバートさん、キャンディとニールの婚約式にて初めて一族の前に総長として姿をあらわし、キャンディとニールの婚約を認めない旨を宣言し、表立って総長として働き始める。

5月　17歳

キャンディ、ポニーの家を助けながらその近くの病院で働くために、ハッピー診療所を退職してポニーの家へ帰る。

アーチー、アニー、パティ、アルバートさんがキャンディの先回りをしてポニーの家で歓迎会を開く。

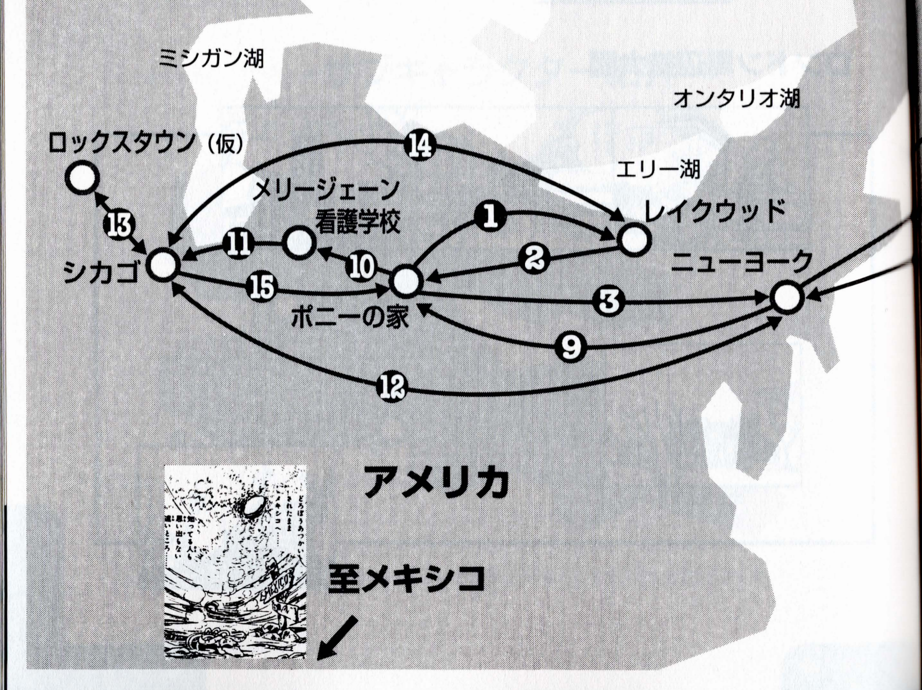
キャンディ、ポニーの丘に登ってアルバートさんが丘の上の王子さまであることを知る。



キャンディの移動図

キャンディの物語にはよく地名が出てきます。レイクウッド、シカゴ、ロンドン、ニューヨークのブロードウェー。あちらこちらと移動するキャンディを追いかけて、移動地図を作ってみました。地名の出てこないポニーの家などはストーリー中に出てくるセリフや移動手段からだいたいの位置を割り出しましたが、地名の出てくるロックスタウンが見つからず、仮としてシカゴから日帰りできる距離にあるロックフォードの位置に置いて考えてあります。

①ポニーの家→レイクウッド…by車
②レイクウッド→ポニーの家（ポニーの丘経由）…by汽車と徒歩
③ポニーの家→ニューヨーク…by車
④ニューヨーク→サウザンプトン…by客船
⑤サウザンプトン→ロンドン・聖ポール学院（市内半日観光付き）…by車
⑥ロンドン←→スコットランド（サマースクール）…by船など
⑦ロンドン→サウザンプトン（カーソン家経由）…by徒歩＆ヒッチハイク
⑧サウザンプトン→ニューヨーク…by貨物船（密航）
⑨ニューヨーク→ポニーの家…by汽車＆乗合馬車（無賃？）
⑩ポニーの家→メリー＝ジェーン看護学校…by馬車
⑪メリー＝ジェーン看護学校→シカゴ・聖ヨアンナ病院…by汽車
⑫シカゴ←→ニューヨーク・ブロードウェイ…by汽車
⑬シカゴ←→ロックスタウン…by汽車
⑭シカゴ→レイクウッド…by汽車＆馬車
⑮シカゴ→ポニーの家…by汽車＆馬車＆徒歩

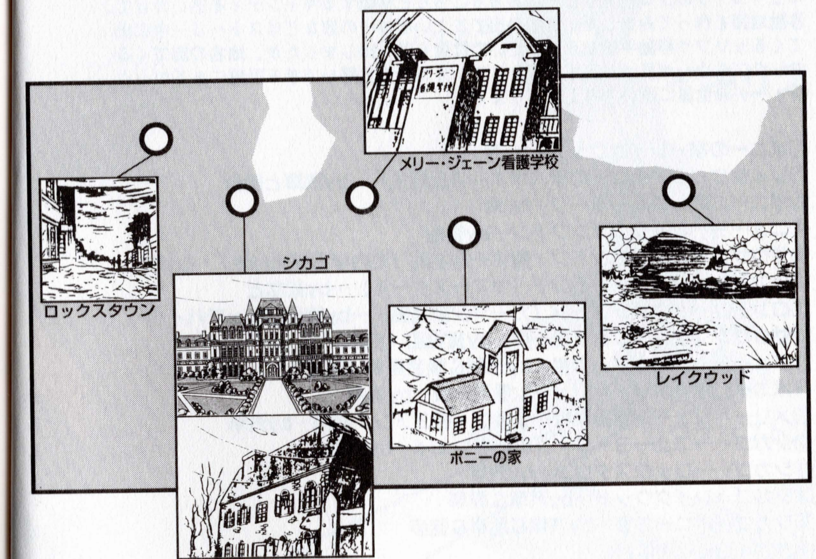




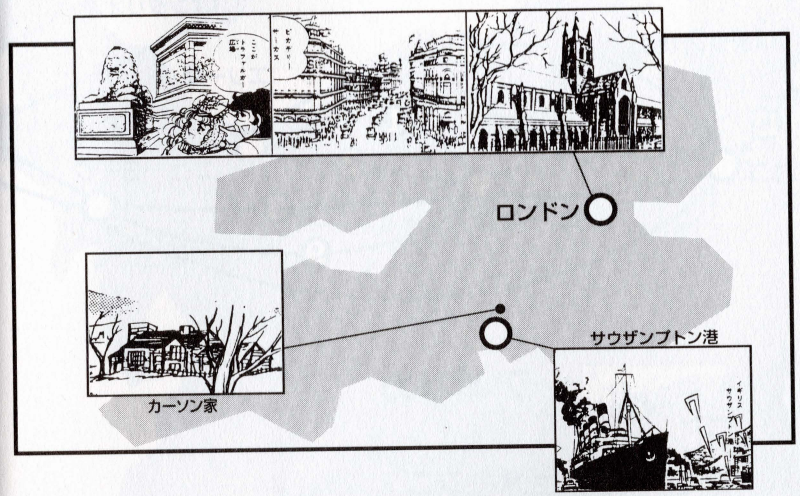
BOX3 ♥ PEOPLE

・サブキャラクター紹介

シカゴレイクウッド周辺拡大図



ロンドン周辺拡大図



スチュアート



ラガン家のおかかえ運転手。お嬢様のイライザの話し相手を探し、全責任を負って各地の孤児院をまわっていたらしい。ポニーの家でキャンディを見つけて連れて行くが、この当時イライザの年齢に合うような女の子はポニーの家を見てもわかるとおり、見つけるのが難しかったようだ。ラガン家に頭痛の種を持ち込んだ彼は叱責を受けなかったのだろうか。執事も兼ねていたのかもしれないが、ラガン夫妻も運転手に無茶な命令をだしたものだ。

（1・29p／上・31p／①・29p）

名セリフ

それは……あの…かわいい方です

ラガン夫妻



アードレー家の親族。妻のサラが本家の娘（きっと末娘）。息子ニールと娘イライザを目に入れても痛くないほど溺愛している。夫婦仲は良いようだが、使用人には受けが悪い。ラガン氏は立派な髭をもつ威厳のある紳士。見るからにきびしそう。サラは美しいが上流婦人にありがちな高慢さがある。礼儀の正しさから人あたりに冷たさを感じさせるが、決して悪い人達ではない。孤児のキャンディを娘の話し相手として引き取ったのは慈善に興味を持ったせいだろうか？

（1・33p／上・41p／①・39p）

名セリフ

かわいそうなイライザはいままで友だちが一人もいなかったので（ラガン氏）
同じ年だからきっと仲よくなれるでしょう（サラ）

メアリー



ラガン家の使用人。女中頭とも思える、家事のエキスパート。幼くしてこき使われるキャンディを哀れに思い、優しい心遣いを見せる。コックのダグと仲が良い。台所仕事などをキャンディに教えた。

（1・40p／上・42p／①・40p）

名セリフ

キャンディはイライザさまと同じ年なんだよ
それなのに奥さまはあんな小さな子に

ダグ



ラガン家のきさくなコックさん。近所のお兄さんタイプ。キャンディに同情していて、クッキーを焼いてくれたり、お菓子の作り方を教えたり、やさしくしてくれる。コックというが、ひょっとしてデザート専門？

（1・56p／上・58p／①・56p）

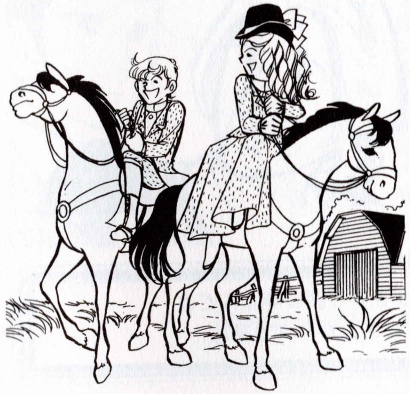
名セリフ

さ　やきたてのクッキーだ　たくさんおたべ

シーザーとクレオパトラ

シーザーはニールの、クレオパトラはイライザの馬。キャンディは馬番だったときに、馬小屋に住みこみで二頭の世話をしていた。この二頭がラガン家のお茶会で披露されたおかげで、キャンディとアニーは六年ぶりの再会をはたすことになった。二頭とも主人に似ないでとても気だてのいい馬。キャンディとも仲が良い。

（1・106p／上・108p／①・106p）



名セリフ

ブルル

ホイットマン



ラガン家の庭師。まっしろでふさふさの髭の優しそうなおじいさん。ラガン家の庭を手入れしている姿はついぞ見かけなかったが、アンソニーにラガン家の肥料や殺虫剤を横流ししていた。キャンディを気に入っている。

（1・109p／上・111p／①・109p）

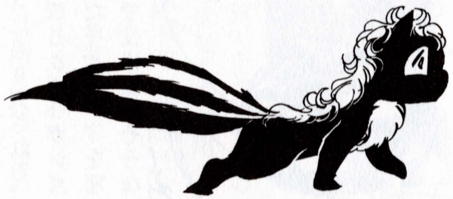
名セリフ

奥さまもあの子をもっとわかってくだすったら馬番なんかには……

プッペ

アルバートさんが飼っているスカンク。常にアルバートさんと共にいて、人語を解し、命令されれば人の顔にガスをぶちかます。体は小さいが、列車の爆発事故から主人の命を救い出すためなら、走っている列車から飛び降りることもいとわぬ忠実ぶり……単に逃げたかっただけかもしれない。アルバートさんがアードレー家に戻ってからはレイクウッドの山荘で動物たちと暮らしている。美人だと思う。

（1・149p／上・151p／①・149p）



名セリフ

キキッ

ローズマリー＝ブラウン



アンソニーの母。アードレー家本家の（たぶん）次女。若いころはソバカスだらけのおてんばな女の子だったが、出産後体を悪くし、アンソニーが幼いころに亡くなった。緑の瞳の美しい人で、たびたびキャンディと比較される。しかしアンソニーの記憶には、はかなげなおもかげしかない。

（1・154p／上・156p／①・154p）

名セリフ

花は散るから美しいのよ……咲いては散り咲いては散りながら
花は永遠に生きているの……

メキシコの農場主

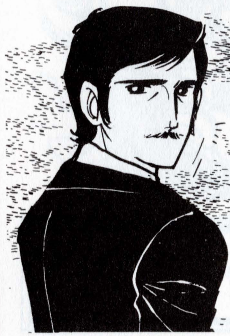


人手不足解消のためにわざわざアメリカ、それも北部までやって来たメキシコ人。物語中は無名だが、『なかよし』にはミゲルという名前が載っていた。悪人というわけではないが、決して良い人ではない。嫌がるキャンディに無理に酒をすすめて、ジョルジュに殴り倒される。六人の家族丸ごとと、ラガン家から引き抜いたキャンディを雇うが、その中で役に立ちそうな者はろくにいない。よっぽど困っていたらしい。が、キャンディを雇ったその日のうちに逃げられてしまう。彼の旅は長い。（2・23p／上・209p／①・207p）

名セリフ

おめぇけっこうかわいい顔してるじゃねぇか

ジョルジュ



アードレー家、というよりも総帥であるウイリアム大おじさまの片腕どころか両手足、代理人。すべてに無感情でとにかく一から十まで大おじさまの命令に従って動くロボットのような存在。命令遂行のためにはどんな手段をとることもいとわない。その素直さに弱く、ついなんでも語ってしまいそうになるので、キャンディは苦手。大おじさまの大事に冷静さを忘れ、キャンディを一度ひき殺しそうになったこともあった。最後に大活躍。キャンディとニールの婚約を、決してアルバートさんの本意ではないと悟り独断で動く。ウイリアムさま命♡。（2・38p／上・224p／①・222p）

名セリフ

…はじめてウイリアムさまの命令にそむきました……

ドリス

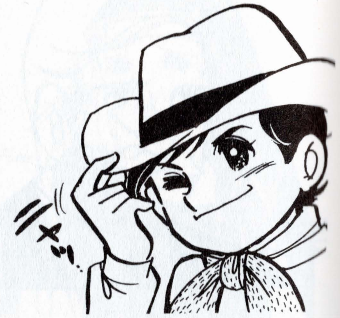


アードレー家でキャンディの身の回りの世話をする使用人。無表情で暗い。ラガン家でキャンディが泥棒をしたといううわさを知っているため、アードレー家にふさわしくないキャンディを良く思っていない。他の使用人たちとさんざん陰口をたたくが、仕事はしっかりこなし、なんとかキャンディを見れるように仕立て上げるところは有能なキャリアウーマン。ちょっとイヤミっぽい。（2・63p／上・249p／①・243p）

名セリフ

着がえが必要ないのはまずしい者たちだけですわ

ジミー



ポニーの家の子。七つになるのに、半年間るすにしていたキャンディを知らなかったのはおそらくその半年の間に保護者を失ったからだろう。元気でいい子である。キャンディが戻ってくるまではポニーの家を仕切っていた。キャンディを親分と慕い、淡い恋心を抱くが相手にされない。その後カートライトさんのところでカウボーイとして働く。（2・147p／上・333p／②・15p）

名セリフ

おれ……大きくなったら親分を……親分を……

カートライト

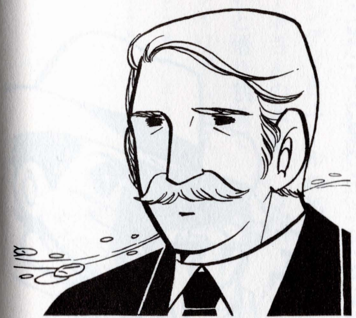


大牧場の経営者でポニーの家の土地も彼から借りている。庭いじりが趣味。ポニーの家をつぶして牧場を広げる計画を練っていたが、キャンディの機転によりあきらめることになる。ならず者たちを取り仕切るわりにやさしく、すてきなおじいちゃん。キャンディを気に入っていて、すてきなレディーになって帰ってくるのを待っている。（2・177p／上・363p／②・45p）

名セリフ

天使を追い出したらバチがあたる

ブラウン



アンソニーの父。船乗り。妻の実家に病弱な妻と幼い息子を預けたままにして年中不在にしていた。あげく妻にも息子にも先立たれ、後ろ姿が淋しい。一人息子の死によってブラウン家は絶えてしまったのでは…。葬式のときにしか現れない。次にアードレー家に姿を見せるのはいつだろうか。後にキャンディとあったとき、父親のあたたかさを感じさせた。（2・161p／上・347p／②・29p）

名セリフ

……どんなに深い悲しみもいつかはのりこえられるものだよ

シスターグレー

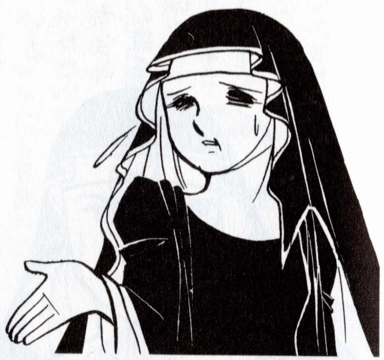


ロンドンにある王立聖ポール学院の院長。威厳の固まり。眉毛がふさふさしている。王室に上流の子女を託されていることに誇りをもっている。礼儀と伝統に厳しいが、実は結構物分かりのいいところもあって教育熱心。だけどお布施には弱いらしく、寄付金の多い特待生のテリィやキャンディに振り回される。普段は冷静な人だが、「がんこばばあ」と言われて感情的な面も見せる。（3・38p／上・418p／②・100p）

名セリフ

規則は規則です　わたしはやぶったことに対し
それをまもるようにさせるのがつとめです

シスターマーガレット



聖ポール学院のシスター。仕事内容から判断すると先生というよりも用務員のようだが、役職は不明。生徒達に甘く、他の厳しいシスターに比べてちょっとホッとする人。しかし夜中の医務室にテリィと気絶しているキャンディを二人きりにしてしまうのは、ちょっと無責任なのでは？（3・40p／上・420p／②・102p）

名セリフ

……わかりました　キャンディ　あなたを信じます

ルイゼ



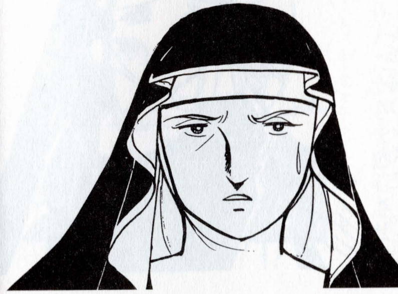
聖ポール学院でのイライザの友人。イギリスの貴族の娘。プライドが高く、それなりに美しい。いち早く社交界にデビューし立派なレディーである彼女はイライザの元馬番だったキャンディを軽蔑している。イライザの企てるキャンディへのいじわるにしょっちゅう加わった。

（3・42p／上・422p／②・104p）

名セリフ

ああ社交界はすばらしいわよ　あなたがたも早くデビューなさいな

シスター クライス



聖ポール学院のシスター。フランス語の古詩を宿題にしたところをみるとフランス文学が専門か？しかし学院で勉強を教えるシスターは彼女以外出てこないのでオールマイティかもしれない。肌がきれいそう。まじめ一本槍のいかにも「先生」という雰囲気を持った人で、生徒にはきびしい顔しか見せないが、心から教育につくしている。

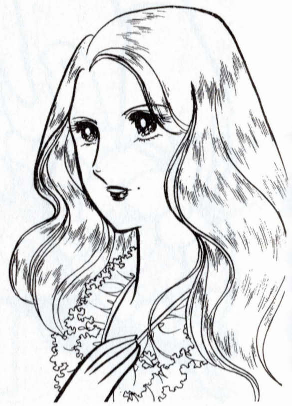
必殺技「わたしはうそつきです」の罰をもっている。

（3・61p／上・441p／②・123p）

名セリフ

まったくあんな生徒ははじめてですよ

エレノア＝ベーカー



ステアとアーチーが大ファンのブロードウェイの美人女優。とは表の顔で実は別れたテリィの母親。独身で通っているが、若い頃グランチェスター公爵と恋に落ちてテリィをもうけた。その後公爵と別れ、親権も奪われたという過去を隠している。テリィがアメリカに彼女を訪ねて来たとき、ちょっとしたすれ違いでテリィを捨てたと誤解される。キャンディの仲裁で誤解は解けた。公爵に未練はないが、息子の幸せを陰から願っている。

（3・153p（写真）／上・533p／②・213p）

名セリフ

テリィを　テリィをつれていかないで！
わたしのテリィを！

グランチェスター公爵



テリィの父。ロンドンの郊外に住んでいるが、スコットランドにも豪華な別荘を持っている。若い頃は飛行機に興味をもっていて、別荘に一機持っている。いかにも貴族っぽい紳士だが、自分の意思表示を一切せず、そのふるまいによって、誰からも愛されていない。「ブタのような」妻と子供達にいいようにあしらわれていて、長男だが愛人の子であるテリィを、かわいく思っていても金と爵位をやることしかできない。が、気持ちは通じず結局息子に縁を切られる。

（3・175p／上・555p／②・237p）

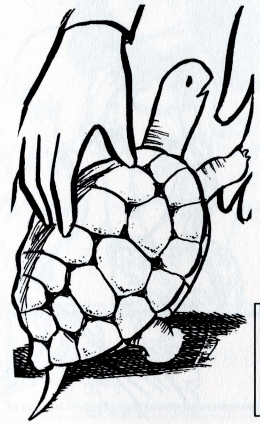
名セリフ

おまえはグランチェスター家の人間だ　すこしは体面を考えて行動しろ！

ヒューリィ

パティの飼い亀。動物持ち込み禁止の聖ポール学院にてひそかに飼われていたが、廊下でパティに落とされて、シスターに見つかってしまう。あやうく処分されるところをキャンディに助けられ、アルバートさんのいるブルーリバー動物園に預けられる。その後アルバートさんがアフリカへ行ったため、独りぼっちになるが、冬眠に入ってしまったので、どう感じていたかはわからない。パティの疎開に連れられて、アメリカへ渡った。

（3・201p／上・581p／②・263p）



名セリフ？

ゴソ　ゴソ

御者

ロンドン周辺を流していると思われる辻馬車の御者。学院を出たテリィを追うキャンディを乗せ、港まで疾走した。

御者なのにシルクハットではなくハンチング帽をかぶって、客の前でパイプをくゆらせるなど、ひょっとして本職ではない？と想像させる。しかし、パイプをふかしながら語った世慣れた人生論は、キャンディの心に深く刻み込まれ、心の支えとなる。

（4・256p／上・838p／③・210p）



名セリフ

嬢ちゃん……人生にはわかれはつきものさ
生きていりゃあ会えるさ　きっと……

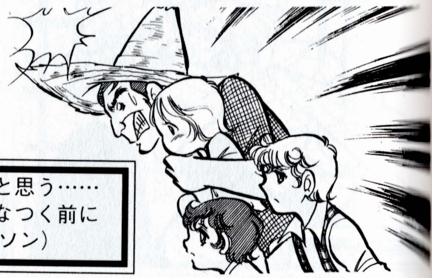
カーソン一家

妻を亡くしてひねくれものの医者嫌いになった男と、母を亡くした三人の子供、サム、ジェフ、スージーの一家。イギリスからアメリカへ向かおうとするキャンディと出会い、病気で倒れたスージーの介抱を通じて心を通わせるようになる。

この出会いは自分の道を探していたキャンディが看護婦になろうと思ったきっかけの一つとなった。

カーソンは別れ際に友人の船会社を紹介し、キャンディの旅の道行きを手助けした。

（カーソン5・10p／上・858p／③・230p）（子供たち5・12p／上・860p／③・232p）



名セリフ

……ここにきたのは旅の途中だと思う……
子どもたちがこれ以上あんたになつく前に
……でていってくれ（カーソン）

ジャスキン

タグボート一隻しかない小さな船会社をサウザンプトン港で営む社長。友人のカーソンからアメリカをめざすキャンディを紹介され、渡航費用のないキャンディを箱につめて密航させた。見かけはこわいが融通のきくいい人。

部下たちがみんな、港で荷物の積み降ろしをするだけなのに、海賊まがいの格好をしていておかしい。ネームプレートに船害社などとしゃれを飛ばすあたり、やはり海の荒くれ者にあこがれていたのだろう。（5・43p／上・891p／③・263p）



名セリフ

金もなく海をわたるには密航以外にない

クッキー

船乗りになりたくて時々密航をしていた少年。キャンディが密航した船にもぐりこんでいた密航仲間。食料を盗みに船倉から出て船員たちに見つかり、海にたたき込まれるが、看護婦のたまごを名乗るキャンディに助けられる。父親の知り合いでもあるその船のニーブン船長に「こんなことばかりしていてはいけないよ」とさとされ、イギリスへ帰ったら力を貸してもらうことになった。キャンディと友情の記念に帽子とリボンを交換した。（5・55p／上903p／③・275p）



名セリフ

キャンディのしあわせをいのって
敬礼！

ニーブン

海の男もあこがれる人格者で豪華客船の船長だったが、部下の過失の責任を取って貨物船の船長に格下げになった。ふところが大きく、自分の船に密航していたキャンディとクッキーを許したうえ、客扱いしてキャンディをアメリカまで届けてやり、クッキーをイギリスまで連れ帰って、船乗りになるための力になる約束をした。温厚そうだが、人に嘘をつかせぬ誠実そうな迫力がある。（5・69p／上・917p／③・289p）



名セリフ

クッキーとキャンディか……いいコンビだ

メリー＝ジェーン

メリー＝ジェーン看護学校の校長先生。ポニー先生の古い友人で看護婦を目指すキャンディを預かった。私服のときはよぼよぼのおばあさんに見えるが、白衣をまとえば背筋がシャキーンとして威厳が漂う。

キャンディを「オッチョコチョイ」と呼び、目をかけた。自身は患者にも看護生にもきびしい人だが、誰に対しても明るく接するキャンディに、これからの看護婦の姿を見る。（5・106p／下・26p／④・26p）



名セリフ

生と死をじっくり見つめること　死ぬ人がおおいからこそ
どうにかしてみんな生きさせようとつとめるのさ

フラニー＝ハミルトン

メリー＝ジェーン看護学校の優秀な看護生。親に暴力をふるわれて育ち、自分の力だけを信頼している。

おしゃべりでおせっかいな人を嫌っており、キャンディと寮で同室になるが、うちとけることはなかった。仕事に対して真剣で、私事で夜勤をすっぽかしたキャンディを一時軽蔑する。しかしキャンディとは、従軍看護婦の問題で、好きにはなれないけれどお互いを認め合うかっこいい関係となった。看護生のまま従軍看護婦として戦地に赴いたのが気がかり。（5・111p／下・31p／④・31p）



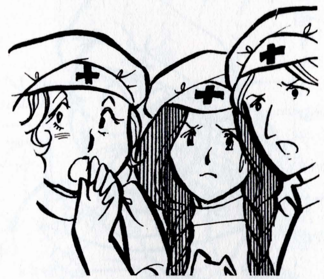
名セリフ

……あなたは緊張感がたりなすぎるわ
患者はわたしたちのちょっとした不注意で
病状が悪化するのよ

その他の看護生たち

ジュディ＝ネッツ、ナタリー＝ビンス、エリナ＝マンシー。フラニーの取り巻きでメリー＝ジェーン看護学校から聖ヨアンナ病院にキャンディと共に派遣された。

仕事への態度はまじめだが、フラニーやキャンディのように一生の仕事として看護婦をしているという感じはなく、結婚したらやめてしまいそうな女の子たち。キャンディのことを好いていず、非協力的だった。



（ジュディ、ナタリー5・121p／下41p／④41p）（エリナ6・104p／下202p／④202p）

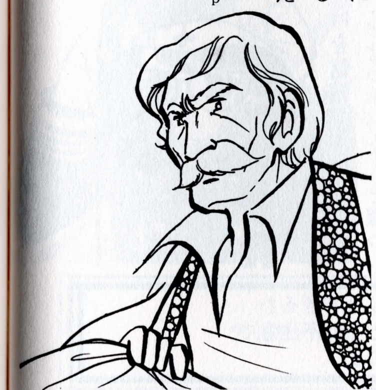
名セリフ

「あなたには看護婦の資格がないんじゃない？」
「そうね重病人をほうりだして遊びにいくわよ　きっと」
「やる気がないならさっさとやめたら！」

ウイリアム＝マクレガー

ヨセフ病院の特別室に入院していた偏屈な大金持ちでキャンディが初めて受け持った患者。ミーナという名のセントバーナード犬だけを愛する天涯孤独の老人だった。キャンディに対しても、初めはアードレー家を侮辱したり、わがままを言ったりしていたが、心のこもった看護ぶりに徐々に心をひらいて行った。が、看護のかいなく、花びらの舞い散る中、眠るように逝ってしまった。キャンディに命と看護について深く考えるきっかけを与える。

（5・135p／下・55p／④・55p）



名セリフ

おまえにミーナとおそろいのリボンを
買ってやろう　きっと二人とも美人になる

ミーナ

セントバーナード。バッフォンと鳴くマクレガーさんの愛犬。マクレガーさんの入院中から家政婦があまり可愛がっていない様子で、氏の死後キャンディとジミーが、ポニーの家に連れてくる。孤犬ということでポニー先生がひきとった。

人の言葉を理解するだけでなく、人を見る目があり、自分のことをちゃんと扱ってくれる人になつく。ポニーの家でのエサ代はキャンディが稼ぎ出しているらしい。

（5・167p／下・87p／④・87p）



名セリフ

バッフォン　バッフォン

スザナ＝マーロウ

ストラスフォード劇団の看板女優。テリィに恋し、落ちて来た舞台用ライトから彼をかばって片足を切断、女優生命を断たれる。テリィに責任を取ってもらおうという気持ちと、彼の負担になりたくないという気持ちの葛藤のうちに投身自殺をはかるが、キャンディに止められる。テリィに「おれはえらんだんだ……きみを」と言われるが、結局キャンディを忘れられない彼をせつなく見守ることになる。最終的にはテリィのキャンディへの責任感で幸せにしてもらったふうだが、どん底のテリィでもやさしく見守れる度量の広さで、いつかはテリィと本当の愛を育てることになるだろう。

（6・113p／下・211p／④・211p）



名セリフ

あたしの体をこんなにしたのはあなたよテリィ！
あなたは一生あたしのそばにいる義務があるわ！
……うそ うそよ テリィ あたしそんなこと考えてないわ……

ロバート＝ハサウェイ

ストラスフォード劇団の団長。ブロードウェイでシェイクスピアを公演している。主演をずっとやって来ていたようだが、テリィに才能のきらめきを見つけ、『ロミオとジュリエット』で自分の当たり役ロミオにテリィを抜擢した。

なのにその稽古中看板女優は再起不能になるわ、テリィは光らないわで公演は早々に打ち切らなければならなかった。人の評価に七光りなど勘定に入れない実力主義の人物らしいので、立ち直ったテリィを一から仕込み直してくれるだろう。（6・111p／下・209p／④・209p）



名セリフ

演劇界はどんな強力なコネがあろうと実力の世界だ！

レナード

聖ヨアンナ病院の副院長。シカゴでのキャンディの上司。アードレー家の牛耳るシカゴにおいて、記憶を失っていたとはいえ、その総帥を行き倒れ専用の病室「0号室」に入れてしまった。

いかにも管理職。金と地位にはとことん弱いらしく、アードレー一族のニールに言われてキャンディをクビにする。キャンディもわざわざ言わなかったが、最後までそのアードレー家の本家の娘だとは気が付かなかった。相手が名前や地位に固執しないキャンディやアルバートさんだったことに感謝する日がいつか来るに違いない。（7・6p／下・298p／⑤・6p）



名セリフ

半人前の看護婦のくせに病院内のやりかたにけちをつけるのはゆるさん！

マーチン

シカゴでハッピー診療所を経営するアルコール中毒（キャンディの基準）の医者。腕はいい。アルバートさんを2回助け、失業したキャンディを雇い入れる。キャンディに酒を取り上げられ、いいようにあしらわれるが、キャンディの仕事ぶりは気に入っている。

アルバートさんとキャンディの微妙な関係とその推移に気づきつつも語らず、二人が幸せになるように温かく見守っている。知恵の輪が趣味。（8・51p／下・585p／⑤・293p）



名セリフ

アルバート君もこのにぎやかなのがいなくなったらさびしいだろうに……
わしもさびしい……

トンゴ

ボトムサーカスのライオン。アフリカから連れて来られたらしい。逃げ出してキャンディに襲いかかり、アルバートさんにけがをさせるが、アルバートさんが瞳の中にうつし出したアフリカの光景を見ておとなしくなり、自分からサーカスに戻ったおりこうさん。

アルバートさんの記憶がすっかり戻っていることがばれるような行動をとらせたが、けがに気をとられたキャンディはまったく気づかなかった。さりげなく、キャンディの失業による再就職の機会を与えた。（8・153p／下・687p／⑥・73p）



名セリフ

ガルル…

ドミール＝ロアン



通称ドミィ。第一次世界大戦の空に散ったフランス貴族の青年将校。少尉だった。ステアと共にフランスの飛行機部隊に志願した。家族がマルヌ会戦でドイツ軍に殺され、残った恋人を守るために戦いに来ていた。ステアと義兄弟の杯をかわしたよき友人。キャンディのかわりにステアの発明品の実験台になった。初めは「コーンウェル」と呼んでいたステアのことを義兄弟になっても「アリステア」と本名で呼ぶあたりに育ちのよさがうかがえる。（8・94p／下・628p／⑥・14p）

名セリフ

おまえの恋人は悲しませるなよ……

デイジー＝ディルマン



アードレー家ほどではないが資産家の娘。イライザが気に入ってニールに紹介した。ニールにロマンチックな想いをいだき、詩を朗読したり、会いに行ったりと積極的に動く。が、ニールには慕っていることを利用され、キャンディへのアタックのダシにされてしまう。一度デートしたきりだが、キャンディとの婚約を発表しようとしたり、フロリダに行くと言ったりするニールを見て、どう思ったのだろうか。（8・100p／下・634p／⑥・20p）

名セリフ

おお　ニール！

大家のおばさん



シカゴでアパート経営を営むおばさん。アルバートさんを兄といつわったキャンディたちに部屋を一年八カ月ほど貸した。アルバートさんが記憶を失っている間は問題なかったが、記憶を取り戻し、黒いスーツで物陰でコソコソし始めてからは、アルバートさんを店子にはしておけないと立ち上がる。結果、アルバートさんが出て行き、キャンディ一人を預かった。（9・27p／下・763p／⑥149p）

名セリフ

あんたが　にいさんだろうと他人だろうといっしょにすむのはかまいやしないさ
だけどえたいの知れないのとだけはごめんなんだよ！

ハーディ＝シュニッツェル



第一次世界大戦でドイツ空軍にいた凄腕のパイロット。ステアのいたフランス空軍機を撃墜しまくった。クレマン中尉と一緒に出撃したドミィら三機を撃ち落とした。ドミィの仇をうちにきたステアに一騎討ちをせまられ、受けて立とうとするが機銃が不良で戦えず、一時死を覚悟した。しかし、ステアに命を救われ、互いにあいさつを交わし、戦いは次回持ち越しとなったが、同僚にステアを殺され、かなわぬこととなる。（9・38p／下・774p／⑥・160p）

名セリフ

NEIN!

BOX 4 ♥ WORLD

- ・勝手にセレクト 名場面集
- ・キャンディファッション
- ・キャンディの過ごした家

コーンウェル夫妻

夫人のほうはアードレー本家の娘で、サラ＝ラガン、ローズマリー＝ブラウン、アルバートさんとはきょうだい。夫婦して仕事のためにステアとアーチーをアードレー家に預けて長いことアラビアに渡っていた。ステアの葬式で初登場した。

　初めて会う亡き息子の恋人パティとは、愛する者を亡くした者同士なぐさめあったことだろう。知り合ったばかりなのに、まるで親子のようだった。本当にそうなるはずだったと思うとせつない。

（9・65p／下・801p／⑥・187p）



名セリフ

パティもう泣いちゃだめよ……約束したじゃない……（コーンウェル夫人）

勝手にセレクト名場面集

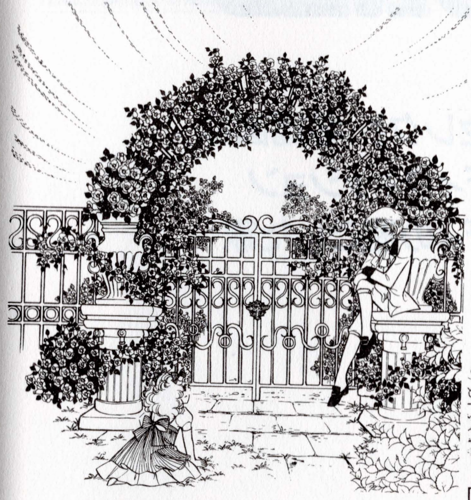
「わたしたちはこう読む」おせっかいなコメント付き。



名場面といえばこの出会い　その１
若い！　アルバートさん



キャンディとアニー
６歳の誕生日にパパとママからのキスを送るキャンディ



名場面といえばこの出会い　その２
キザポーズのアンソニー



初めてのダンス
すごく印象深く
キャンディの心に残る



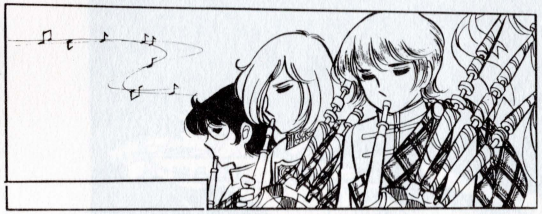
ヒゲが濃い…
手でヒゲをかくすと
20代に見えます



少年少女らしい甘くやさしくさわやかな恋でありました
白馬の王子さまそのものだよね



メキシコって……



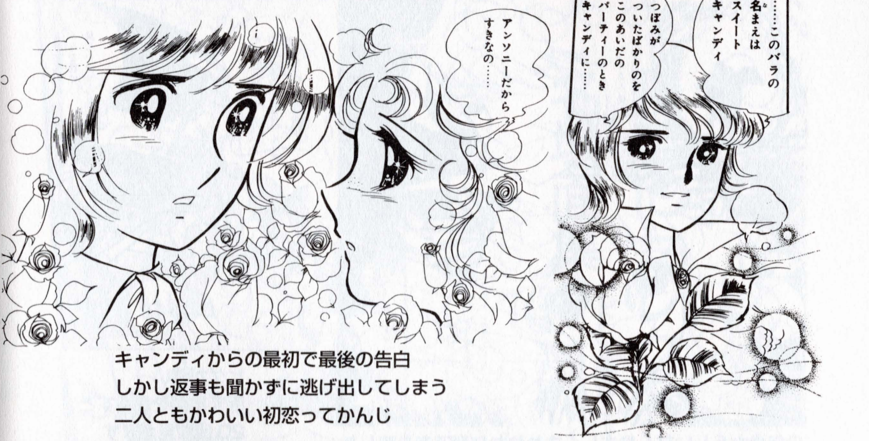
キャンディがメキシコへ行ってしまう！見送りに間に合わず、道行く君に届けとばかりにアードレー家の正装でバグパイプを吹く三人



すでにアンソニーたちから「キャンディを養女にして下さい」という手紙を受け取っているはずのアルバートさん　ただいま検討中
大おじさまの証明その１



キャンディ、アードレー家の養女に！



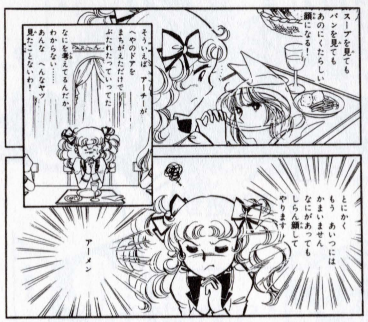
キャンディからの最初で最後の告白
しかし返事も聞かずに逃げ出してしまう
二人ともかわいい初恋ってかんじ



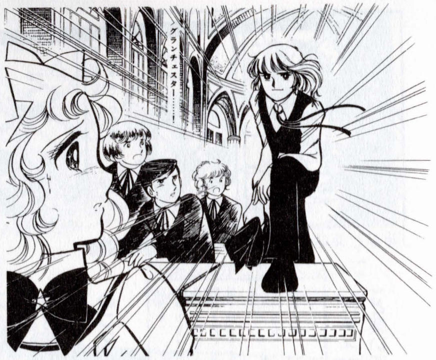
キャンディ養女の御披露目をかねたきつね狩りで、キャンディをエスコートしていたアンソニー。「きみのえりまきだ！　ぼくのうでまえを見てて！」という言葉を最後に、あまりにも急にこの世を去る



気持ちはわかるけど
いじめは前向きじゃないよイライザ



これはもう恋の兆候だよキャンディ



テリィ登場!!



キャンディに女優エレノア＝ベーカーの隠し子だと
知られてしまったテリィ、脅迫手段に訴える

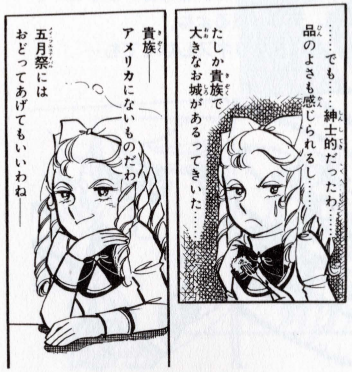


テリィに殴られて、こう
どなりかえす
ナイスだわアーチー





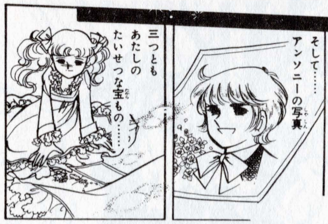
ニールの掘った落し穴に
落ちたイライザを助ける
にも、いちいちキザなテ
リィ。罪だよ、イライザ
はウブなんだから…



←ほらほら～
その日の夕食時には
もうすっかり心を
うばわれちゃった
じゃない



テリィ、恋の兆候



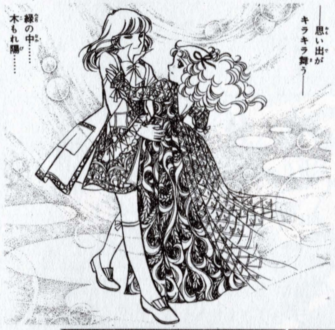
キャンディの三種の宝物



メイ=フェスティバル
五月祭の参加禁止もアルバートさんなら笑って聞き流してくれるはず…この最後のコマの間が、大おじさまの証明その2



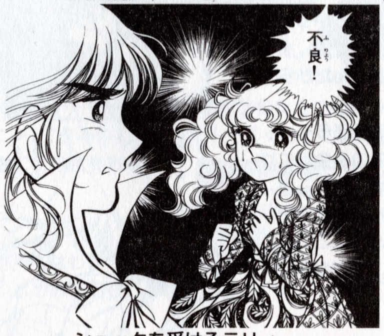
パティ…だれもそんなこと聞いてないって…



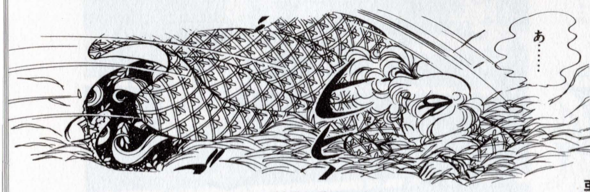


テリィ、男の子っぽくていいぞ

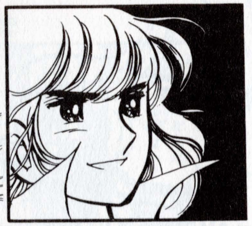
メイ=フェスティバル
五月祭でアンソニーと踊った曲が流れ、踊り出すいい雰囲気の二人。
でもキャンディの心にいるのはアンソニー。
そりゃあ、テリィ怒るよね、
でもなにもいきなりキスしなくても…



ショックを受けるテリィ



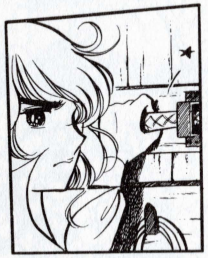
なぜ投げる!?

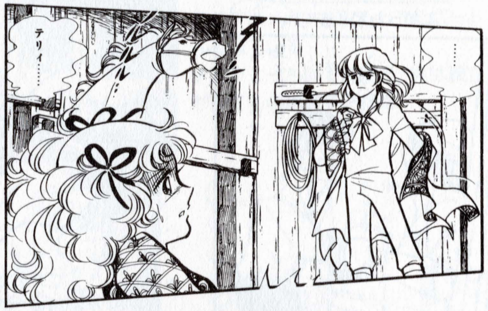


悪魔が乗り移ったかのような笑い
引っ込みがつかなくなって
熱くなるテリィ…だからって

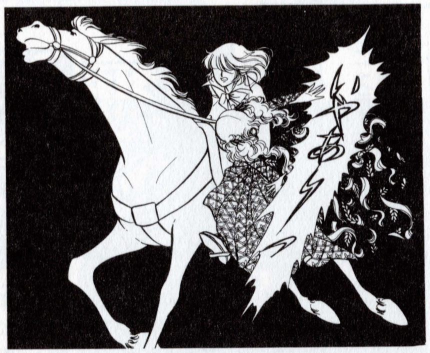
なぜ脱ぐ!?

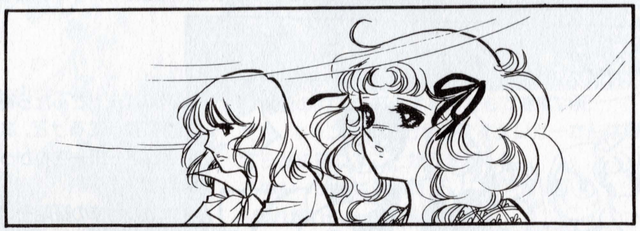
なぜムチをつかむ!?





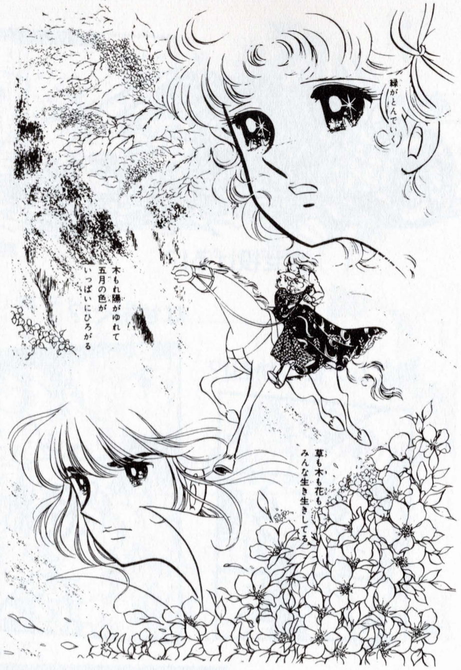
なぜさらう!?





そして放心した二人…



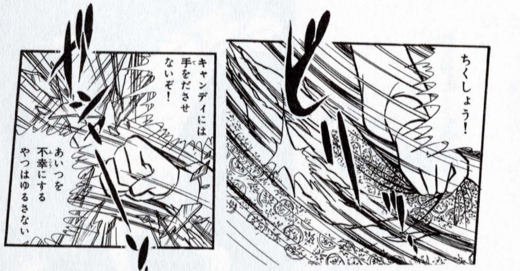


よかったね、テリィ

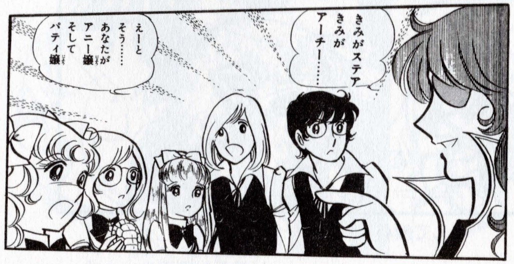




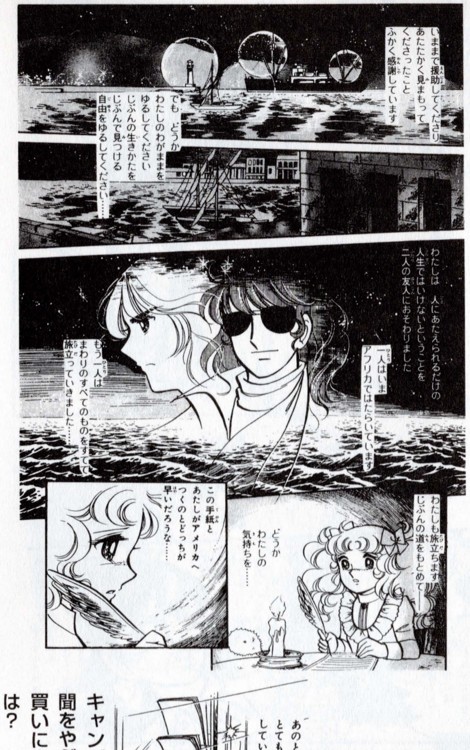
↑と←ステアの独りギャグ 時と場合を考えないと誰も気がつかないよ…



「おれはいままでなにをしてきた！ おやじに反抗しておやじの金をつかって…」と言いながらやぶったカーテンや割ったガラスの代金は誰が払うと思ってるんだい ええ？テリィおぼっちゃん



アルバートさんたら得意げに言ってるけど、ステアとアーチーをわかって当然
大おじさまの証明その3





ステアはメガネを取るとアルバートさんに似ている
アンソニーも似てたけど、実は顔立ちが似てるのはステアだね

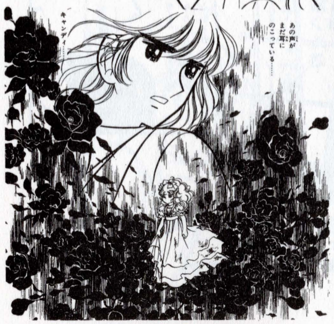


シャキーン！と、キャンディ看護生になる

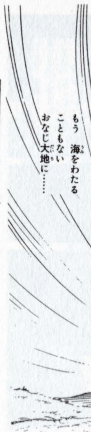


キャンディ、いつの間にお店の新聞をやぶいちゃったの？買いに来たアイスクリームと絵本は？

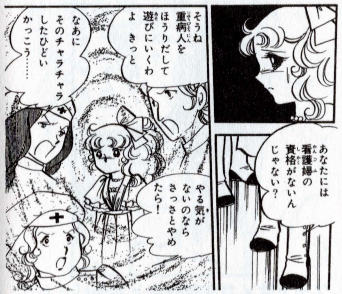




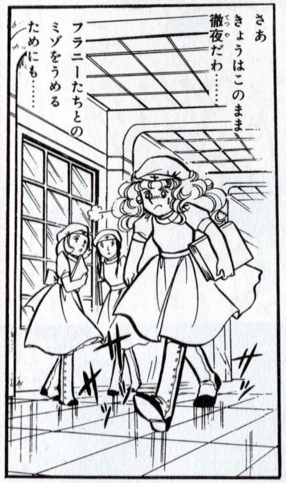
↑人智の力ではどうすることもできない死
でも、キャンディのおかげでマクレガーさんは最期をやすらかに過ごすことができました
このシーンには泣いた
←離れ離れになって半年以上、
テリィの気持ちは変わっていなかったけど
そう知ることなくキャンディは呆然



ほんの一瞬のすれちがいでも心が確かめられた二人。スローモーションのように汽車が遠ざかる



↑夜勤をすっぽかし、仕事を甘く見ていたキャンディ、気合いを入れ直す↓がんばれ！



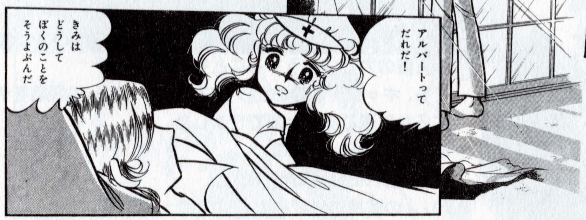


そしてフラニーは従軍看護婦として戦地に……↑と↓





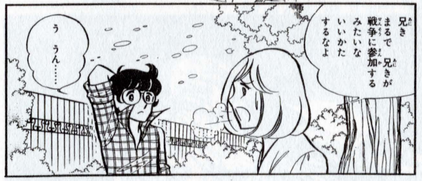
アルバートさん
記憶喪失!!





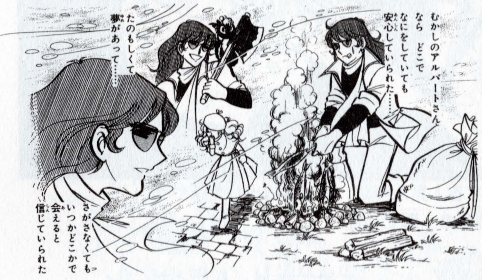
試験合格！晴れて看護婦　おめでとう







アルバートさん行方不明!!
そのときウイリアム大おじさまにもなにかが……　大おじさまの証明その４



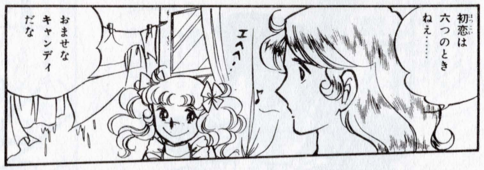
アルバートさんが病院を勝手に出て行ってしまった！はじめてアルバートさんを追う立場になるキャンディ



公園でようやく発見



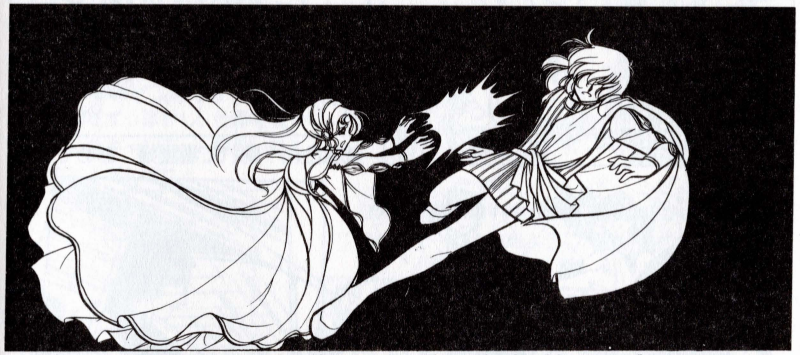
久しぶりの彼女からの手紙には「他の男と暮らし始めました…」そリャあ、驚くよね
でも、子供の頃はなぜテリィが驚くのかわからなかった



君のことだ！アルバート

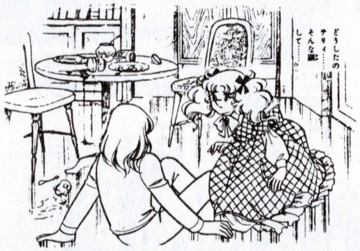


ニール君かわいいですよ

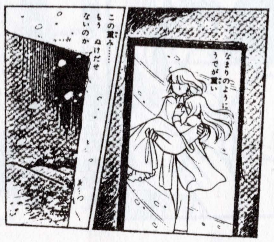


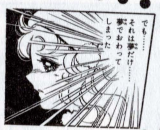
照明がテリィの上に落ちる！見た瞬間、体を投げ出したスザナ
運命の一瞬でした…





やっと会えた二人なのに、スザナの事故でもう事情が変わっていた…。このブロードウェー行きはつらいなぁ。オトナってかんじ

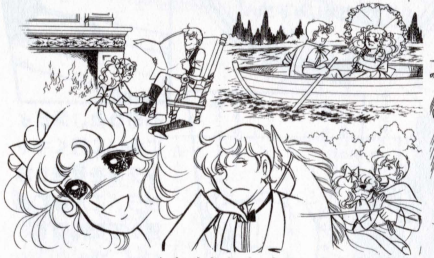




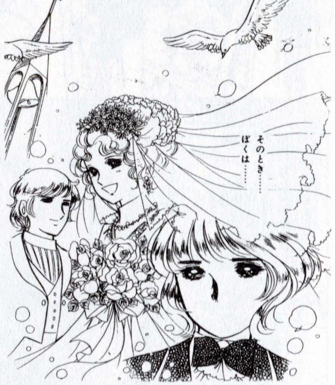
幻想シーン特集

それは まぼろし…

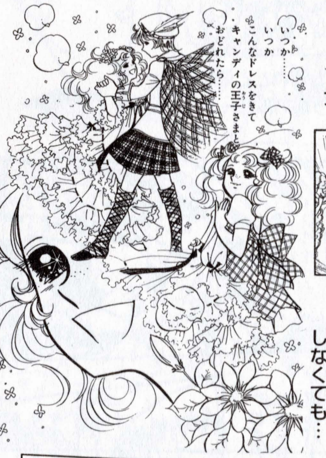




↑あまりにもすごいかんちがい

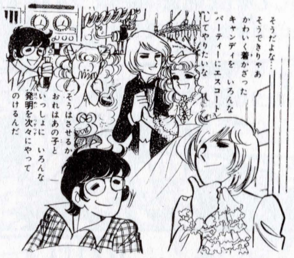


キャンディすごくきれい、美人！

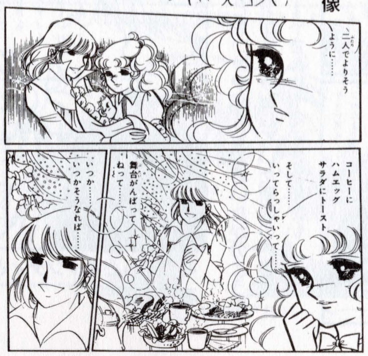


←二人とも
女の子ね↓





↓子供まで想像
しなくても…





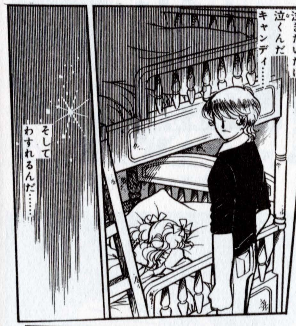
アルバート特集

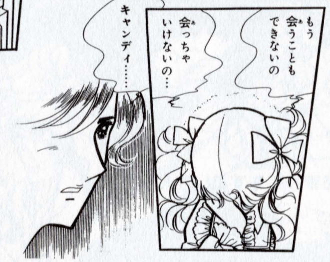
あぶない!! アルバートさん

後半、たたみかけるような
アルバートさんの攻撃を
どうぞお楽しみ下さい



おおっと、テリィに会いに行くキャンディを見送りながら、こんなこと言ってたんですね～





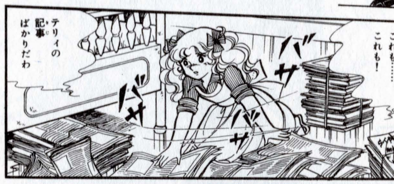
キャンディがテリィと別れたと聞いてどう見てもうれしそうなアルバート



まるで新婚さん



このコマ左下の車、アルバートさんをひき逃げするんだけど、記憶を取り戻してほしいと思い余ったジョルジュのショック療法でしょうか?



←わざと見つけやすくしておいたかのようにベッド下からはみ出していた新聞の内容…アルバートさんはやることが細かい



もうずっとキャンディと暮らす気

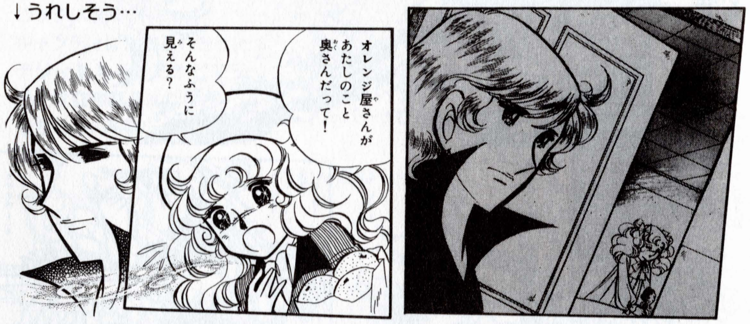


じゃあ捨てなよ!!



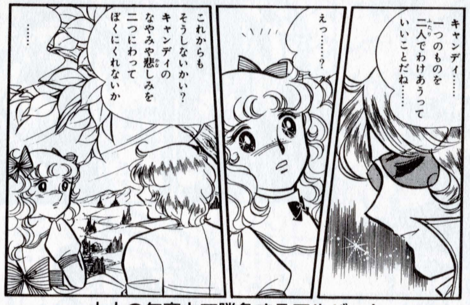
このコマだけ見ると恋人同士とみまごう様子

↓うれしそう…

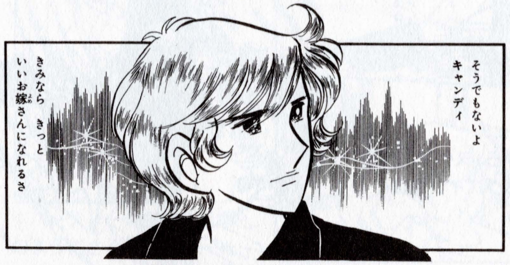




そんなハンパな金額の車ってある? 決めセリフを言うために、わざと一人分だけ買ったね……



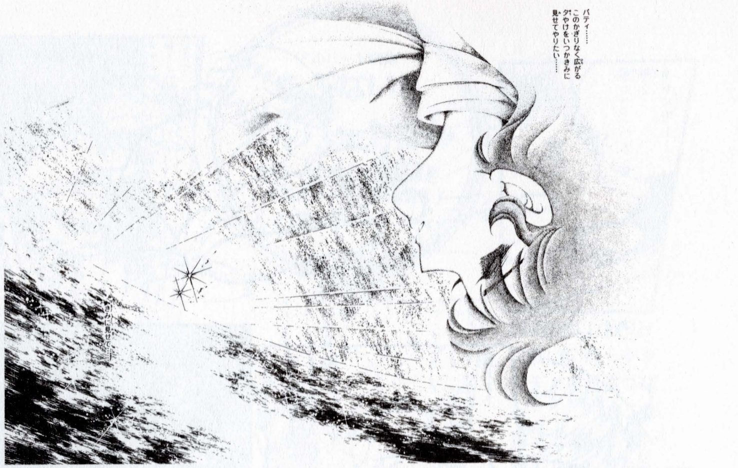
大人の包容力で勝負するアルバート



狙っているなアルバート



なぐさめにかこつけて けっこうセマるアルバート



ステア戦死…
あまりにもステアらしく大空に散った
でも残されたパティがかわいそう

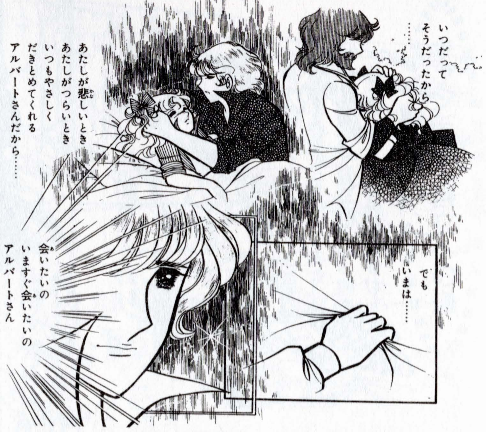






一人欠け二人欠け……
一人残されたアーチー、
アンソニーが死んでから、ステアと共に
吹くのをやめていたバグパイプを吹く
さびしいね……

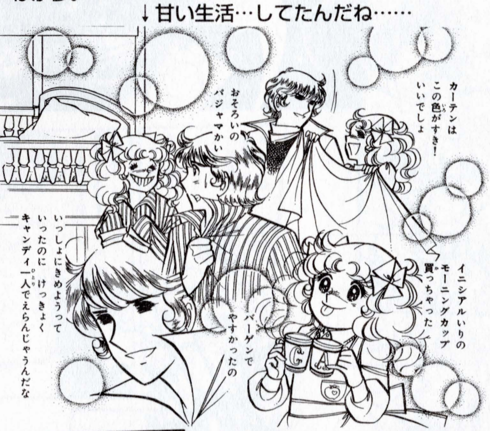




アルバートさんの作戦成功

テリィとの関係に駄目押しの
ロックスタウン
キャンディは落ちぶれきった
テリィを見る。おかげでテ
リィは立ち直るんだけど…
もちろん、アルバートさんの
はからい

↓甘い生活…してたんだね……

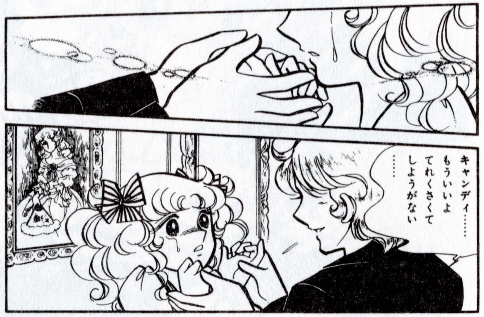




アルバートさんが出て行ったあと、アルバートさんのベッドに眠るキャンディ。枕を抱える……



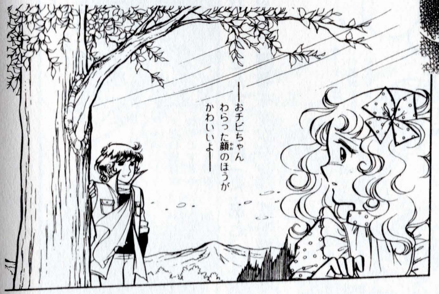
↑パーティーの主役を当然
のようにさそうアルバート
そして当然のように受ける
キャンディ

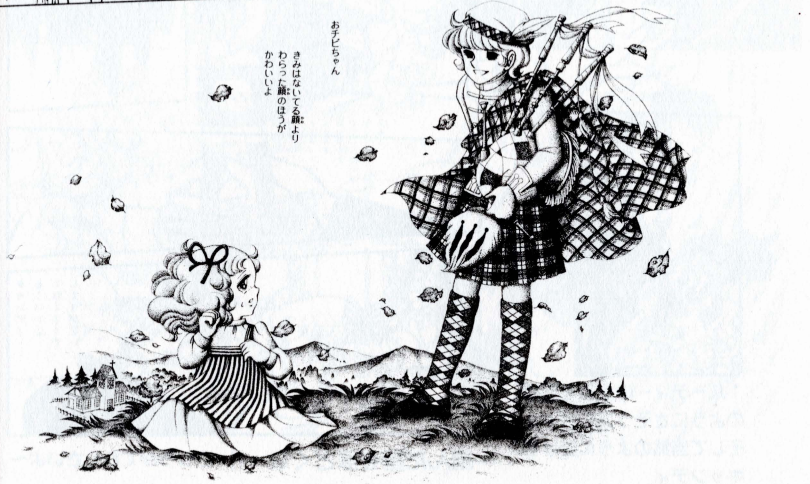


組んだ指をほどくな〜!!　こっちがてれくさいよ〜



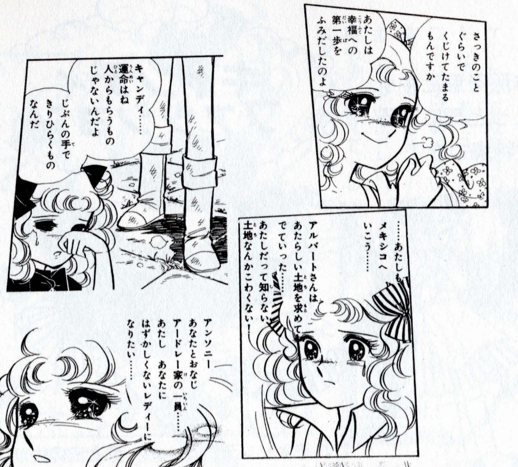
アルバートさん
大おじさま、丘の上の王子さまと、
切り札使いまくりのラスト

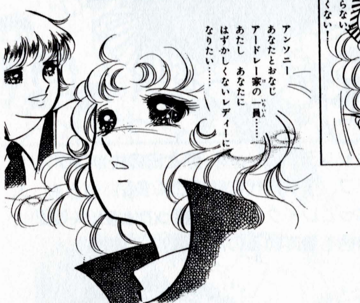




キャンディ・自立への道

キャンディが自分自身をはげまし、成長し、自立していく様子がわかる場面をならべてみましたキャンディ、がんばってます





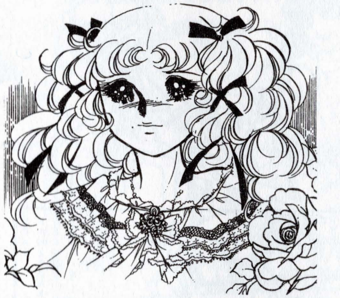


キャンディファッション

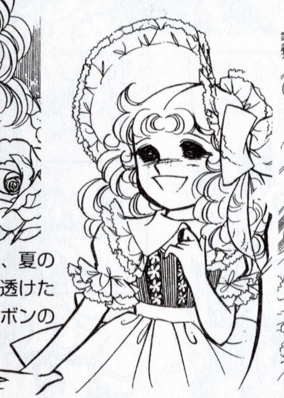
物語中、いろいろな服を着たキャンディたちの、ちょっと気になる服大集合！　リボン特集つき！



これぞキャンディ・ルック。赤と白のキャンディストライプ。子供時代にはすごく多い
大人になってレイクウッドへ戻ったとき、久しぶりにこの柄を着ているのが象徴的



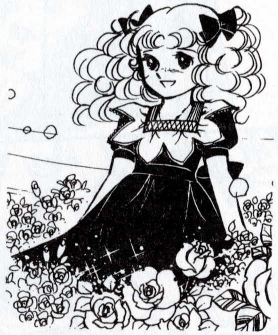
緑のベルベットだと思ってたけど、夏のイブニングだからサテン地かも。透けた袖の止めかたがおしゃれ。髪のリボンの通し方にあこがれた。大人っぽい



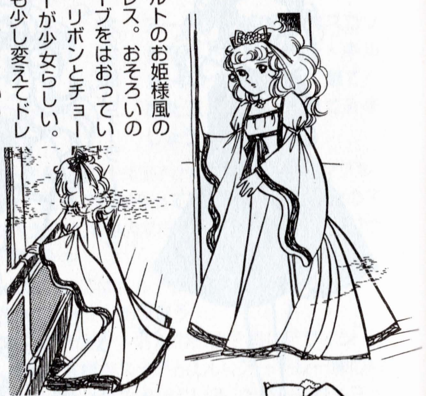




このカバンが欲しかった！　白地で角が赤なんだよね



上品で華麗。普段着として着てしまうところがお金持ちっぽい。花びらのようなえりがとってもキュート。ネックレスがのぞいているところがチャームポイント



ケルトのお姫様風のドレス。おそろいのローブをはおっている。リボンとチョーカーが少女らしい。髪も少し変えてドレスアップしている



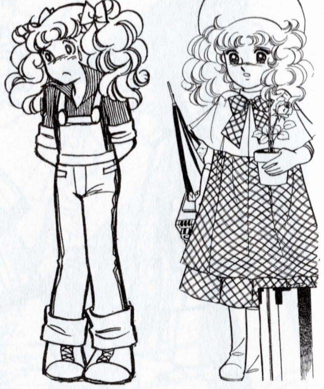
クリスマス仕様のコートドレス。赤と白に違いない。タイツにブーツもかわいい



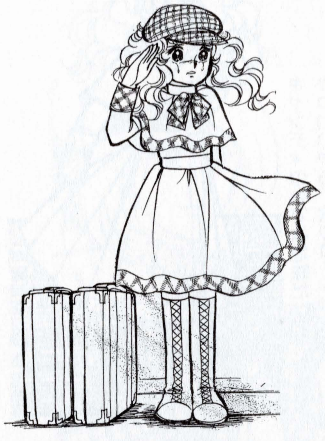
社交界用の派手なコート。花びんをのっけたみたいな帽子がかわいい





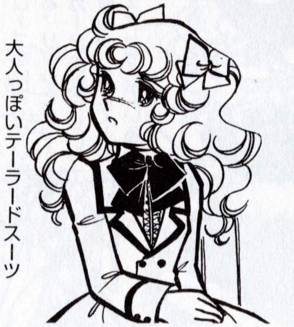


イギリスからアメリカへの一人旅の間、ずーっと制服のブーツを履いている。右は実は意外とめずらしいジーンズ姿。このジーンズはおそらくカーソン氏の奥さんのお古。左はクッキーの帽子をかぶったキャンディ。まるでコートと揃えたよう





レースが片側に
向いているのが
ちょっと新鮮



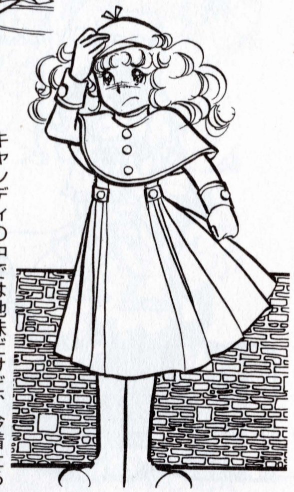
大人っぽいテーラードスーツ



ステアのときの喪服。
シンプルながらかわ
いい形



春のコート。大おじさま名義でなく、アルバートさんからのプレゼント



キャンディの中では地味だけど、今着たらかわいいかも。秋のコートドレス



後半に多いキャンディの二段スカート



三段スカート！

アードレー家の正装 キルト

アードレー家の正装はスコットランドの民族衣装・キルト。ストーリーの中で着てくれた五人について見てみましょう

アルバートさん（丘の上の王子さま） 伝統的でシンプル

キャンディ とっても似合って可愛かった。普通女の子は着ないけど、これは女の子バージョンにアレンジされていてステキ

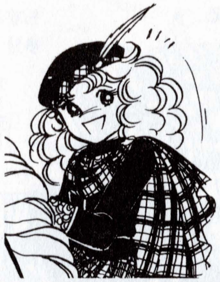
男の子三人のいとこはキルト自体はみんなおそろい
上着のデザインが少しずつ違う

アンソニー アルバートさんのお古？同じデザイン

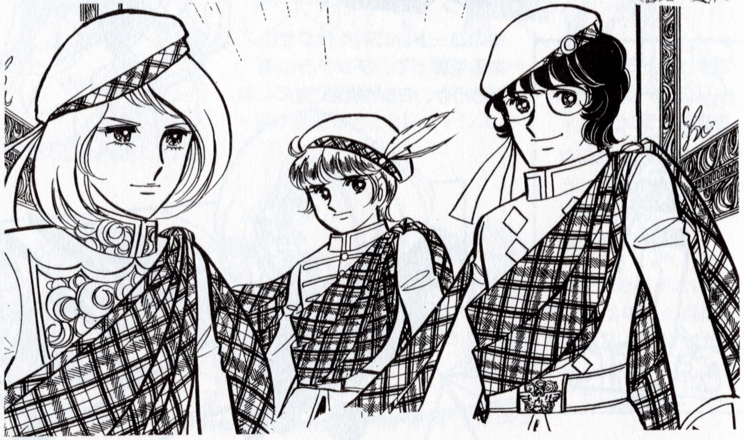
ステア ポップな柄がステアらしい。アードレー家の紋章入りのバックルがのぞいている。たぶんこれも三人おそろい

アーチー 帽子がステアとおそろい。すごく凝った刺繍の柄がおしゃれ。ちょっとハデ









ファッションといえば アーチー



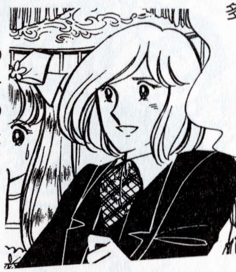
お金持ちっぽい毛皮のえりのコート。帽子もお揃いの毛皮。手袋が上品さを醸し出している



ロシア風のシャツ



アンソニーの父からのフランスのおみやげ。ここまでやると趣味を疑うほど。ブラウスもすごい。でも似あっちゃうアーチー…多分『三銃士』の格好を意識している



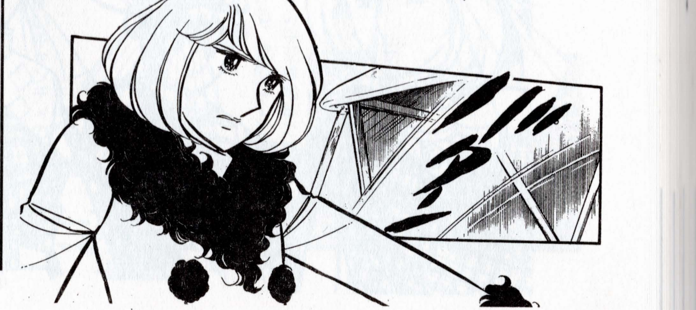
キャンディとニールの婚約式で、正式なパーティーなのに略装のアーチー。おしゃれはおしゃれだけど…



東欧風ブラウスで決めるアーチー

おまけ・ドミィ トリコロールのシャツを着るフランス人

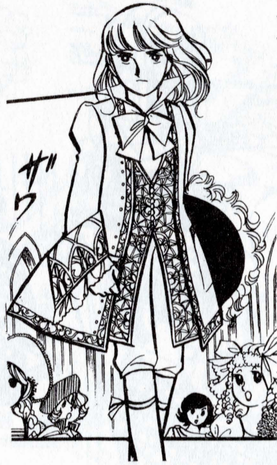




冬のコート。これだけクセのある毛質って、チンチラの毛だろうか、ミンクだろうか

メイ=フェスティバル 五月祭

「思い思いのおしゃれをしてくる」とは仮装パーティーと紙一重。キャンディは大おじさまのさしいれのロミオとジュリエットの扮装をしたけど、みんなはどんな格好してたかな?



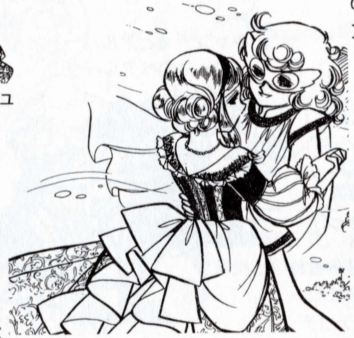
←テリィ。先祖の服でしょうか?中世スタイル



↑五月祭の華、花の精のコスチューム。キャンディは着れなかった



↑華やかなアーチーとジュリエットのキャンディ

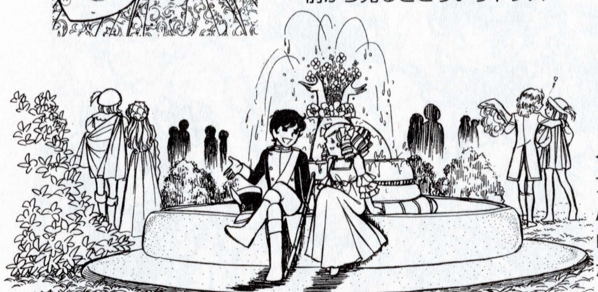




↑アニー。いいセンス。パートナーはロミオの扮装のキャンディ
←前から見るとこういうドレス

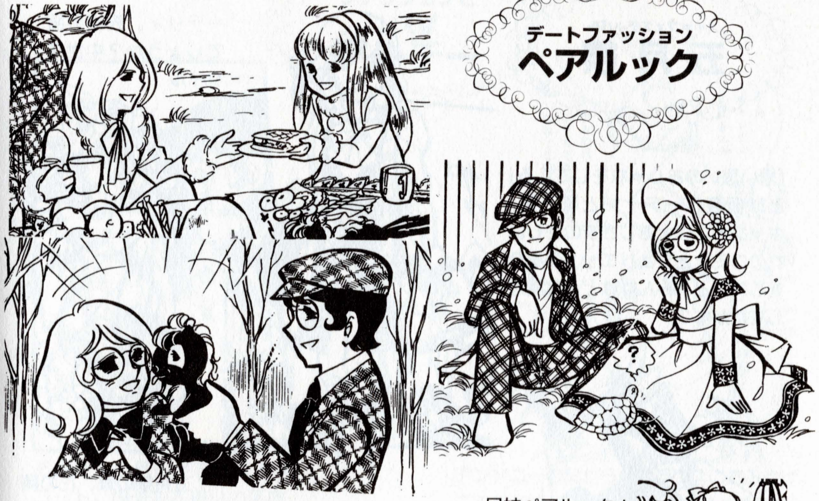


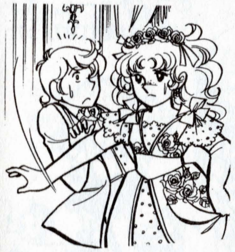
↑イライザ。扇子がきれいだけど帽子が重そう。ひとつひとつはかわいいのにコーディネートに難あり



←ステアとパティ。ステアの服は中世の兵隊さんの格好。パティはたてロールがかわいい。噴水がこわい

デートファッション
ペアルック





ニールとキャンディの組み合わせ。キャンディのドレスはニールの趣味？ちょっとゴテゴテ

キャンディとアルバートさん
パジャマのペアルック……



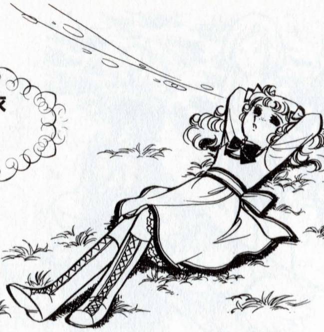
→兄妹ペアルック！

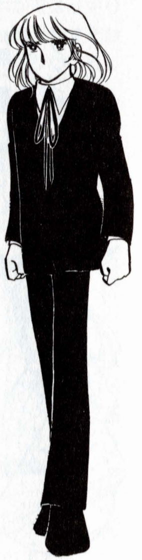


見のがせない
リボン特集

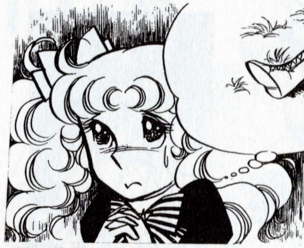


聖ポール学院＆白衣
制服





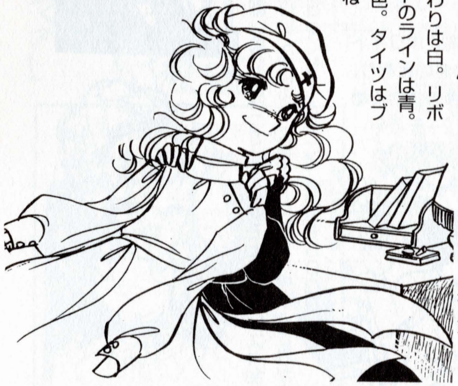
男子の制服。色は黒のみ。三つ揃いで中にチョッキを着ている



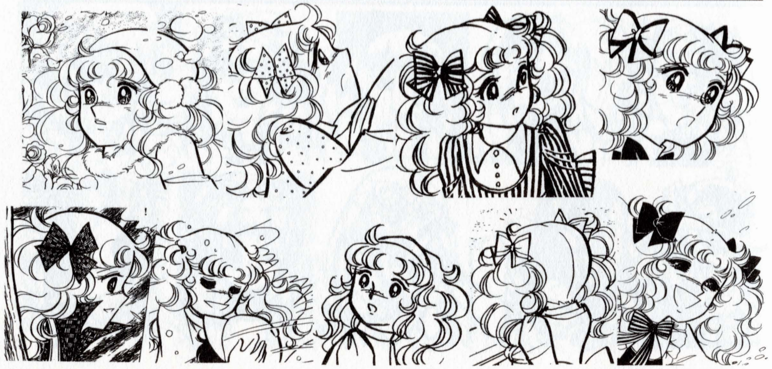
黒い礼服。ミサの時にはこの制服



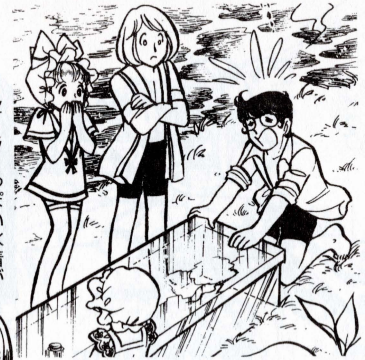
灰色の制服。首まわりは白。リボンとタイとポイントのラインは青。タイピンの星は黄色。タイツはブルーグレー。上品ね



看護婦の白衣。キャンディって意外と似合うのでおどろき！



アニー＆そのほか
レディースファッション



セーラーっぽい水着がシンプルでかわいい

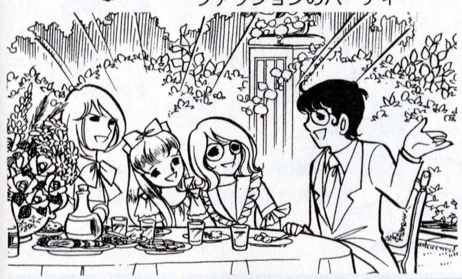


→アニーの細い肩に似合っている可憐で上品なドレス。全体的に大人っぽいんだけど、スカートだけ丈が短いところが少女らしい。とってもフェミニン。髪型もGOOD

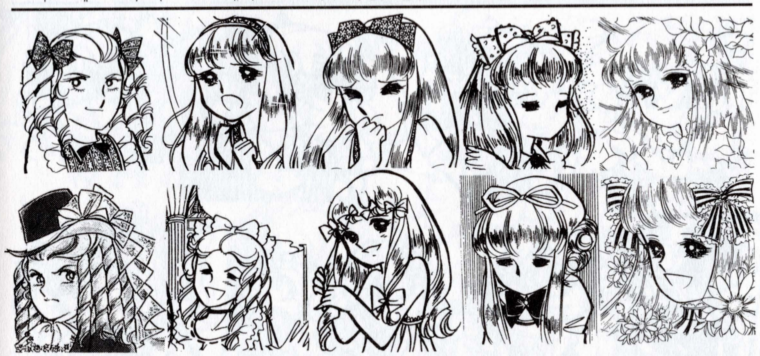


ちょっとかわいい
ふだん着

↓イライザの発案。ホワイトパーティー。その名のとおり、上流階級ならではの白づくめファッションのパーティー



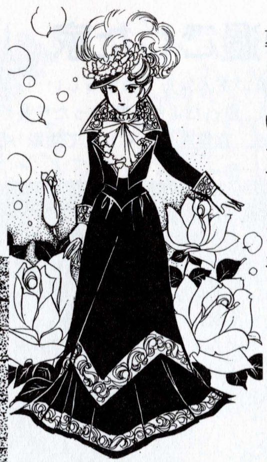




夏らしくさわやかでスッキリしている。でも胸元やすそからのぞくレースがかわいらしい。リボンとタイもそろいですてきなトータルコーディネート



さすが女優。セクシーな
ナイトドレス

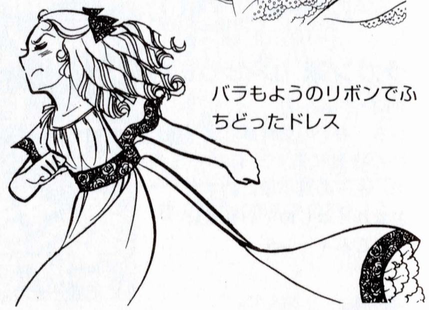




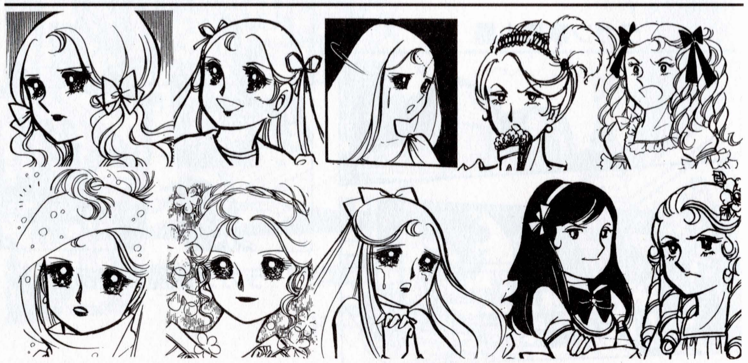
サラはいつもおしゃれ。トップモードって感じ

リボン特集おまけ・テリィ
放浪時代は長髪。髪を結んでる





バラもようのリボンでふちどったドレス

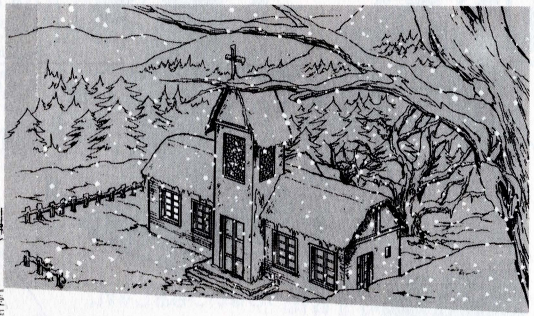


キャンディの過ごした家

キャンディほど引っ越しの多い主人公ってめずらしい…。そこで どの家にどれぐらいの期間いたのか調べてみました。思ったよりも短かったり長かったり。思いのほか長かったシカゴのアパートについては、背景をじっくり見て間取り図を描いてみました。

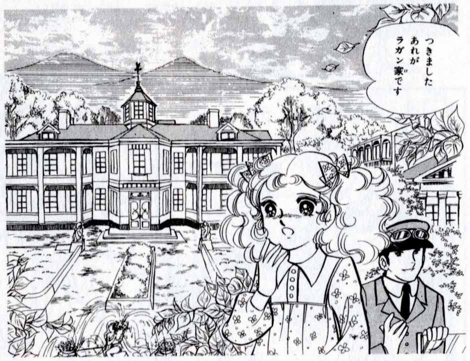
ポニーの家

期間・約十三年間＋α



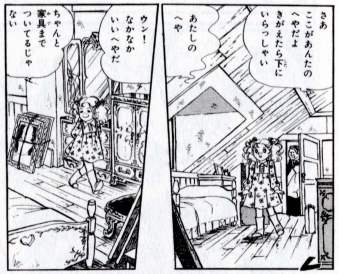


ポニーの家裏側



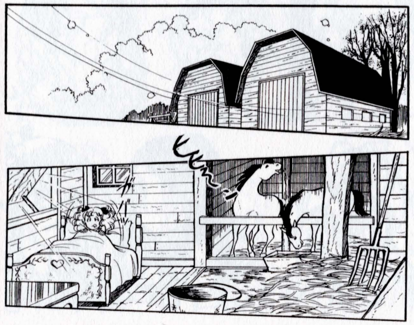
ラガン家（レイクウッド）

期間・約二ヵ月
うち、右下の屋根裏部屋（限りなく物置に近い）に約一ヵ月半、左下の馬小屋に約半月
生まれてはじめての私室によろこぶキャンディ



ラガン家屋根裏部屋

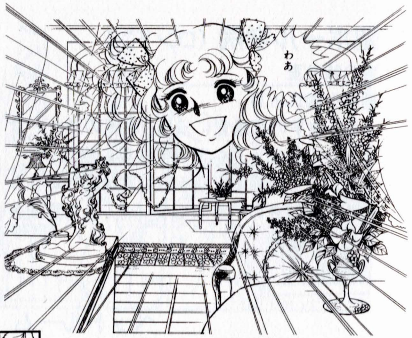
ラガン家馬小屋





アードレー家（レイクウッド）

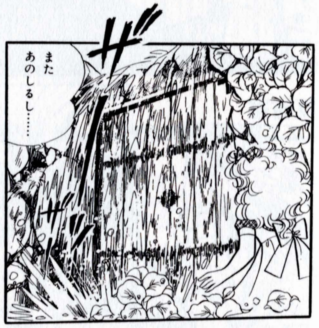
期間・約一週間〜十四日＋山荘に二日
右下の山荘には二回行っている。
ラガン家から家出したときと、大おじさまを訪ねたとき



キャンディの私室



バラの門（アンソニーの門）

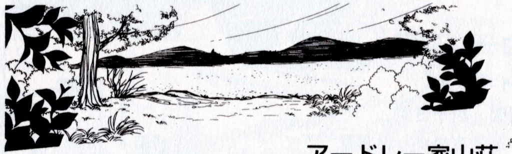


水の門（ステアの門）



石の門（アーチーの門）

アードレー家裏庭





アードレー家山荘

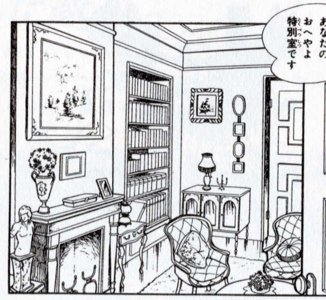
聖ポール学院（ロンドン）

寮の特別室

期間・約九ヵ月

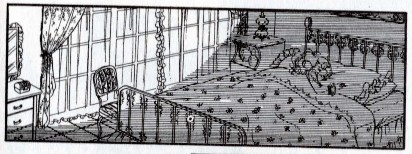
うち、左下の反省室に三日、右下のサマースクールに約二ヵ月、下の学生牢に一日

キャンディの個室となる特別室は庭へ降りられる階段つきのテラスもついた、ふた間はありそうな部屋



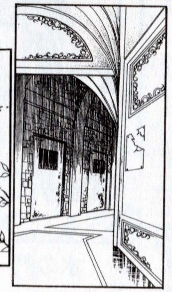
リビングルーム

ベッドルーム



反省室





反省室ドア

サマースクールの教会





学生牢



カーソン宅

（イギリス）

期間・約十日間

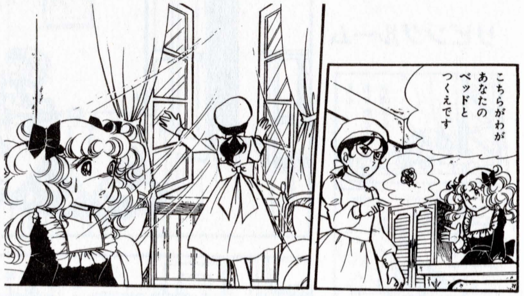
木造の古めかしい農家

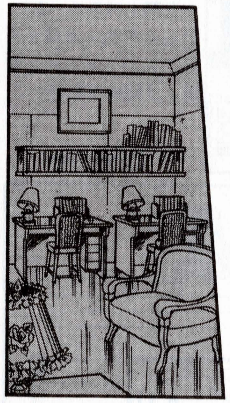
メリー＝ジェーン看護学校

寮の部屋

期間・約五ヵ月

フラニーと同室の二人部屋。机とたんすとベッドだけの部屋





聖ヨアンナ病院（シカゴ）

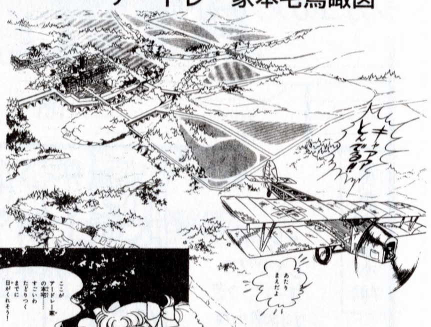
寮の部屋

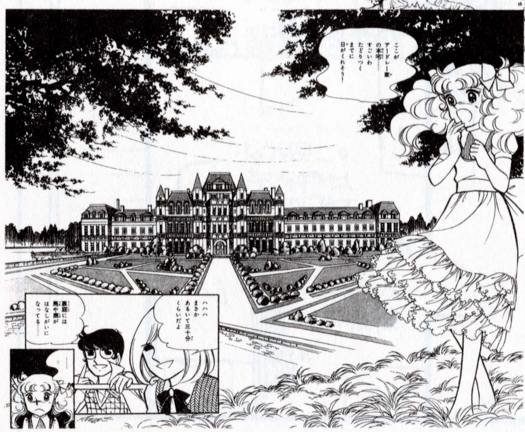
期間・約二ヵ月

またフラニーと同室

三日後にフラニーが出ていき個室となる

アードレー家本宅鳥瞰図





アードレー家本宅

（シカゴ）

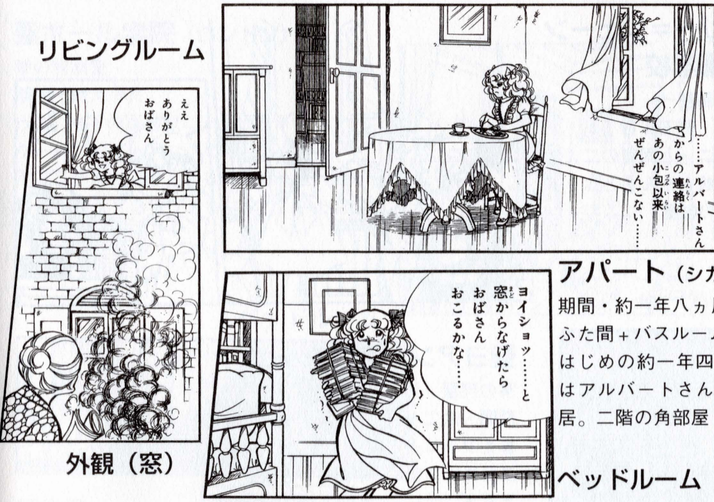
期間・一日十α

門から歩いて三十分、裏庭には馬や鹿が放し飼いになっていて、湖もある

BOX5 ♥ MANIA

- ・おしえてキャンディ！
- ・ステア博士の大発明
- ・背景を探れ！

リビングルーム



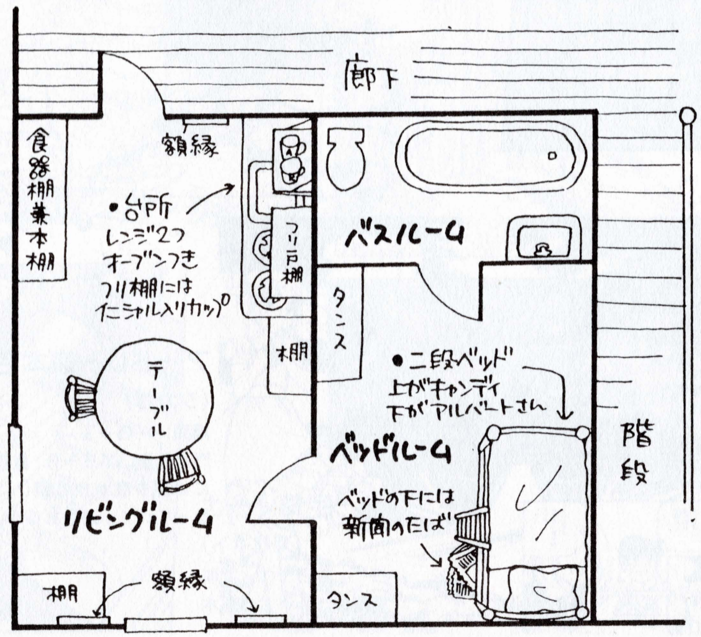
外観（窓）

ベッドルーム

アパート（シカゴ）

期間・約一年八ヵ月
ふた間＋バスルーム
はじめの約一年四ヵ月はアルバートさんと同居。二階の角部屋

シカゴのアパート間取り想像図



おしえてキャンディ！

謎の答も謎を呼ぶ一大クエスチョンコーナー



『キャンディ♡キャンディ』読んでいて、ところどころで「？」が頭に浮かんだことはありませんでしたか？ いがらし先生のインタビューにあるように、一年の予定で始めた連載が、あまりの人気に長くなったことや、掲載ページ数の都合で割愛したシーンもあったことなどが重なって生まれた「？」だと思えます。気にしないでも読めてしまうけれど、あえて問いたい十九種の疑問。

しかし、私達は「ファン」です。詩を愛する人が行間を読むように、私達にも愛の力で「コマ間」を読み、なにかの答えが見つけだせるはず。ということで、ここでは勝手に答えを考えてみました。私達が考えたのですから、正解はありません（あたりまえです）が、「たぶんこういうことだったのでしょう」という内容から「ありえないだろうけどこういうことも考えられる」というものまで。それも勝手に答えの最後にマークで印してあります。尚、情報源は『キャンディ♡キャンディ』全巻のみ。正解がないということを逆手にとって、自分なりの答えを考えながら読んでいただくのも一興のコーナーです。

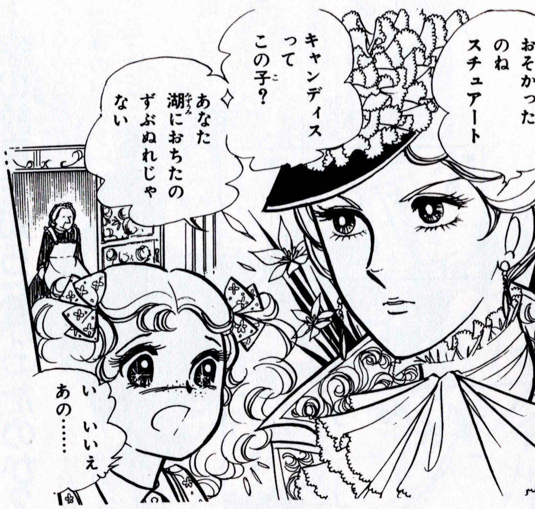
マークの説明
◎たぶんこういうこと
○こういうこともあるかも
△ひょっとしてこんなことも
×こんなことはまずありえない

おしえて 1

ラガン夫人がキャンディスの名前を知っていたのはなぜ？

ポニーの家からイライザの話し相手としてキャンディがひきとられるとき、「そんな急に」「きょうたつんですか！ こんな　こんな急だなんて……」とポニー先生とレイン先生たちが言ったように、スチュアートはキャンディを見つけてから、かなり性急にラガン家に連れて行ったように感じられたのだが、ラガン家に着くなり夫人に「キャンディスってこの子？」と聞かれている。いったいいつ、ラガン夫人はキャンディの名前を知ったのだろうか？（1・37p／上・39p／①・37p）

1　あたりまえにキャンディの事前調査をしていたから　◎
2　スチュアートが「さ、キャンディスさま」と言ったのを地獄耳で聞いていたから　○
3　アニーと一緒にキャンディをひきとれなかったブライトン夫妻がアニーにせがまれてキャンディのひきとり先をそれとなく探し、ラガン家に薦めたから　○
4　伝書鳩で知った　×



なぜニールとイライザはアードレー家の紋章を知らなかったのか？

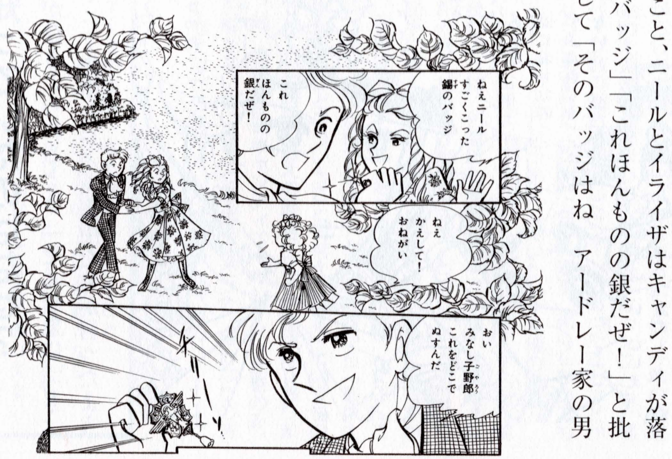
おしえて2

キャンディがラガン家にひきとられてからまもなくのこと、ニールとイライザはキャンディが落とした王子様のバッジを取り上げて「すごくこった錫のバッジ」「これほんものの銀だぜ！」と批評している。しかし、アンソニーは、このバッジを目にして「そのバッジはね　アードレー家の男子がもつものなんだよ」と、それが何か説明している。

つまり、アードレー家の外孫としてアンソニーと同じいとこ同士でありながら、ニールとイライザはそれがアードレー家の男子が持つものであることはおろかアードレー家の紋章であることすら知らなかったということ。蛇足だけどニールだけが一度もアードレー家の正装のキルトを着たこともバグパイプを吹いたこともない。そのあたりと関係あるのかもしれないが、赤の他人のキャンディでさえアードレー家の門についている紋章と同じであることに気が付いていたのに、どうしてニールたちはアードレー家の紋章を知らなかったのだろうか？

（1・45p／上・47p／①・45p）

1　教わってなかった　◎
2　忘れていた　△
3　そこまで考えがまわらなかった　◯
4　二人ともマテリアルに興味があって、形はどうでもよかった　△



十時のゆうれいの正体は？

おしえて3

イライザたちラガン一家にアードレー家の引っ越しパーティーに連れていかれたキャンディ。主賓のアンソニーたちにエスコートされて楽しく過ごすのだが、アンソニーを取られたとイライザにやきもちをやかれ、「アードレー家の三階の一番奥の部屋」に閉じ込められてしまうことに…。暗く、汚く、クモの巣だらけのその部屋から、キャンディは「こわい！」という恐怖のパワーで扉をぶち破って脱出成功。

しかしそこでキャンディは、シルクハットにマント姿の、ろう人形と見まごう人影を見るのだが、それは何だったのだろうか？　閉じ込められる前にアンソニーたちがこの家は十時になるとゆうれいが出ると言ってキャンディをからかう前振りまであるのに、結局キャンディに「なんだったんだろう」で片付けられてしまった。その正体とは？

（1・96p／上・99p／①96p）

1　ろう人形が歩いていた　◯
2　パーティーに来ていた客　◎
3　ゆうれい　◯
4　大おじさま　△



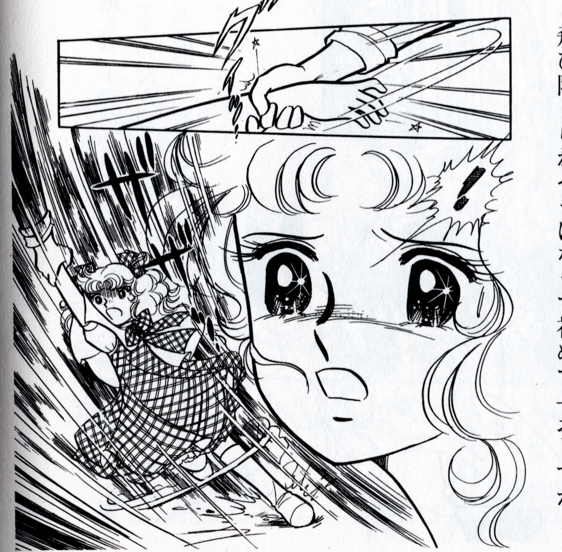
なぜジョルジュはキャンディをさらったのか？

それはキャンディがメキシコの農場へ連れていかれる途中のこと。メキシコからの人買いのキャンプに夜突然あらわれて人買いを殴り倒し疾風の如くキャンディの手をつかんで走って逃げたジョルジュ。さらに彼はキャンディを車の助手席にほうり込み急発進し、あっと言う間に人買いからキャンディをさらったのだった。

「おろして！ 人さらい！」とキャンディに暴れられ、殴られ、飛び降りられそうになって初めて「おしずかに……あなたのことは悪いようにはしません」と、悪意のなさをアピールしているけど、このときのジョルジュはどう見てもプロの人さらい。女の子相手とは思えない乱暴さ。「おしずかに」の一言でお静かになったキャンディは人を見る目があったわけだが……本当の人さらいだったらどうする気だったんだキャンディ！

さて、そこまで強引な方法でジョルジュがキャンディをさらったわけは？（2・41p／上・227p／①225p）

1 ジョルジュの趣味 ×
2 農場主がキャンディにせまっているのを見かねたから ◎
3 大おじさまが「さらえ」と命令したから △
4 キャンディの身代金を踏み倒すため ○



なぜポニーの家の子はキャンディを知らなかったのか？

初恋の人アンソニーの死にショックを受けて家出し、ふるさとであるポニーの家に帰ってしまったキャンディ。この帰郷のとき、あらっ？ と思うことが。ポニーの家の子供達が誰ひとりたったた半年間いなかっただけのキャンディを知らないのだ。子供達は一緒に暮らしていたお姉さんをすっかり忘れてしまったということだろうか？

さて、子供達はなぜキャンディを知らなかったのか？（2・153p／上・339p／②・21p）

1 キャンディのいない間に子供達が総入れ替わりしていたから ◎
2 キャンディの印象が薄かったから ○
3 キャンディの不在を子供達がさみしがらないようにポニー先生が催眠術をかけたから △
4 ウラシマ効果 ×



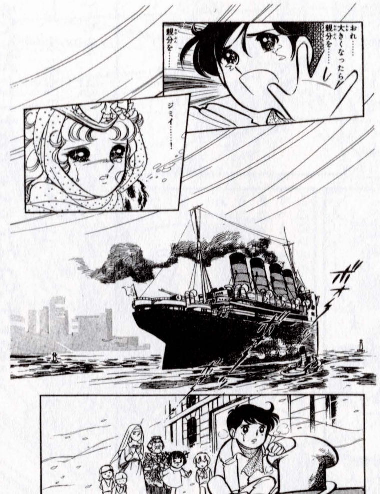
おしえて6

イギリスへ発つキャンディをポニーの家の人達が見送りに来ていたのはなぜ？

この疑問自体に「なぜこれがおかしいの？」と思う人もいるかもしれない。でも地図（55ページ）のレイクウッドの場所をもう一度見てほしい。ポニーの家はレイクウッドから車で四、五時間の所にあるはず。そして当時イギリス行きの船は主にニューヨークから出ていた。ニューヨークからサウザンプトン港までだいたい一週間かかるのが普通で、キャンディもクリスマスの、多分翌日に船に乗って、船内で行われたニューイヤーパーティの時に「あと四日でロンドン…」と言っているので、日数的にみてもニューヨークから出たことはほぼ間違いないと思える。

すると、「ミシガン湖の南に位置する小さな村、その村の山あいに」あるポニーの家からはかなり距離があることになり、ポニー先生はじめ子供達ははるばるキャンディを見送りにやって来たことに…。どうしてそんなたいへんなことをしたのだろう？（3・13p／上・392p／②・74p）

1 当時ヨーロッパに旅立つ人を見送るのは家族の義務だった　△
2 ジョルジュがクリスマスの日に子供達を車に乗せたとき、とても喜んだのを見て翌日も乗せてあげたから　×
3 キャンディの見送りついでにニューヨーク見物に来た　×
4 ジミィがキャンディを見送りたがったけれど子供一人では行かせられないから　◎



おしえて7

テリィはグランチェスター家の何番目のぼっちゃんなのか？

ロンドンへの船上でキャンディはテリィと出会い、お互いの氏素姓も知らぬ間に口ゲンカをして別れる。その後すぐ、キャンディは「ねえジョルジュ　いまの人……」とテリィについて尋ね、ジョルジュはそれに答えて「イギリスの貴族で名門の方ですたしかグランチェスター家の何番目かのぼっちゃんで……」と言っている。キャンディの質問の仕方からしてジョルジュは客の顔を見るだけでそれが誰だか答えられるようだ。アードレー家総長の優秀な片腕は乗船者名簿くらい手に入れていたのかもしれない。

しかし、「何番目かの」とはどういうことだろうか。テリィのグランチェスター一家の回想シーンではテリィより年下らしい兄弟をひきいる正妻が公爵に向かって「グランチェスター家の正当な血を引いているのはこの子たちだけです！」と言っていることからテリィは公爵の認知されている最初の子供であるように思え、だからこそ正妻からうとんじられているように見えるのだけど…。はたしてテリィはグランチェスター家の何番目のぼっちゃんなのだろうか？（3・23p／上・403p／②・85p）

1 ジョルジュの勘違いで、一番目　◎
2 年下に見えた男の子が長男で、実は二番目　○
3 十七番目　△
4 四十三番目　×



おしえて 8

テリュース＝G＝グランチェスターの「G」とは何の略なのか？

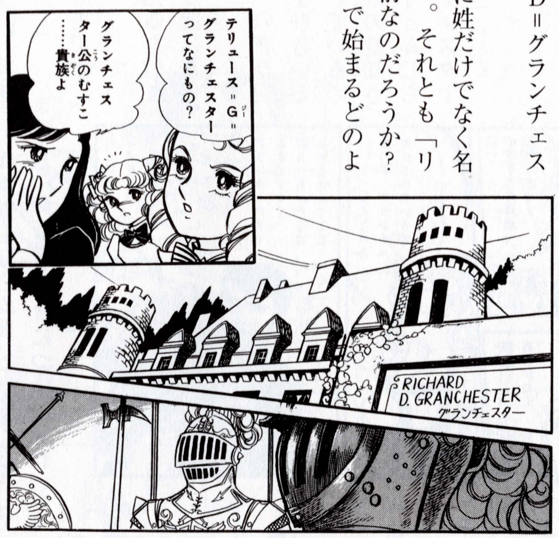
ミドルネームの略に決まっているが、どういう名前かがとても気になる。物語中一度たりともフルネームが出てくることがない。

ちなみに彼の父親の公爵の名はリチャード＝D＝グランチェスター。

公爵家なのだから代々受け継がれてきただろう別荘の表札に姓だけでなく名までも刻んでしまうあたり、名前へのこだわりが感じられる。それとも「リチャード D」はグランチェスター家の長男に定められた名前なのだろうか？

公爵の「D」も気になるが、テリィのミドルネームは「G」で始まるどのような名前なのだろうか？（3・49p／上・429p／②・111p）

・ギルバート　・ゲーリー　・ガブリエル　・ガラハット
・グレゴリー　・ゲーテ　・ジェラルド　・ジャイアン
・グレン　・ジョージ　・グレアム　・グラント
・グリム　・ガリバー　・五郎　・グレッグ
・グレート　・ジャイアント　・ギャレット　・ギャッツビー
・ギャラン　・ガリレオ　・ガガーリン　・ゴジラ
・ガメラ　・ガンダム　・ガイガー　・グレース
・ガンジー　・ギルガメッシュ



おしえて 9

女子寮と男子寮の間はどうなってるのか？

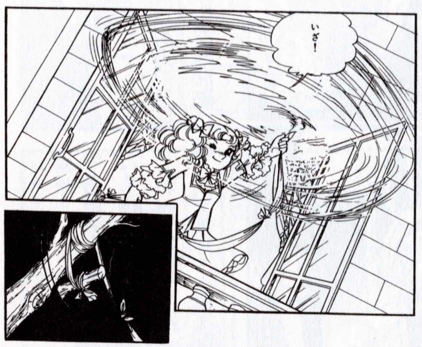
男子寮へ行くために、キャンディは木に巻きつけたロープにしがみついて中二階のベランダから飛んだけれど、キャンディの部屋からテリィが同じくロープを使って出て行ったときは、ロープの端は使う前と同じく部屋に残っていた。テリィはロープをつたって木によじ登ったらしい。ロープの利用法は人それぞれ。

だけどロープを使って飛んでも、よじ登っても見つからないなら歩いて行っても見つからないんじゃ……？

事実、テリィは誰にも呼び止められず夜中に馬で女子寮の前まで走っているので、見張りがいるとは考えにくい。

そして寮の窓から互いの部屋の明かりが見えるので、高い壁も存在しそうにない。しかし、「モンキー・そばかす」の異名をとるキャンディだけでなく、大ケガをしていたテリィまでもが木から木へ飛び移って移動しているからにはそうせざるをえない理由があるはず。寮と寮の間には一体何があるのか？（3・41p／上・421p／②・103p）

1　沼地になっていて、靴跡が付いてしまうようになっている。靴底には生徒の番号が彫り込まれていて、誰がどこへ行ったかばれてしまう　×
2　鈴のついたひもが渡されていて、知らずに通るとひっかかって警報として鳴ってしまう　○
3　木から木へと、先輩たちがひそかに作り上げた、絶対シスターに見つからない道がある　△
4　ニールの掘った落とし穴がたくさんある　△
5　外周を取り巻いているような鉄柵がある。馬小屋か学生牢を通れば女子寮側にも行ける　◎



おしえて10

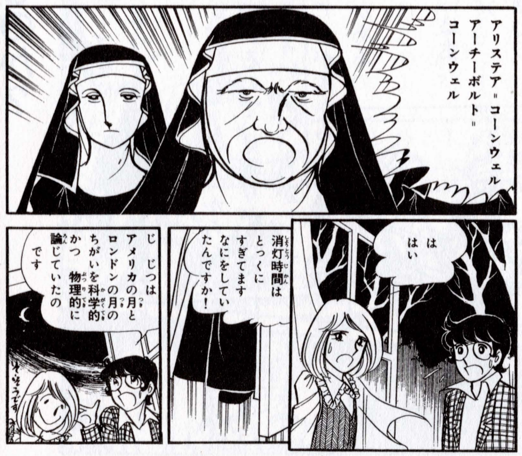
シスターグレーの役職は？

シスター グレーは聖ポール学院の院長。「男子部の理事長もこわいけど、このおばあちゃんもっとすごいや」とアーチーが言っているから、キャンディ編入のときにアーチーたちは初めて彼女と対面したとわかり、シスター グレーは女子寮だけの最高責任者であるらしいとわかる。そして先のアーチーの発言から想像するに、男子寮は理事長がまとめているはず。さすが男女交際に厳しい聖ポール学院、男女の区分ははっきりしている。女性が男子寮へ行くなどもってのほかなのだ。

が、しかし、シスター グレーを筆頭とするシスターたちは集団で男子寮の抜き打ちの見回りをしている。それも、「消灯時間をとっくに過ぎた」夜中に。

はじめの礼拝のときにいた神父も途中から姿を消し、いつの間にかシスター グレーが一人ですべてを取り仕切るようになる。馬小屋事件の処罰など、男子部にかかわることでも理事長は姿を見せない。なぜだろうか。（3・39p／上・419p／②・101p）

1　数カ月の間に出世していた　△
2　神父と理事長が休暇中だった　×
3　アーチーたちは入学したてでまだよくわかっていなかった　◎
4　単に男子部に干渉していた　×



おしえて11

キャンディは『くも男』でどうやって帰ったのか？

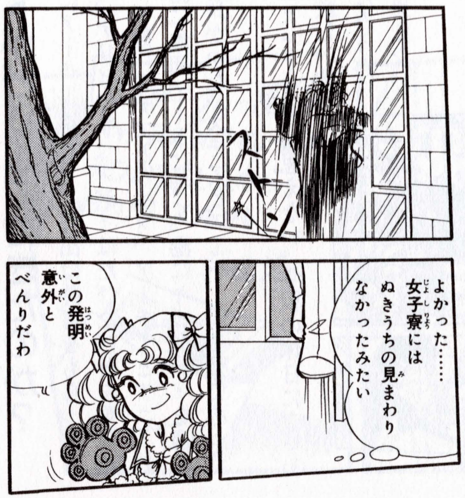
『くも男』とはステアの発明した吸盤のついた手袋と靴のこと。これを使えば天井に張り付くことも壁をはい上がることも可能というすぐれもの。

ステアとアーチーの部屋へ来ていたキャンディが、シスターたちの抜き打ちの見まわりに見つかりそうになった時、『くも男』を使って女子寮へ逃げもどり、「意外とべんりだわ」と評している。が、気になるその行程は描かれていない。

彼らの部屋のベランダから出て行き、二階あたりの高さから女子寮の自分の部屋のベランダへ飛び降りたことはまずまちがいないとして……。

キャンディは『くも男』をどうやって使ったのだろうか？（3・90p／上・490p／②・152p）

1　女子寮に行き着くまで男子寮の壁を横に這って行った　○
2　シスターがいなくなるまでステアたちの部屋の天井にいた　◎
3　『くも男』で木を伝った　×
4　ほめただけで、その時は使わなかった　△



ブルーリバー動物園への集団デートがどうしてできたのか？

おしえて12

入学するために聖ポール学院へ向かうキャンディにアーチーは言う。「外出は許可をもらったうえで一日三十分だぜ」と。だからローゴクなのであり、テリィやキャンディはたびたび塀を乗り越えてエスケープしていたのである。だが、それから半年後、ステアとパティ、アーチーとアニーのカップルとキャンディはアルバートさんのいるブルーリバー動物園に集団デートに行く。港にキャンディを迎えに来たときは「特別に許可」をもらって出て来たというから時間も長かった。ステアとアーチーが私服であったのも「特別」だったからだろう。

この集団デートのときは全員が制服を着ていることから平日のエスケープとは思えない。学校の休日に、きちんとした許可を得て制服で外出したのだろう。男女交際にはひどく厳しい校則をもつ学院だから、女子と男子は別々に外出許可を申請したのだろうが、馬車が必要なほどの距離へ出掛けて三十分で遊んで往復できるとは思えない……。どうして二組もの外出時間が延長できたのだろうか？

（4・114p／上・696p／③・68p）

1 ステアがアメリカの動物とロンドンの動物の違いを科学的かつ物理的に論じるため、と説得した ◎
2 門番に金を握らせた △
3 許可証を偽造した △
4 正式な外出に見せかけた集団エスケープだった ○
5 実は三十分間のできごとだった ×





ジョルジュがシスター グレーに渡したお金の行方は？

おしえて13

キャンディが聖ポール学院を飛び出したニュースを聞き、ジョルジュによって「キャンディスさまがみつかりましたならおわたしくください」という手紙と共にシスターグレーに送り付けられた札束。物語中、ここにしか出てこないため、旅していたキャンディに届かなかったのはまず確かだろう。それではこのお金はどこへ……そして誰のもとへ……。気になってしかたないが、その後どうなったのか？（5・8p／上・856p／③・228p）

1 シスターに感謝されつつ聖ポール学院への寄付金となった ○
2 アードレー家に返送された ◎
3 消息をたどってポニーの家に送られた △
4 いまだキャンディを探してロンドン中をさまよっている ×





おしえて14

ロンドンからサウザンプトン港まで

聖ポール学院を飛び出してカーソン家に着いたときの「学園をでてからここ二、三日　ろくなとこでねてないな」というキャンディの言葉に注目してみよう。

ロンドンからサウザンプトン港までは直線距離にして約一二〇キロ離れている。当時の車は意外に速く大体時速六〇キロくらいで走っていたそうだから約二時間の距離。馬車で行けば、平均時速四〇キロ程度というから、だいたい三時間ぐらい。

その距離を一度はテリィを追って馬車をかっ飛ばしたキャンディともあろうものが、二度目には約三日もかかっている。

カーソン家の庭の木に登れば海が見えるので、どういう手段をとったにせよ、お金をもたずに約三日間で港の近くまでたどりついていたことは間違いなく、まさにキャンディの底力を見たような気にさせられる一件。

だが、なぜ移動に約三日もかかったのだろうか？（5・19p／上・867p／③・239p）

1　見おさめのロンドン見物をしてから港に向かったから　△

2　アードレー家に迷惑をかけまいとお小遣いやお金をすべて寮においてきたので、徒歩とヒッチハイクで行くしかなかった　◎

3　実は適当に方向の見当をつけて馬車の相乗りを繰り返しているうちに時が過ぎて行ったから　○

4　自立するにあたって、体力の限界にチャレンジし、平均時速四キロで歩いたから　×



おしえて15

キャンディがイギリスからアメリカへ旅したときはいくつだったのか？

キャンディははっきり言っている。「十五です」と。でも、ちょっとまってキャンディ！　誕生日を数えていくと、なんか違う数字が出てくるよ？　まず、ポニーの家を出るときに「十二歳にもなった女の子を～」と独白しているから、十二歳。すぐに、アンソニーからスイート・キャンディをもらった十三歳の誕生日が来て、いったんポニーの家に帰ってから聖ポール学院五月祭の頃に十四歳。そして、その年の晩秋にアメリカへ旅している……。と、いうことは……やっぱり十四歳なのでは？　すると、キャンディはそのときなぜ十五歳と言ったのだろうか？（5・48p／上・896p／③・268p）

1　子供に扱われたくなくてサバをよんでいた　◎

2　ラガン家に一年以上いた　○

3　学院に一年半いた　○

4　カーソン家に一年いた　×

5　アンソニーがスイート・キャンディをくれた日を、誕生日として一回多く数えている　△





おしえて16

アードレー家の家業は？

シカゴ中に名が知れわたっているアードレー家。「アードレー家のもってる銀行とか工場がこの街（シカゴ）にはたくさんある」「大おじさまの権力と財力はぼくらもはかりしれない」などの言葉から察して、かなりの実業家らしいが、幹部が仕事をするときは黒いスーツを着る決まりがあるらしい。さらに、幹部たちの人相は悪いらしい（無表情なのはジョルジュだけではないようだ）。黒スーツの集団が町を歩くさまは平和な街のおばさんたちの話題にのぼるほど異様だった。

さて、さすがにギャングではないだろうが、キャンディですら大金持ちとしか知らない、「えたいのしれない男」「ギャング」などの呼び名で不審がられるアルバートさんの率いるアードレー家の家業とは何か？（6・70p／下・168p／④・168p）

1　政治家　△
2　大金持ち　◎
3　ファミリービジネスの財団　○
4　マフィア　△





おしえて17

アルバートさんがいたというイタリアの激戦地とは？

アルバートさんがイタリアの激戦地の野戦病院からキャンディのいるシカゴの聖ヨアンナ病院へかつぎこまれたのは一九一四年の秋頃。その年の七月二八日に第一次世界大戦が勃発し、次々にヨーロッパは戦禍に巻き込まれていった。

アルバートさんは戦争勃発のニュースを聞いて、兵隊に志願した。そして兵隊たちの乗った列車が爆破される寸前にスカンクのプッペに命を助けられるが、爆発の衝撃で記憶を失ってしまったのだった。

しかし。ここでもひとつ疑問が浮かび上がってくる。一九一四年では、まだイタリアは日和見していて参戦していないのだ。…イタリアの激戦地とは？（7・11p／下・303p／⑤・11p）

1　アルバートさんがうわごとで「イタリア……激戦地……」と言ったのをみんなが信じた　△
2　単なるうわさ　◎
3　フランス国境でのことだった　△
4　大戦とは関係ないイタリアの内戦だった　△



おしえて18

パティの両親は？

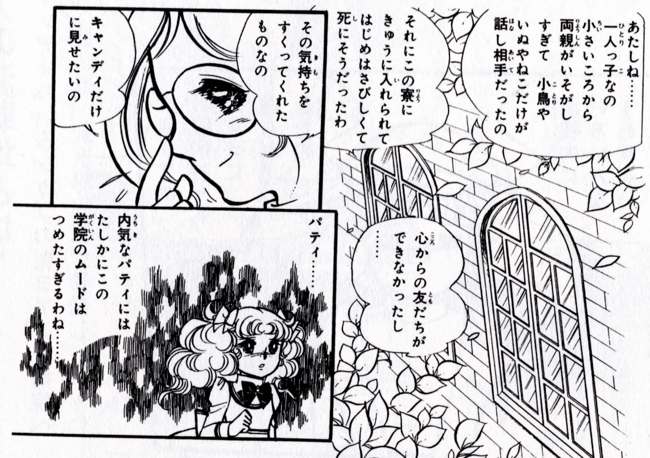
「小さいころから両親がいそがしすぎて　小鳥やいぬやねこだけが話し相手だったの」と聖ポール学院で言っていたパティ。寮に入っていたころはペット持ち込み禁止にもかかわらず、話し相手として亀を飼うほどさみしがっていた。親しい人を招待できる五月祭（メイ・フェスティバル）にも両親は来てなかったから、きっと両親と連絡をとりあうことなどめったになかったに違いない。

さて、彼女は第一次世界大戦の戦火を逃れて恋人ステアの元へ身を寄せて、故郷イギリスからアメリカへやってくる。パティはすでにアードレー家に住んでいるらしい雰囲気で、どうやら一人で疎開して来たらしい。

疎開の際、彼女のいそがしい両親はどうしたのだろうか？　いそがしさのあまり娘を一人で外国に疎開させたのだろうか？

（7・22p／下・314p／⑤・22）

1　登場しないだけで一緒に来ていた　○
2　両親はいそがしかった　△
3　パティがアメリカへ疎開したいと両親を説得した　◎
4　ステアが結婚を前提に連れて来た　△



おしえて19

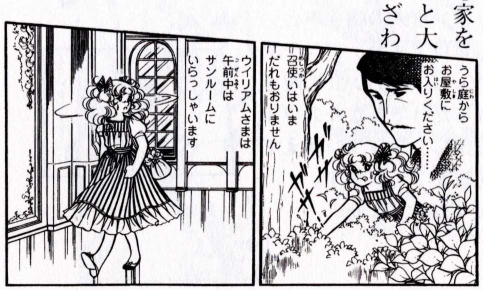
なぜレイクウッドのアードレー邸に裏庭から入らねばならないのか？

ニールとの婚約命令で頭に来たキャンディは意義申し立てのため、ちょうどレイクウッドにいるというウイリアム大おじさまに直談判に行った。

そしてレイクウッドでジョルジュの言葉を思い出す。「裏庭からお屋敷にお入りください……召使いはいまだれもおりません　ウイリアムさまは午前中はサンルームにいらっしゃいます」。

若い大おじさまが毎日午前中いっぱいをサンルームでひなたぼっこして過ごしているのは、人それぞれの趣味としても、召使いがいないならどこから入ろうと同じではないのだろうか？　実際、キャンディは裏庭に面する適当な戸口から入ったらしい。召使いもいないというのに鍵もかけずに不用心なことこのうえなしである。無人の屋敷の管理に関しては以前アルバートさんが放浪していた時にアードレー家の持ち家を勝手に宿がわりにしていたこともあり、住み込みの管理人をケチるくらい節約しないと大金持ちの座を維持できないのかもしれないが、なんの必然性があってジョルジュはわざわざ「裏庭から」と指定したのだろうか？（9・147p／上・881p／⑥・267p）

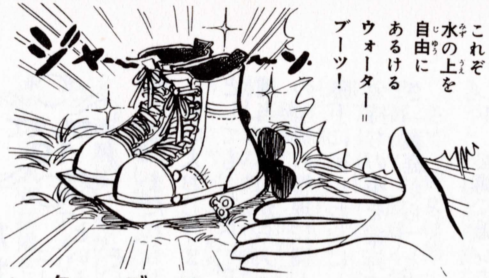
1　玄関に隠しカメラがあってジョルジュ以外の人が来るとウイリアムは逃げ出してしまうから　△
2　裏庭以外の入り口にはブービートラップが仕掛けてあって侵入者を殺してしまうから　×
3　実現しなかったが、サンルームから庭を眺めるウイリアムを見せようというジョルジュの粋なはからいだった　◎
4　玄関には鍵がかかっているから　○



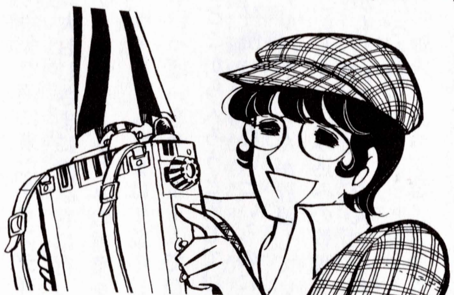
ステア博士の大発明



失敗は成功の元、アイデアは発明の母、実行力こそ希望の光。特許で優雅に暮らすのも夢じゃあない。ステア博士の懲りない発明、ここに一挙公開。



ウォーター＝ブーツ（1912年製作）　ネジ巻式のモーターでくつの後ろにあるプロペラが回って前に進む仕掛け。あなたもこれを履けばまるでミズスマシのように水の上を自由にスーイスイ！（1-118p/上-120p/①-118p）

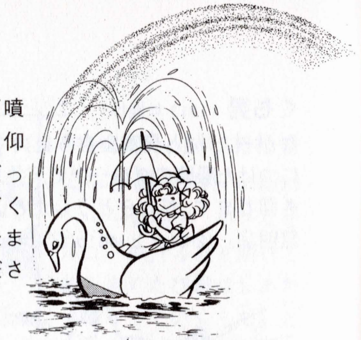


背負いがさ（1912年製作）　これさえあれば雨の日でも安心して買い物にいけます! 背中のボタンひとつで傘が開くというすぐれもの。ただし背負ったまま後ろに手が届く体の柔らかい人向き。（1-167p/上-169p/①-167p）

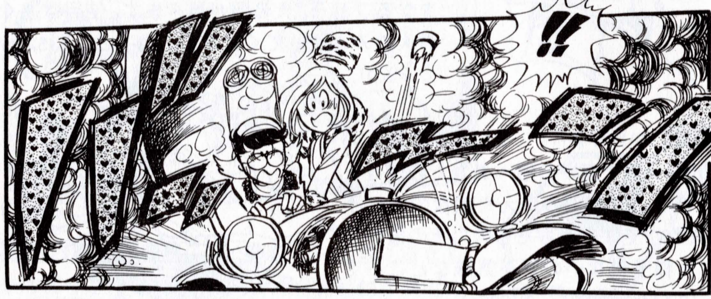


キャンディ探知機（1912年製作）　可愛らしいブルドックの姿をしたユニークな匂い探知機。サイレンが犬の鳴き声というのもお茶目ですね。アンテナに捜したい人の服の切れ端を引っかけるだけであなたのブルが見つけ出し、ワンワン吠えて居場所を教えてくれます。
（2-46p/上-232p/①-230p）



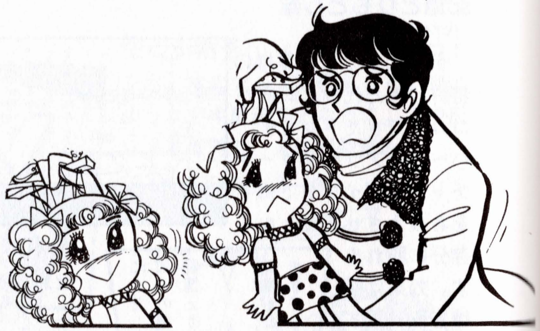


噴水ボート（1912年製作）　漕ぐことによって噴水口から水を吹き上げます。傘をさして乗り、仰げば天気のよい日に虹が！ 優雅な白鳥をかたどったボートは恋人たちのムードを一層盛り上げてくれるでしょう。ロマンチックな貴方に。水がたまると船が沈むので長時間のご使用はお避けください。（2-84p/上-270p/①-268p）



音のでないエンジン（1912年製作）　あまりに激しい爆音に人は、まさか自動車のエンジン音だとは気づかない……。見事に裏をかいた逸品。（2-166p/上-352p/②-34p）

ピストル型クラッカー
（1913年製作）　遠くからやって来た友人をドラマチックに歓迎します。湿気に弱いので港ではご使用になれません。（3-30p/上-410p/②-92p）

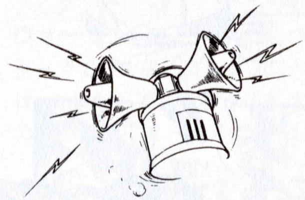




キャンディ人形（1912年製作）　愛する人へのプレゼントにぴったり。ヒモを上げ下げすると表情が変わる芸の細かさ。これを発明というあたり博士のセンスがうかがえます。あなたも愛の一念でこつこつ人形を作ってはいかが？
（2-165p/上-351p/②-33p）

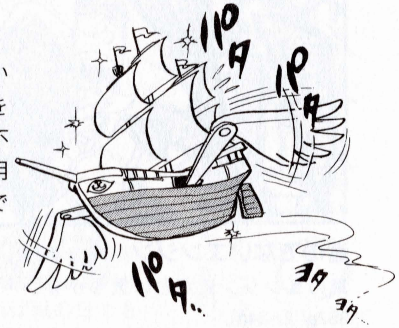
くも男（1913年製作）　エジソンすら考えつかなかった！と発案者自ら自負する傑作。手足につけた吸盤のグローブで天井を縦横無尽に歩き回れます。だからどうしたといわれると困る発明品。(2-81p/上-461p/②-143p)





連絡用ブザー（1913年製作）　遠くの人に連絡をするブザー。大音響が轟きます。使用は遠くの人のみに限ってください。(3-145p/上-525p/②-207p)

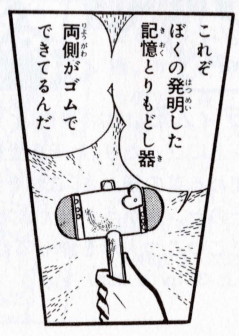
伝書船（1913年製作）　ラジコンの美しい帆船。白い翼で窓から窓へあなたの便りを運びます。なぜ羽のはえた船なのかは不明。失敗作ではなかったもののその後使用された様子がないのが不気味なところです。(3-144p/上-524p/②-206p)



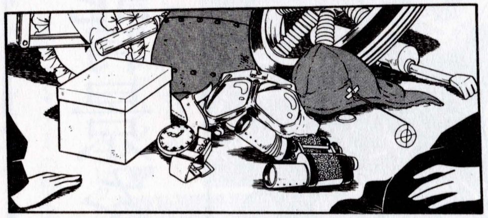
記憶とりもどし器
（1914年製作）

発明というより奥様の特許じみた代物。両側がゴムでできたトンカチ。ハートのアクセサリーがチャームポイントで相手をおびえさせることなく存分に殴れます。効果は記憶を取り戻すことより体罰に発揮するでしょう。
(7-144p/下-436p/⑤-144p)



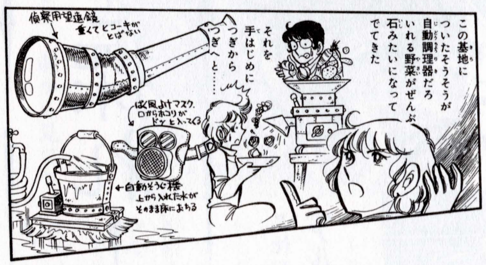


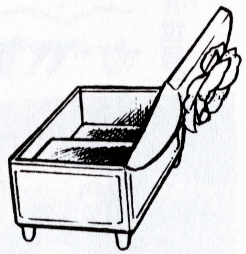
水中ベッド（1914年製作）　透明なセルロイドでできており、人一人横になれるケース。湖に沈めれば寝転んだまま水中が眺められます。もちろんパイプが外に出ているので呼吸の心配はありません。魚になった気分で美しい湖の底を楽しむことができます……きっと永久に。(6-99p/下-197p/④197p)



キャンディがしあわせになり器（1914年製作）

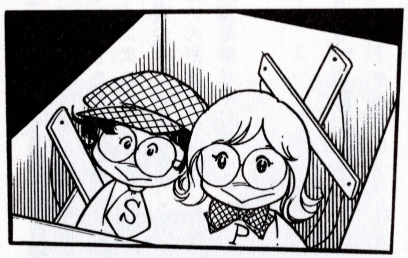
……発明？　小さなオルゴール。「ふたを開けて曲をきくたび君はしあわせになっていくんだ」と殺し文句を添えてどうぞ。
(7-179p/下-471p/⑤-179p)



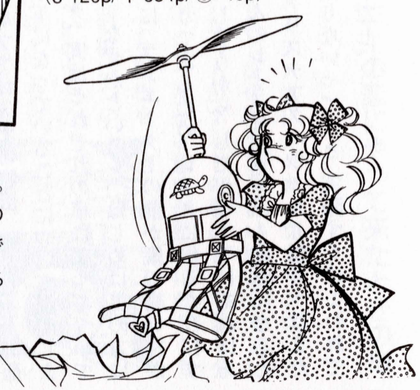


秘密の軍需産業（1915年製作）　一山当てるならやっぱりこれ。時代をよくよんだ実利的な発明の数々。実用的でないのが残念。
(8-97p/下-631p/⑥-17p)

空とぶ帽子（1915年製作）　巨大竹トンボ。亀のマークも愛らしく、夢のような空中散歩をあなたに。ご使用は必ず屋外で。人体実験済み。
(8-120p/下654p/⑥-40p)

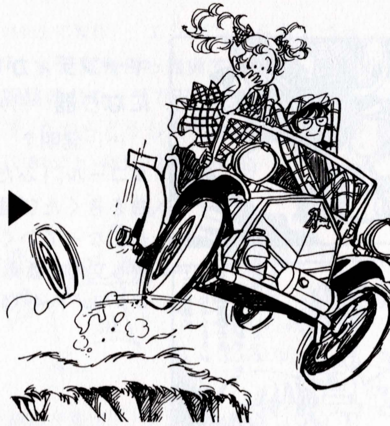


S&P人形（1915年製作）　イニシャルの入った恋人たちのツイン人形。すでにご紹介したキャンディ人形の改良版です。恋人たちの心はいつでもひとつ、戦場に赴いた男の気持ちを慰めてくれることでしょう。
(9-72p/下-808p/⑥-194p)



背景を探れ！

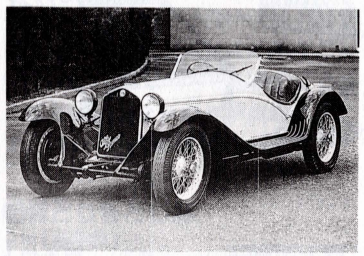
「キャンディ」に出てくる車や飛行機の元ネタ捜しをやってみました。車種は？年代は？と時代考証などやってみて、これだけのものが判明しましたが、ほとんどは解明できないままでした。160ページのインタビューでも、最初は時代設定をきっちり決めていなかったと言われているとおり、こんなことにこだわりまくってもしょうがないんだけど、やりはじめたら止まらなくって、こんな超意地悪な企画を乗せてしまいました。先生方、ごめんなさい。



①「アリステアスペシャルⅡ世号」

(1・72p／上・74p／①・72p)

▼



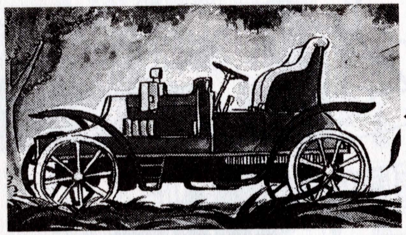
これが①の元か？

【アルファロメオ 2300】（図版①「モーターレビュー」より）

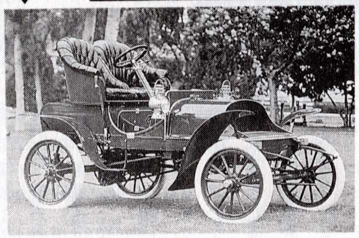
マークがアルファロメオの特徴。蛇足だが、図版ではマークが下になっていることについて説明しよう。このマーク、実はそれぞれの車によってついている場所が違う。なぜかというと、はじめは上の方についているのに、ラジエーターの前が縦の細い柱が並んでいる作りであるため、レースに出るたびにずり落ちてきてしまうから。したがって下にあればあるほどたくさんのレースに出たという証拠になるというわけ。「アリステアスペシャルⅡ世号」はまだ走りが足りないってこと。実際すぐにこわれて湖に突っ込んだし。

②ジョルジュがキャンディをさらったときに乗っていた車

(2・42p／上・228p／①・226p)



▼



これが②の元か？

【フランクリン】▼

（図版②ハーラーズコレクションより）

ラジエーターの形など、前から見てフランクリンと思われる。

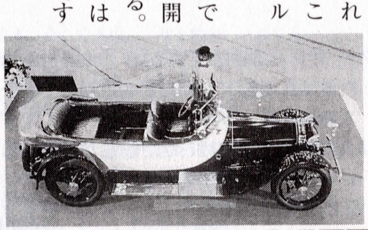
③ジョルジュがクリスマスにポニーの家にやって来たときの車

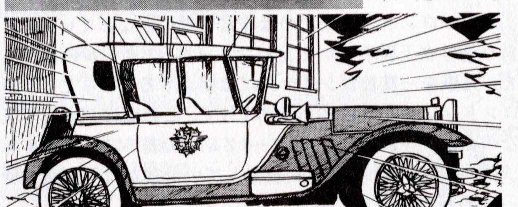
(2・196p／上・382p／②・64p)

ハーラーズコレクションのクレーン・シンプレックス・ツーリング（一九一六年）という車で、個人所有のもの。なぜはっきり言い切れるかというと、このカラーリング。上がクリーム、下がブルーの船のような塗り分けのこの車は世界に一台しかないから。さっきから意地が悪いけれどジョルジュが乗り回しているはずはない。でも屋根をかけた写真は一枚もないはずなので（屋根はついてる車なんだけどあまりにかっこわるいのでたたまれている）想像で付け加えたのでは？　ラジエーターの前がちゃんと割れている所まで描かれていることから、たぶん模型をモデルにして描いたと思える。

ただし、この絵では想像で屋根をつけたためにドアが開かない車になってしまってる。

それにしてもジョルジュはいつも違う車に乗って登場する。

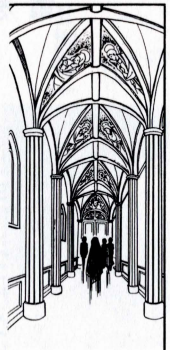




④聖ポール学院（3・36p／上・416p／②・98p）

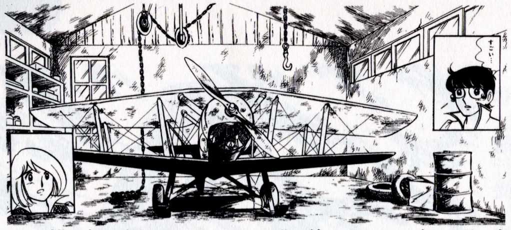
ロンドンのシティには聖ポール寺院という有名な大聖堂がある。ルネサンス様式で一七一〇年に建てられたもの。レディー・ダイアナが結婚式を挙げた寺院といえばご存じかもしれない。しかしどうやら、それと聖ポール学院は無関係。聖ポール学院の外観は様式的にいってロマネスクかゴチック（一二世紀〜一五世紀の中世の建築様式）に近く、ルネサンスのものではない。ロマネスク、ゴチック双方の特徴がみられるので改築、又は増築によって様式が合わさったものだろう。ヨーロッパの建築物にはそういったものが実に多い。木造らしき屋根や四基の屋根の上の頂塔などからイギリスで発展したイギリス・ロマネスクとも考えられる。どっちにしろいろんな様式がごちゃ混ぜ。





◎ワンポイントメモ◎

聖ポール学院はロンドンにある。シスター グレーは言っている。「この名誉あるほこり高い王立聖ポール学院の寮生となった者は女王陛下といえども口だしできないことになっています　どうかキャンディス嬢の教育はわたしどもにご一任ください」。確かに名門のパブリック・スクールは人間教育を心掛け、ただ勉強だけをする場所ではない。特にこの頃はレディーやジェントルマンを育成するにはイギリスに留学させる方法がポピュラーで、アメリカなどの金持ちはこぞってジュニアを送り込んだ。だからキャンディたちがロンドンに来たのは非常に理にかなっている。そして、シスター グレーの言う通り女王陛下といえどパブリック・スクールの教育方針には口だしできないのだ。見事な一貫教育システムには感心するが、ちょっと問題がある。キャンディがロンドンに来たのは1913年の1月で、この頃はジョージ五世が国を治めていたはずなのだが……。確かにシスター グレーの若いころはヴィクトリア女王の時代だった。俗世間から離れて教育に没頭していた彼女はその後二回の国王の交替を知らなかったのだろうか？



⑤テリィの父の飛行機（4・170p／上・752p／③・124p）

前から見るとニューポール2型（フランス製）に見える。少なくとも第一次世界大戦開始頃に作られたもの。だから意地悪く言えばテリィの父親が若いときに乗っていたはずはない。後ろは初期の飛行機の作り。ソリがついていることなどから二、三種類の飛行機を組み合わせて描いたと思われる。

⑥ルイズ・ラベ（3・107p／上・487p／②・169p）

聖ポール学院で編入そうそういじめにあうキャンディは、クラスメイトから宿題のプリントを回してもらえなかった。そこで追加としてシスターから新しい宿題をもらうのだ。フランス語の古詩のプリント三枚を覚えて次の日の午後の授業に暗唱させるのだが、その古詩のひとつがこれ。ルイズ・ラベの『ソネ』八番。ルイズ・ラベとは才能と美貌に恵まれ、情熱的な悲恋を歌った一六世紀のフランスの女流詩人だ。キャンディは徹夜したものの見事に暗唱してみせた。えらい！　褒めてあげよう。今までろくにフランス語も習っていなかっただろうに、よく覚えたものだ。

Je vis,je meurs : je me brule et me noye.
J'ay chaut estreme en endurant froidure :
La vie m'est et trop molle et trop dure.
J'ay grans ennuis entremeslez de joye :

Tout　un coup je ris et je larmoye,
Et en plaisir,maint grief tourment j'endure :
Mon bien s'en va,et　jamais il dure :
Tout en un coup je seiche et je verdoye.

Ainsi Amour inconstamment me meine :
Et quand je pense avoir plus de douleur,
Sans y penser je me treuve hors de peine.

Puis quand je croy ma joye estre certeine,
Et estre au haut de mon desir　heur,
Il me remet en mon premier malheur.

OEUVRES COMPL TES / Louise lab　/ LIBRAIRIE DROZ / 1981

私は生き、そして死ぬ。　身を焦がし、溺れる。
私は寒さに耐えつつ、激しく燃えている。
人生は優しすぎ、同時に辛すぎる。
大きな不安が喜びとまじり合っている。

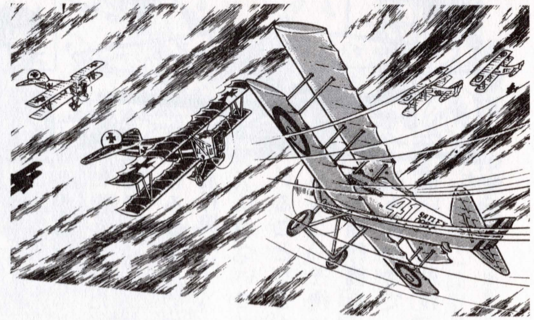
ふいに私は微笑み、そして涙を流す。
喜びにひたりつつ、多くの不満と悩みに耐える。
私の幸福は過ぎ去ってしまうが、決してそのまま続くことはない。
突然私は萎れ、そしてまた生き返る。

こうして　恋は私を不安定にさせる。
そしてもっと痛みを感じるだろうと思ったとき、
知らず知らずのうちに、痛みから逃れている自分に気づく。

そうして自分の喜びに確信が持てるとき
私が渇望していた幸せの頂点で、
恋は私を窮極の不幸に引き戻す。

『ルイズ・ラベ全集』より
（訳　村地江里奈）





⑦ステアが戦争中に乗っていた戦闘機

（8・178p／下・712p／⑥98p）

これが⑦の元か？

【スパッド十三型／日本陸軍丙式一型】

一九一七年に製造された飛行機。フランス製だが日本陸軍でも使っていた。

ラジエーターが省略して描かれている。年代をみてもわかるとおり、一九一五年にはなかった。しかも、できてからも、当時は飛行機は偵察用にしか使われていなかった。機関銃で空中戦をするのも第一次大戦末期になってから。このころは、飛んで来た敵を落とすために、そいつのさらに上空に飛行機を飛ばし、敵めがけて石やレンガを投げ付けていた。またはピストルで撃ち合ったり。このころの翼は布張りだったから、石がうまく翼に当たれば布は破けて風穴があき、飛行機は墜落した。飛んでるだけでやってることはかなり原始的。ちなみにドイツ軍の（黒い方の）飛行機はホッカーらしい。ただし、実際のホッカーは三枚羽。



◎ワンポイントメモ◎

ステアの戦友のドミィはフランス貴族で志願兵だったことを皆さん覚えているだろうか。なぜ貴族が？と思った人も多かったのではないだろうか。

なぜかというと、貴族は昔から「国のために先頭きって戦う」という役目があったから。先頭きって戦って死んでくれるから税金も免除されていた。そしてこのころは値の張る飛行機なんか貴族にしか買えなかった。飛行機の説明に書いた通り、機関銃どうしの一騎打ちは第一次大戦末期なんだけど、末期には戦闘機乗りたちは飛行機に自分なりのマークを描いて敵に対して名乗りを上げたんだ（ステアがメガネを描いたようにね、といっても、国旗をアレンジしたものや、勇壮なマークが多かったようだけど）。それを「やあ、やあ、我こそは勇猛で音に聞こえし〇〇男爵なり！」などの名乗りのかわりとして、一騎打ちをしたってわけだ。

BOX6 ♥ THE ACADEMIC

・ラヴ・ストーリーとしてみる『キャンディ♡キャンディ』

・キャンディの出生の秘密

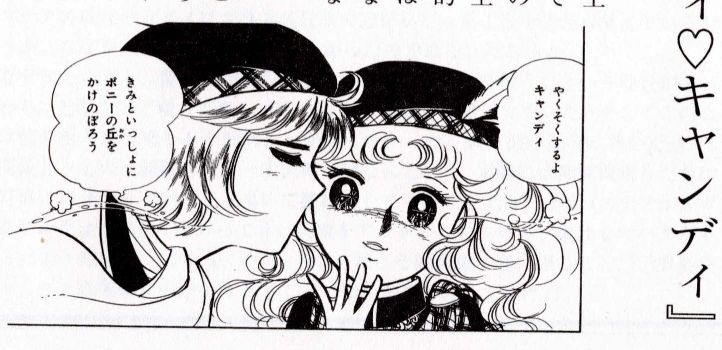
ラヴ・ストーリーとしてみる『キャンディ♡キャンディ』

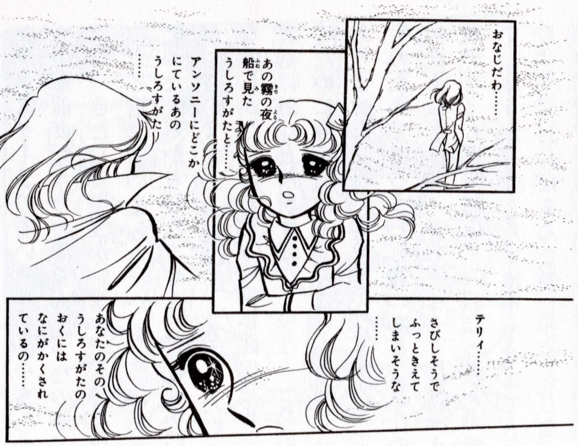
◆キャンディの初恋〜丘の上の王子さま

キャンディの初恋は六歳の時だったといいます。もちろん彼の人は丘の上の王子さま。それまではアニーとの友情を、何よりも大切に考えていたキャンディでしたが、その決別の悲しみの前に現れたのが王子さまでした。実にタイミングの良い登場です。打ちひしがれたキャンディには彼が白馬に乗ってなくても充分王子さまに見えたのでしょう。生まれて初めての深い悲しみとさびしさを、結果的にいやしてくれた彼は、この先ずっとキャンディの心に住みつくのです。それはシンデレラコンプレックスならぬ王子さま症候群として彼女を支配することになります。無論、キャンディ自身が意識して王子さまを捜し求めていたわけではないことはストーリーからわかるとおりです。

◆アンソニー〜初めての恋

それから六年たってキャンディはアンソニーと出会います。言うまでもないことですが彼は王子さまにそっくりな面立ちをしていました。六年前と何ら変わらない様子に、キャンディはすぐ本人ではないことを悟りますが、同じシチュエーションもあって、彼にひかれていきます。アンソニーは後になって「ぼくがその王子さまににてるから……（好きなのか?）」と訊きます。キャンディはもちろん否定しますがアーチー、ステア、アンソニーと三人いる少年の中でアンソニーだけが最初から特別だったのはまぎれもなく彼が王子さまに似ていたからでしょう。





キャンディがアンソニーをなつかしく感じるのも当然です。キャンディは間接的に王子さまと会ったポニーの丘を思い出しているのですから。

アンソニーと会ったばかりのころは本当に小さかったキャンディも、淡い思いが花咲くにつれて急に少女らしくなっていきます。この時期キャンディは驚くほど成長しました。アンソニーとのことは恋愛と呼ぶにはあまりにほほえましいけれど、少女期の夢としては重要です。ここでキャンディは大人への第一歩を踏み出したのです。

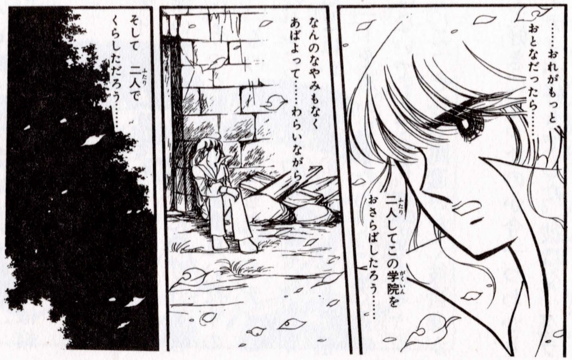
そうはいっても彼が若くして他界することさえなければ、将来二人は結ばれたことでしょう。

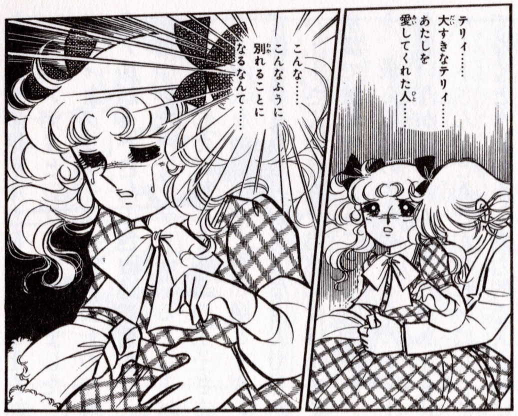
◆テリィ〜燃える思い

アンソニーの死から半年、キャンディは再び恋をします。これもまた、ある意味で王子さまの幻でした。深い霧の中で見かけたテリィの後ろ姿に、アンソニー、つまり王子さまにそっくりな、面影を見いだすのです。キャンディが王子さまを追っているのか、それともキャンディは好きになる男の子に王子さまを見るのかどちらだかわかりません。しかしテリィの場合はどう見ても似ているとはいえないのです。外見も性格も。キャンディはテリィを見てアンソニーを思い出したのではなく人を愛したときの感覚を思い出したのではないでしょうか。要するにキャンディは初めからテリィにひかれていました。そして間違いなく彼自身が好きだったのです。

一方テリィの方は、いつキャンディを好きになったのか今一つわかりにくいところですが、こちらもキャンディが好きでした。彼は父、グラ

ンチェスター公の若いときのあやまちの子です。相手の女優エレノア＝ベーカーが前妻だったのか愛人だったのか、はっきりしていませんが、今は公にはれっきとした奥方がいます。テリィはそれでも父がエレノアを愛していたのだと信じていました。たった一度の親子でのピクニックの思い出が幸せだったからかもしれません。テリィは何度か自分に言い聞かせるかのように言っています。「おれはとうさんみたいな愛しかたはしない……」、さてどんな愛しかたなのでしょう。体面のために捨てることのできる愛（そうしたら普通は遊びと解釈する）ということなのか、それとも彼女の女優という仕事のために身を引ける愛のことなのでしょうか。その辺のことに詳しい説明はありません。けれど多分テリィが言っているのは、自分のためであろうと相手のためであろうと打算のあることなのでしょう。そして結果、グランチェスター公もエレノアも幸せそうにはみえません。苦労してきたつもりでも結局テリィも世間知らずのおぼっちゃんで、大人の事情には理解がなかったのでしょうか。愛した女性を幸せにできない父を男として許せなかったのでしょう。「おれはそんな愛しかたをしない」しかしやはり親子。たとえ心がまえは立派でも、ずるずると彼は自身でどうしようもない不幸の中へ引きずり込まれていくのでした。馬小屋の事件（しかし夜中に呼び出されて行くというのは男の自覚がない、どころか期待していたのではないか。同情の余地はなし?）のとき彼は自分の身を犠牲にして学院を出て行きます。それこそ相手の気持ちを無視した自己満足的な手段であることに何故気がつかなかったのでしょう。「おれがもっとおとなだったら……二人してこの学園をおさらばしたろう……」どうして今おさらばしなかったのか、後でアメリカから迎えに来るつもりだったというのでしょうか。格好つけてないでキャンディと話し合うべきだったのではないでしょうか。その機会はあったはずです。なにも追放されたわけでもなし、すぐにイギリスを出て行かなくてもよかったのです。そうすればキャンディが密航などしなくても済んだわけだし、彼のしたことが無意味に終わることもなかったでしょう。結局このとき彼がしたことは不本意にキャンディに「自分の道を自分で歩く」という生き方を決定づけてしまったのでした。結果的にはそれはキャンディのためにはなったのですが、このときの対処が違っていればふたりの決別はなかったでしょう。





◆テリィ～つらい別れ

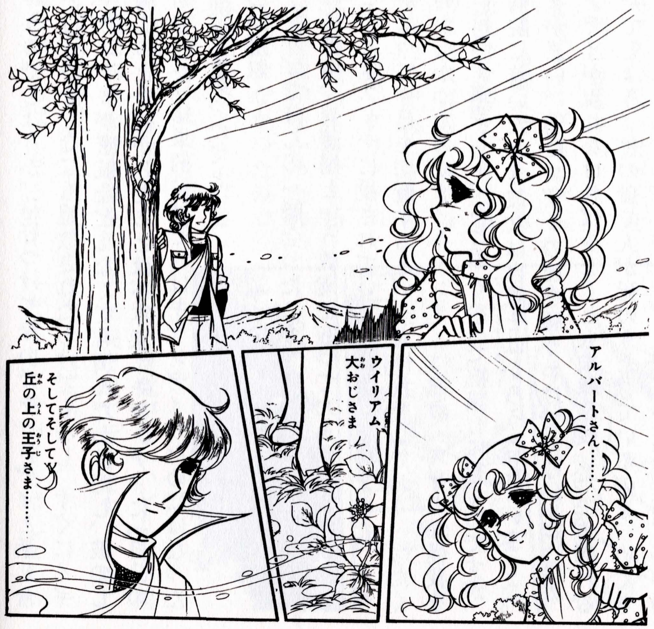
そして再会。シカゴでほんの一瞬会ったことを除けば一年後の再会でした。それぞれに俳優、看護婦という職業をもって大人になっていました。テリィはこのときスザナに愛されていて正直困っていました。スザナはテリィをかばって片足を切断するという大怪我をしており、冷たくするわけにもいかなかったのです。キャンディは初め、スザナが怪我をたてにテリィに結婚を強要していると思い込んで抗議しに行くのですが、キャンディが病院に着いたとき彼女は自殺をはかろうとしていました。実にタイミングが悪い。別にスザナの死を願うわけではないのですが、このときキャンディが現れなければ少なくとも未練を残したまま終わることはなかったでしょう。目の前で人が死のうとしているのを、いくら死なせてといわれようが、見逃すことはできないのが人間。何もこのつらい仕事をキャンディにやらせなくともと思いましたが、彼女はスザナを助けました。そしてスザナが自分と同じようにテリィを愛しているこ

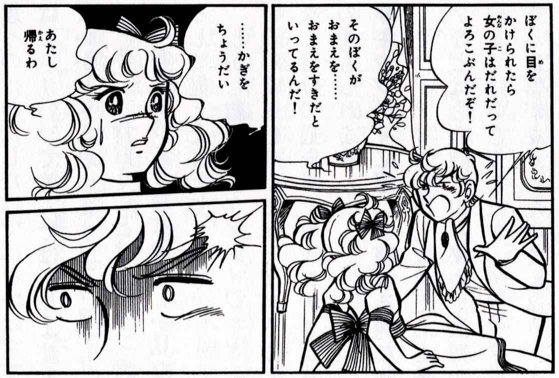
と、彼女の足が片方しかないことを知って戦意を喪失するのです。

キャンディとテリィは別れました。お互い気持ち的には何ら変わることはなかったのですが。この件の後ではテリィとグランチェスター公との和解はあるのではないか、と思うのです。

◆アルバートさん～包み込む暖かさ

傷ついたキャンディが帰るところはアルバートさんのもとでした。彼こそ本当の王子さま、というか王子さま本人なのですが、不思議とキャンディは彼について深く考えたことがありませんでした。それだけアルバートさんの存在を自然に受け止めているのか、深層意識で触れないようにしているのか、どちらかでしょう。最も最初のアルバートさんから王子さまのかけらも思い浮かばないのは仕方がありません。でも、アルバートさんはどんどんきれいになっていきます。そうでなくとも初めから魅力的な人なのに、キャンディの成長に合わすかのように、いつの間にか少しずつ、そしてすっかり美形になってしまいました。このように顔や外見と全く関係なく好意を持ったのに、実は顔も良かったというのは『美女と野獣』のお話のようで、女の子があこがれるシチュエーションですね。人間は顔ではないが良いにこしたことはない、ということです。





アルバートさんとキャンディの関係はとても微妙。二人は養父と養子の関係なのですが、キャンディはそれを知らないし、アルバートさんは同棲を始めたとき記憶を失っていました。ただの男女が一緒に暮らしていたら普通ではないと思うのですが、キャンディに言わせると「どうしてみんなそんなふうにしか考えられないのかしら」ということ。わたしも不純らしいです。

この二人はしみじみとした幸せを感じるような間柄なのですが、本当に二人の間にあるのは恋愛感情ではないのでしょうか。そうするとキャンディには行き場がなくなってしまいます。彼女の思いはアンソニー、テリィと経て王子さまに還ることで昇華するはずなのです。わたしは物語が終わった後、当然キャンディはアルバートさんと結ばれるのだと信じて疑いませんが、それは読者それぞれが考えればいいことなのでしょう。

しかし、問題があります。日本では一度でも親子の関係にあったものは籍を抜いても結婚できない法律があるのです。これは倫理的な問題のためです。アメリカでは州によって違うらしいのですが、大体はそんなこともないそうです。が、そうはいってもあれだけの家柄と格式。大おじさまと元養女が結婚したら世間体が悪いどころの騒ぎではないでしょう。さてこの二人の未来はどうなったのでしょう。

◆なぜキャンディはもてるの?

キャンディはもてる。登場人物で彼女にかかわる男は皆キャンディに恋をすることになっています。あのニールまでが最後には落ちました。確かにキャンディが魅力ある存在であることは認めますが、いくらなんでも……と

思うのはわたしだけではないはずです。キャンディはだんだん可愛くなってきたけれど、はっきりいって美人ではありません。男の人にとっては生意気で可愛げなく映るのではないかとさえ思います。キャンディを好きになる男たちは一様に上流社会のおぼっちゃん。そして皆言うことは「キャンディはどこか他の女の子とは違う」ということなのです。お人形のような女の子しか見たことがない男たちに、キャンディは新鮮に生き生きとして見えたことでしょう。

しかし結局『キャンディ♡キャンディ』は恋愛ストーリーではありません。ただ、女の子の成長を描くにはそれが不可欠だったにすぎないのです。虚勢を張っているのではなく自分の道を歩くキャンディ、こういう女性がもてることが本当の意味で女の時代なのかもしれません。

◆キャンディに思いを寄せる男たち

キャンディに恋をした男たちも多くはあきらめて、他をあたることになります。ステアなどは心の内にのみ秘めて最初から高嶺の花と思っていたのでしょう。アーチーも告白まではいきましたが、結局あきらめてしまいました。彼らにはキャンディを大きく見守る自信がなかったのでしょう。キャンディはそれほど手に余る自由な存在なのです。

ニールは可哀想にそこまで考える余裕もなかったようです。それにしてもキャンディのニールに対する仕打ちはあんまりに思います。確かに過去のニールの意地悪は度を越していたし、ニールの好意の示し方はあまりにも自分勝手です。しかし自分を愛しているという人に、それを解っていながら、ちょっと冷たいのではないでしょうか。ニールには同情しますが、それは悪役の宿命なのでしょう。フロリダで素敵な彼女が見つかる



ことを祈ります。わたしはデイジー＝ディルマン、結構可愛いと思うのですが。

◆気になるカップル

ステア＆パティ　一番バランスのとれた恋人同士。いわばベストカップル。しかも両思いから始まっている点が他とは違います。この二人には夫婦になって欲しかったと思います。二人とも優しくて面倒見が良いので暖かく、明るい家庭を築いたことでしょう。ステアは戦地でより一層パティへの深い愛を確信しますが、パティにとってみればどうあっても生きていて欲しかったでしょう。しかしステア、最後にキャンディに会って『しあわせになり器』を渡すのは未練なのか？　パティはステアがキャンディを好きだったことを知らないけれど、キャンディが得々とパティに見せびらかすのは残酷なような気が……。

アーチー＆アニー　見た目には非常にお似合いの二人。おしゃれで洗練されていて趣味も合います。気が小さく見えて実は芯の強いアニーと、しっかりしているようで意外と子供っぽいアーチー、結構性格的にもお似合いといえそうです。けれど無理やりくっつけられたしこりがアーチーに残らないのでしょうか。初めはまだキャンディを忘れられないと言っていましたが、口にしなくなってからはアニーをどう思っていたのでしょう。一番別れる確率は高そうです。

テリィ＆スザナ　こちらも、男は愛情から彼女を選んだわけではないカップル。美男、美女だしお似合いといえばお似合いだけど、それは不純ではないでしょうか。キャンディと別れた後、テリィはやはり未練が残り、スザナを残して旅にでます。しかしキャンディのために再び彼はスザナのもとに戻ります。彼はスザナを幸せにする努力はおこたらないでしょう。ずっと。しかしスザナ、それで幸せになることはできるの？

結論、幸せは恋愛によって訪れない。アルバートさんの言葉を借りましょう。

「キャンディ…運命はね、人からもらうものじゃないんだよ。じぶんの手できりひらくものなんだ」

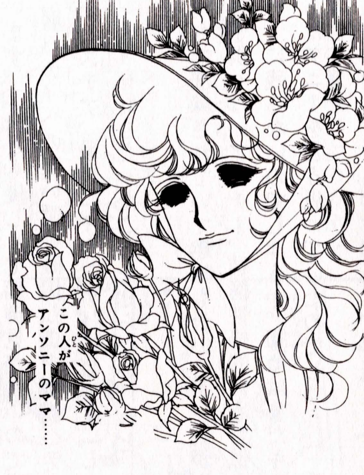
（川上千恵子）

キャンディの出生の秘密に関する考察

◆キャンディのお母さんは誰？

　誰もが疑問に思った大切なことがあるはずです。キャンディというひとりの少女の成長を描いたこの物語は、いつの間にか看護婦のキャンディの話になっていました。けれど読み始めのころ、頭の片隅にいつもあったのはキャンディは誰か？ということだったはず。孤児を主人公にした話は多分にその出生の秘密がからんでくる、というのが鉄則というもの。本人が希望に関わらずに必然的にクライマックスではわかることになっているものです。それが、気になるキーワードだけ残して不明確なまま終わってしまったのです。もちろんこれがノンフィクションならば、そうそう都合よくまとまるわけもなく、本人の人格次第で両親が誰であろうと余



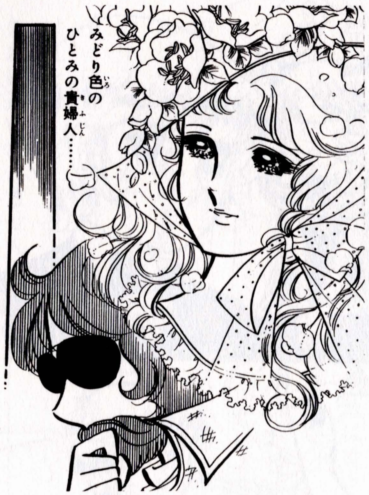


計なお世話というものだけれど、ヒントだけを与えられて終わってしまっては欲求不満におちいるのです。とにかくわたしはこれを追及したい。

　物語中にある鍵とは、とにかくローズマリー＝ブラウンの存在です。アルバートさんの姉でアンソニーの母親にあたる人ですが本編では最初から故人。二人はキャンディを見てたびたび思わせぶりに彼女を思い起こしています。ひとつにはアルバートさんの正体を匂わすためもあったと思われますが、明らかに主人公に関しても情報を提供しているように見えます。

　アードレー家の山荘で初めてアルバートさんとキャンディが出会ったときに、彼は脈絡なくキャンディの顔を見つめこう思いました。

「この子の目のかがやき　どこか……　どこかで見たことが……　みどり色のひとみの貴婦人……」

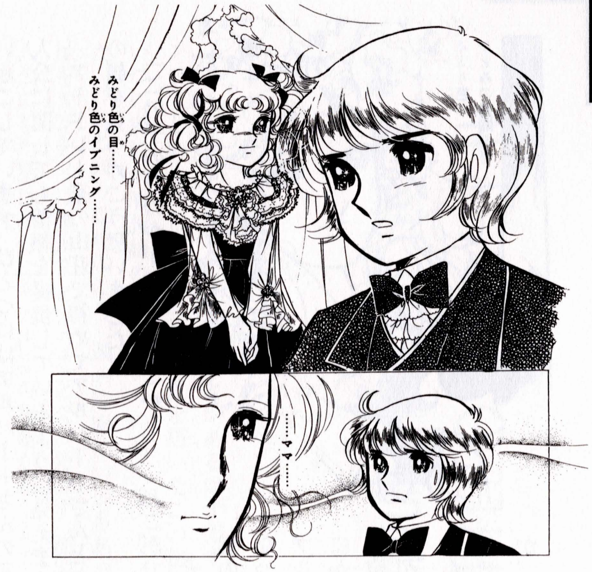


　そうしてローズマリーの面影を追って物憂げに遠い目で窓の外を見つめます。この時はまだ彼女の正体は明らかになっていなかったのですが今思うと相当なシスター・コンプレックスです。けれど、それはひとまずおいといて、とにかく物語の初期のこの段階では、キャンディは家族を恋しがる薄幸の少女で、わたしたちは彼女がいかに幸せになっていくのかを期待していたのです。それも優しいお母さんにめぐり会うことで。そこでキャンディに似ている人がでてきたら多分その人がキャンディの母親なのではないか、と思っても不思議はないでしょう。彼女が亡くなった

のはアンソニーが六、七歳のころなので計算も合うことになります。

◆赤ちゃんを捨てるワケ

もし、ローズマリーがキャンディの母親だったと仮定すると、問題はなぜ捨てたのか?ということです。裕福なアードレー一族の貴婦人がどうして生まれた子供を孤児院に捨てなければならなかったのでしょうか。答えはひとつしかありません。下世話ですが、要するに「不義の子」だったからです。折り悪しくも夫は船乗り、年中妻子をほったらかしにして世界中を廻っているのです。浮気の言い訳にはなったとしても、覚えのない子供を見過ごしはしないでしょう。そこで彼女は夫の留守中生まれた女の子にキャンディスと名を付け、手紙を添えてポニーの家へ置き去りにしたのです。そのころローズマリーはレイクウッドの別荘にいたわけですし、距離的に車で半日というのは手頃だったと考えられます。



わたしとしては個人的にこの件にはジョルジュがかかわっていると思いたい。彼はアードレー家にとって信用できる男です。彼がキャンディを苦手というのは、実はキャンディを捨てに行ったのは彼自身だからなのではないでしょうか。しかし氷の男は何も語らない。

◆なぜ、丘の上の王子さまは?

少し視点を変えてみましょう。最初のエピソードで、なぜ「丘の上の王子さま」ことアルバートさんはポニーの丘にいたのでしょうか? 考えたことはないですか。シカゴの本宅からも、レイクウッドの別荘からもかなり離れた「小さな村の山あい」、その小さな教会の裏にある丘になど何の用があったというのでしょう。いうなればへんぴな片田舎。アードレー家とは何の関係もありません。しかも、彼は正装をしていました。ふっと現れて、キャンディだけに姿を見せると幻のように消えたのです。なぞの行動としかいいようがありません。慰問でしょうか? しかし彼はポニーの家には現れていません。ではその土地がアードレー家の私有地だった? いいえ、ポニーの家の敷地はカートライト氏から借りているものです。実に不思議です。

そこで先ほどの仮説を思い返してください。もし、キャンディがローズマリーの子ならどうでしょうか。姉を慕う弟が叔父として様子を見にきても不思議なことはありません。わたしはあの正装の意味もこう考えます。丁度あの頃ローズマリーが亡くなったのではないでしょうか。キャンディは知らないとはいえ母親の死に際してアルバートさんは礼を尽くしに、もしくはただ感傷にふけるためにやってきたに違いありません。



◆この子、誰の子

さらにもう少し奥深く考えてみると恐ろしいことがうかんできます。まさかとは思いますが、実はキャンディはアルバートさんの子なのでは？　つまりアルバートさんとローズマリーの間の子供だとは考えられないでしょうか。アルバートさんのあのローズマリーを思うときの憂いた顔といい、たいしたシスター・コンプレックスぶりといい、少なくともアルバートさんの側から考えるとそれはさほど無理なことではないように思います。なるほど、それなら子供は捨てたくなっても文句はいえません。考え過ぎだと



思うでしょうか。しかしよく考えてみてください。大一族の総帥たる立場のものが、たった一度会っただけの女の子を、いくら身の上に同情しようが甥たちに頼まれようが、ポンと養女にしたりするものでしょうか。それも誘拐まがいの強引さをもって、です。そんなことをしていたら、とっくにアードレー家は大家族になっています。それもこれも実子を籍にいれる手っ取り早い方法ではなかったのでしょうか。

アルバートさんとキャンディは同棲までしながら色気のひとつも感じられませんでした。それは彼らが実の親子にほかならないからなのではないでしょうか。いずれにせよ、アルバートさんがキャンディを養女にしたからには二人はまぎれもない親子です。この件は迷宮入りでしょう。

ご存じでした？ アニメのキャンディミニコラム

『キャンディ♡キャンディ』をTVアニメで知った人も多いことでしょう。『キャンディ』と言えば頭の中に、チェンバロで始まるクラシカルでポップなあのオープニング曲が流れる人もまた、多いのではないでしょうか。明るく、「そばかすなんてきにしないわ」と始まるあの歌「キャンディキャンディ」です。「あしたはどこからうまれてくるの」と歌われる「あしたがすき」と共にとても印象深い歌でした。それは当時、他のアニメの主題歌がキャラクターの性格やストーリー説明をするような内容がほとんどだったのに対して、キャンディの二曲は、まるでキャンディ自身が言った言葉のような歌だったからではないでしょうか？

はたからキャンディをたとえて歌うなら、おてんばで明るい、へこたれないなど、形容詞の押し付けになってしまいそうなところですが、そんなこと一言も出さずに、受け取る側がキャンディがどんな子なのか自分の言葉で形容できるような歌詞になっているのです。

「そばかすなんてきにしないわ」、「オテンバだいすき」、「ひとりぼっちでいるとちょっぴりさみしい」……まるでキャンディがそこにいるかのようです。「あしたがすき」もすごくキャンディらしい。歌詞を書いた「名木田恵子」さんってどういう人なの？と、思えてしまいます。

実は、名木田恵子さんは、『キャンディ♡キャンディ』の原作者水木杏子さんなのです。なるほどキャンディのストーリーを書いているなら、歌詞がまるでキャンディが語った言葉のようになるわけですね。

それにしても二曲とも、元気かつアンニュイでロマンチックで秀逸な歌だと思います。わたしたちはすてきな話だけでなく、すてきな歌までプレゼントされていたのですね。

BOX7 ♥ INTERVIEW

・いがらしゆみこ先生インタビュー

[あしたがすき]

作詞／名木田恵子　作曲／渡辺岳夫
編曲／松山祐士　歌／堀江美都子、ザ・チャープス

あしたはどこから　うまれてくるの
わたしはあしたが　あしたがすき
すてきなことが　ありそうで
わたしはあしたが　あしたがすき
キラキラひかる　かぜのむこうで
あのひとがわたしを　わたしをよんでいる
キャンディ　キャンディ　キャンディ
キャンディ

あしたのことを　ゆめにみるの
わたしはあしたが　あしたがすき
やさしいひとに　あいそうで
わたしはあしたが　あしたがすき
☆みどりがゆれる　おかのうえで
　あのひとがわたしを　わたしをまっている
　キャンディ　キャンディ　キャンディ
　キャンディ
☆くりかえし



[キャンディ　キャンディ]

作詞／名木田恵子　作曲／渡辺岳夫
編曲／松山祐士　歌／堀江美都子、ザ・チャープス

そばかすなんて　きにしないわ
ハナペチャだって　だって　だって
おきにいり
オテンバ　いたずら　だいすき
かけっこ　スキップ　だいすき
わたしは　わたしは　わたしはキャンディ
ひとりぼっちでいると
ちょっぴりさみしい
そんなとき　こういうの
かがみをみつめて
☆わらって　わらって
　わらって　キャンディ
　なきべそなんて　サヨナラ　ね
　キャンディ　キャンディ

スタイルなんて　きにしないわ
ふとっちょだって　だって　だって
かわいいもん
なげなわ　きのぼり　だいすき
くちぶえ　おしゃべり　だいすき
わたしは　わたしはわたしは　キャンディ
そらをみあげていると
ちょっぴりさみしい
そんなとき　こういうの
ほっぺをつねって
☆くりかえし

いじわるされても　きにしないわ
わるくちだって　だって　だって
へっちゃらよ
ケーキに　クッキー　だいすき
みどりの　ドレスも　だいすき
わたしは　わたしは　わたしはキャンディ
ほしをかぞえていると
ちょっぴりさみしい
そんなとき　こういうの
ウインクしながら
☆くりかえし

学校の休み時間に友達とキャンディの絵をまねして、いかに上手く描けるか挑戦してみた人も多いことでしょう。いがらし先生の絵は少女漫画らしさを持ちながら、画面がダイナミックで、なかなか思うように描けなかったものでした。「愛蔵版」のまえがきで、先生が「泣いて、ほおを染め、走るシーンなんて、そばかすと目と鼻と口を描くと、もう真っ黒に……」と書かれているように、画面を創り出している先生にもいろいろご苦労があったようです。そんないがらし先生に、当時のことを思い出して語っていただきました。（近藤恵）

◇『キャンディ♡キャンディ』の連載の話はどこから持ち上がったのですか？

「最初編集さんだったんですよね。前やってた連載がそろそろ終わるので、次の企画を出さなければ、って。たしかあのときは……『キャンディ』の前って番長ものじゃあなかったかしら……」

◇…日本ものでしたよね。

「そうそう、番長ものですよ。で、一転して外国ものという話になって」

◇先生の作品はそれまで日本ものがメインでしたよね。

「そう、日本もの。ほとんど学園ものでしたね」

◇外国ものの『キャンディ』を描くにあたって苦労とかありましたか？

「あのね。あの、アシスタントさんが、日本の建物描くのに慣れちゃってたのね（笑）」

◇（笑）なるほど。

「だから、なんていうんでしょう、フランス窓のような…」

◇飾り窓のような？

「うん。飾り窓とか。そういうものっていうのが、まあ資料的にもそうなかったし。もういそいで資料を集めました」

◇ええ。

「それでね、スタート時は年代をはっきり定めていなかったんですよね」

◇え、そうなんですか。

「ええ。結局第一次世界大戦がストーリーに入ってますよね。あの段階に至ったときには完全に年代は定まっていたんですけど。スタート時はだいたい一九〇〇年代初頭、あるいは一八〇〇年代の終わり？　だから一九世紀の終わりか二〇世紀の頭っていうぐらいの感じで。ようする



に外国の少女文学ってありますよね、あの一連がだいたいそうですよね。『若草物語』は南北戦争入ってるのかな。とにかくオルコットの『ローズの季節』っていうのがすごい好きだったんですよ。『八人のいとこ』とか。三部作かな、ありますよね。あれが好きで、そういったようなのをベースにできればいいなって思ってたんですよね。でもその段階で外国ものをオリジナルでっていうのはちょっときついので、あの、青池さんといい話を名木田さん（原作者／水木杏子さん）書いてたんですよね。『三色すみれ』とか、向こうものの。で、そちらのほうの連載も名木田さん終わっていたんで、名木田さんと組んだらどうかなって話が出たんですよ」

◇では最初から、「こういう原作があるから先生描きませんか」っていうことではなくて、先生の方から「じゃあ誰か原作を」っていう……。

「いえ全部編集さんも入ってです」

◇ああ、話し合いの中で決まっていったんですね。

「ええ、そうです。で、名木田さんと組んで、編集さんと話し合いをして、だいたいの流れっていうのかな……」

◇こういうストーリーで、こういう展開で、とか？

「ええ、でも一番最初はね、連載一年ぐらいのつもりだったんですよ」

◇そうなんですか？

「そうなんですよ。だから、変な話だけどアンソニーすごく早く死んだでしょう」

◇ええ、ええ二巻で。

「それでもまだ延ばしたほうなんですけどね（笑）。連載の二回目か三回目には……、三回目ぐらいかな、には、もうああいう形っていうか、まあ初恋の人を失ってしまうみたいな山場って

いうのは想定されていたんですよ」

◇それが延びたっていうのはやはりアンケートが良かったからですか？

「そうです、そうです。人気が一回目からすごくありましてね、うれしいことに。それでとりあえず二回目かなんかで、続けられるだけ続けていける作品じゃないかって」

◇最初から長い話を描かれるつもりで始められたのかと思ってました。

「あの当時の『なかよし』っていうのは、最初っから長い話をという企画はないんですよ」

◇じゃあ人気次第で長くなっていく。

「そうです。まあ爆発的な人気でしたからね。あのときは」

◇ええ、そうでした。私も『キャンディ』読みたさに『なかよし』買い始めたうちの一人ですから。

「（笑）ありがとうございます。だから、そこそこだったら、べつに、一年ぐらいだったんですよね」

◇だいぶ長かったですよね、四年間……？

「四年間ですよね。おかげさまでというか」

◇『キャンディ』の、飴のキャンディのような髪形とか赤と白の縞模様の服とかの外見というのは全部先生が考えられたんですか？

「ええ、絵はこちらまかせですからね」

◇なにかファッションについて参考にされたものはありましたか？

「あの、『サウンドオブミュージック』とか、それから、えーとあれ、『あしながおじさん』とか、映画のミュージカルありますよね。あれで子供達がカーテンで作った洋服で同じのを着る



とか、『あしながおじさん』で言えば寄贈されたギンガムチェックのを、山のような反物で、全員がギンガムチェックを着るとか、なんかそういうシーンてあるんですよね、ああ言うので何か『キャンディ』もイメージカラーっていうか、まあ、カラーじゃなかったんだけど（笑）、あったほうがいいなーと思ったんですよ。ですからそんなかでストライプっていうのを選んだんですよね」

◇じゃああれはレイン先生とポニー先生のお手製だったんですね。

「そうなんですよ（笑）」

◇子供のころは友達と「当時の孤児院の子供達はみんなお古を着ているんだろう」と話していて、どうしておそろいのお古があるんだろうって思っていたんですよ。

「あはは（笑）、そう、だから」

◇当時の車がよく出てきますけど……。

「クラッシックカーですね」

◇ええ、あれはけっこう元を見たかなと思うほどいろんな角度から描かれてますが、模型とかお持ちだったんですか？

「ありました」

◇模型を？

「ええ。『キャンディ』用に買いましたね、いくつか。あと、本も入手しましたし」

◇原作付きで、『キャンディ』はどのように描かれていたんですか？

「名木田さんもすごい精力的な作家さんだから、今も児童文学ですごい活躍してますけどね。やっぱり小説のように書いてくれるんですよ。原作を。だから漫画の枚数より多かったりする

わけ（笑）」

◇（笑）そうなんですか。それをまとめて先生が漫画に割るという。

「そうそう。原作付きの作家さんがね、どういうふうにやってるのか他の方のは知らないですけど、私のやりかたっていうのがやっぱりありますからね、だから、やっぱり自分の好きなシーンというのは大きく取りたいし、あまり必要でないシーンていうのは申し訳ないけど何ページか割愛しちゃうっていう形も取っちゃいますしね」

◇先生がストーリーにエピソードなど提案されることはなかったんですか？

「たまに、ありましたね」

◇それはどういうことを？

「んと、初期のほうですね、やっぱり『八人のいとこ』がすごい頭にあったので、ああいう形で男の子をばーっと正装させて、キャンディを迎えるシーンとか、ありましたでしょう。こういう絵を描きたい、みたいなものってあるでしょう。そういう絵になるような、シーンをこんな感じで入れてほしいっていうお願いは、最初のうちはしましたね」

◇では後半のほうはもう？

「後半のほうはもうおまかせで。お互いにキャンディをこう、把握した、って言ったら変ですけど、慣れてきたら、やっぱり自由に描いた方がいいでしょう？」

◇キャンディのキャラクターが出来上がってしまってからは。

「もう、原作者さんが動かすのに間違いはないし、それをもらった私が、どこを削っても、どこを足しても、間違いはないみたいな。その間に担当さんもコントロールするのに入ってますから」



◇途中からアニメになりましたけれども、アニメ製作側から「こうしてくれ」というような注文はありましたか？

「あのね、おもちゃ」

◇おもちゃ？

「入れてくれって」

◇ああ、ああ。

「こういう製品を売りたいので、ストーリーの中で使ってもらえないかっていうのはたまにありましたね」

◇キャンディ人形とか？

「キャンディ人形は、キャンディが持ってても変でしょう？」

◇いえ、あの、ステアが作りましたよね、キャンディ人形。

「ああ、ああいうのはオリジナルですけどね。あの、丘の上の王子さまのバッジもちゃんとストーリーに入ってたんですけど、あと、ポニー先生のクルスとか。なんかいっぱい出てきましたよね。あまり入れませんでしたけどね。アニメのほうでは、入れるのを一応許可してくださいって」

◇アニメのほうだとクリンとか、いきなり知らない動物が出てきて私たちは驚いたんですけど。

「あれも最初はちょっと抵抗あったんですけどね」

◇私たちにも、かなり。

「まあ、漫画とイコールではないということで、アニメはアニメなりにおもしろい部分たくさんありましたからね。漫画読んでなくてアニメだけ見てる人もいましたしね。で、一週間に一話

でしょう。漫画は一カ月に一度でしょう」

◇すぐ追いつかれてしまいますよね。

「すぐ追いつきますよ。だからその間を、結局アニメ会社の方が勝手に作っていいかっていうのも名木田さんと私としてはやっぱりイメージをあんまり損なわれては困るということで、それなりにあれはあったんですよね。葛藤というか。でも結局追いついてしまうものはしょうがないですし、名木田さんがその間を埋めるストーリーを書くっていうそういう時間もなかったし」

◇だいぶアニメにはオリジナルが多かったですね。

「多かったですね。なぜかねえ、漫画の一話分を三十分でやっちゃうんですよね」

◇そうでしたよね。

「そう、そうするとね、残りの三話ぐらいはまるっきりオリジナルで。次の話早く教えてくれって言われたって、やっぱり漫画の読者の人のためにメインで描いてる訳ですから。アニメ会社の人のために描いてる訳じゃないですからね。だから次の分の話教えてくれって言ったって、かいつまんで教えていいかげんに作られても、今度、漫画のイメージが壊れちゃいますでしょう。だからお互いのイメージを守るみたいな形は取りましたね」

◇アニメ化の話はいつ頃来たんですか？

「えーと、六話……半年ぐらいたってからで、それでも早かったです」

◇アニメのキャラクターデザインには参加されましたか？

「ええ、アニメのキャラクターデザインていうのは全部やりました」

◇漫画の白黒の世界からすべてカラーになって、印象が違いましたが。

「ええ。それで模様がね、あの当時としては画期的だったらしいんですけどね、キャンディの着



る服なんかでも、アニメでは。でもやっぱり模様なんかはストライプがせいぜいで、花柄とかね、チェックとかは絶対無理だって最初から言われましたね」

◇話は変わりますが、アードレー一族の中で、エルロイ大おばさまはアルバートさんの何にあたるんですか？

「おばさまです。要するにアルバートさんのお父さんの……ちょっと待ってね記憶をバックするわね。えーとアルバートさんのお父さんっていうのがウイリアム大おじさまだったんですよ」

◇あ、そうなんですか！　じゃあ最初からアルバートさんじゃないんですね？

「そう。それでそのお父さんっていうのはアルバートさんが早いうちに亡くなっちゃっていて、で、大おばさまは……大おばさまのお兄さんになるのか弟になるのかちょっと定かじゃないんですけど、エルロイ大おばさまの兄弟なんですよ、アルバートさんのお父さんは。で、アルバートさんのお姉さんっていうのがアンソニーの亡くなったお母さんなんですね」

◇ローズマリーが。

「そうです。そうです」

◇そしてステアとアーチーのおかあさんのコーンウェル夫人がローズマリーのお姉さんになるんですか、年からいって。

「そうですね、お姉さんになりますね」

◇イライザたちのおかあさんのサラはローズマリーの妹あたりになるんですか？

「うーん、一応そういう親戚関係になるんですよね」

◇姉妹ですよね。

「に、なるんですよね」

BOX8 ♥ ENCYCLOPEDIA

・キャンディ小辞典

1998年には、いがらし先生はマンガ家になって30年を迎えるため、何かイベントを考えているそうです。それにむけて「キャンディを囲む会」を作り、先生ご自身もキャンディのファンとして会員になりたいお気持ちがあるとか。どんな企画があるのか楽しみですね。

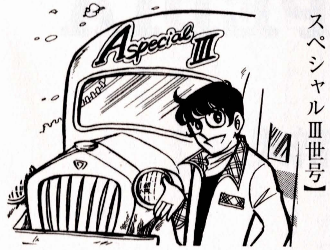
◇アルバートさんが末の長男で。
「そうそうそうそう」
◇あの、これはみんな読んでて気になったことだと思うんですが、ローズマリーに似ていると作中で言われてますよね。あれでローズマリーの子供なのかなと、ずーっと思ってきたんですけれども、実際のところは？
「謎ですね」
◇謎なんですか。
「やっぱりキャンディちゃんはポニーの丘に置き去りにされた赤ちゃんなんですよ（笑）」
◇じゃあ、似ているのは、そうかもしれないし、そうじゃないかもしれない。
「うん。……似てるっていうのはいっぱいいますでしょう。血縁関係がなくても」
◇最後に、今、先生の中で『キャンディ♡キャンディ』はどういう作品になっていますか。思い出の作品であるとか。
「思い出っていうよりは、やはり私の作品のひとつですね。どの作品も好きな部分でありますからね。たまたま『キャンディ』がヒットしたんであって、ヒットしなかった作品はじゃあ嫌いだっていうわけじゃないですから。やはり産んだ同じわが子みたいなものですから。描き続けている以上、どの作品も好きなシーンをいっぱいもってますし、ちゃんとこういうふうにして描きたいなっていう思いはそれぞれにありますから」
◇みんなかわいいわが子といった感じですか。
「そのうちの一人が、ちょっとがんばって、人気があったみたいで」●

ア行

【アーチー】コーンウェル家の次男坊。ステアの弟。本名アーチーボルト・コーンウェル。
【アードレー家】ウイリアム大おじさまの統べるスコットランド系の一族。大金持ちだが家業は不明。実業家とも思えるが、アルバートさんの不審な様子から考えると何か後ろ暗いところもあるのかもしれない。
【アードレー家本宅】シカゴにある。裏手に湖をもった大邸宅で門から屋敷まで歩いて三十分かかるという。
【アニー】キャンディの幼なじみ。
【アニーのリボン】ラガン家の馬小屋に結んであった。友情の証しと思われるが、後にそのせいで泥棒騒ぎが盛り上がった。



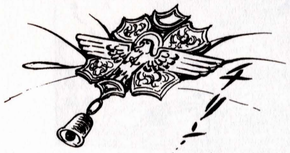
【アパートのおばさん】キャンディとアルバートさんがシカゴで借りていたアパートの住人。いろいろと親切にしてくれたが、アルバートさんをギャングだと疑ってからはよそよそしくなった。
【アメリカ……シカゴ……】記憶を失ったアルバートさんのうわごと。それだけでイタリアからシカゴまで運んでもらえるのだから人の世も捨てたものではない。
【アリステア　スペシャルⅡ世号】ステアの造った自動車。Ⅰ世号に続き、湖の底へ沈んだ。
【アリステア　スペシャルⅢ世号】Ⅱ世号の後、二年間車は造らなかったらしい。バン型のキャンピングカー。彼女ができて実用度を増した。



【アルバートさん】本名ウイリアム＝アルバート＝アードレー。
【アンソニー＝ブラウン】キャンディの初恋の人。
【アンソニーの写真】クルス、バッジと共にキャンディの三大宝物のひとつ。
【石の門】レイクウッドの別荘にある門でアーチーのデザイン。
【いやなことを忘れるおまじない】という建前をもったおでこへのキス。アルバートさんのテクのひとつ。



【イライザ＝ラガン】ラガン家のお嬢様。
【ウイリアム＝アルバート＝アードレー】アードレー家の総帥。大おじさま。アルバートさんの本名。
【馬小屋】度々お世話になる。ラガン家ではキャンディの寝床、聖ポール学院では密会の場所、一文無しのときは宿代わり。
【エリナ＝マンシー】メリー＝ジェーン看護学校の看護生。
【エルロイ大おばさま】アードレー家の総長。
【『エレガンス』と『フレンチドールの夢』】イライザとニールのいじわる。架空の本をキャンディに買ってくるように頼んだ。実在の本の名と合わせるなど手が込んでいる。
【エレノア＝ベーカー】テリィの母。ブロードウェイの大女優。
【王子さまのバッジ】拾い物。落とし主は丘の上の王子さま。アードレー家の紋章をかたどったものでアードレー家の男子の持ち物である。キャンディの宝物となった。



【大おじさま】アードレー家の総帥。一族が誰も会ったことがないという謎の人物。とにかく偏屈、変人といわれていた。
【大家のおばさん】シカゴでアパート経営している。キャンディとアルバートさんに部屋を貸した。
【丘の上の王子さま】六歳のキャンディがポニーの丘で出会った少年。キルトを着てバグパイプを持っていた。
【オッチョコチョイ】メリー＝ジェーン先生がつけたキャンディの愛称。

カ行

【カウボーイ頭】カートライト牧場で働く男。乳牛を千頭増やすための牧場拡張をまかされ、じゃまなポニーの家をつぶそうとした。
【カーソンさん】サウザンプトン港近くに住む偏屈な農夫。
【カートライトさん】ポニーの家の地主。
【カートライト牧場】カートライトさんの経営する牧場。
【カレン＝クライス】スザナの代役のジュリエット。
【がんこばばあ】シスター　グレーの別名。



【看護婦のたまご】ロンドンからアメリカへの道中で、進むべき道を探していたキャンディが二回使った方便。うそからでた誠。
【記憶喪失】白血病と共に少女マンガではポピュラーな病気。アルバートさんは一年間患った。
【キザ貴族】アーチーが使うテリィの呼び名。

【きつね狩り】第一次世界大戦前にはやったお金持ちのスポーツ。抜け駆けをしようと道をそれたりするのは、危険なので止めましょう。



【キャンディ】『キャンディ♡キャンディ』の主人公。

【キャンディ親分】ポニーの家でキャンディはこう呼ばれている。出戻りの貫録。

【キャンディ親分の雪像】キャンディの子分が帰還を祝って雪で作った像。そばかす鼻にミカンを使うなどなかなかのセンス。



【御者】馬車を御する。いろいろな人がいる。強盗におびえる者、達観している者、料金をふみたおされる者。

【キルト】スコットランドの民族衣装。アードレー家の男子の正装。しかしニールが着たことはない。

【クッキー】キャンディの密航仲間。

【グランチェスター公爵】テリィの父。イギリス貴族。

【クレマン中尉】ステアの入ったフランスの航空隊の将校。

【コーンウェル夫妻】ステアとアーチーの両親。

【婚約式】クライマックスを飾るキャンディとニールの婚約式。



サ行

【サマースクール】聖ポール学院主催の夏期研修。

【サム、ジェフ、スージー】カーソンさんの子供たち。

【サラ＝ラガン】アードレー家の娘でイライザたちの母。

【サンルーム】レイクウッドの別荘のサンルーム。アルバートさんは午前中一杯そこで過ごす。サンルームに一族の肖像画を飾るのは賛成できない。

【シカゴ自然公園】アルバートさんのお気に入りの場所。

【シカゴ動物研究所】記憶が戻ったアルバートさんのシカゴでのうその勤務先。

【シスター クライス】聖ポール学院の教師。

【シスター グレー】聖ポール学院の院長。

【シスター マーガレット】聖ポール学院のシスター。

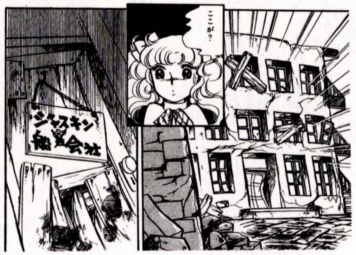
【実験室】聖ポール学院にある、ステアが名づけた部屋。男子部にあって、女子立入禁止。

【ジミー】ポニーの家のキャンディの弟分。

【ジャスキンさん】カーソンさんの幼友達。弱小船会社社長。

【ジャスキン船会社】ジャスキンさんの経営するうさんくさい船会社。

【ジュディ＝ネッツ】メリー＝ジェーン看護学校の看護生。



【上流社会の歩き方】キャンディがラガン夫人から習得したもの。爪先だちでまっすぐ歩く。モデル歩き。



【ジョルジュ】アルバートさんの腹心。

【スイートキャンディ】アンソニーが作った新種のバラ。白バラで中央がうっすらと緑がかっている。



【スコットランドの別荘】アードレー家とグランチェスター家の別荘は案外近くにある。

【スザナ＝マーロウ】ストラスフォード劇団の看板女優。

【スチュアート】ラガン家の運転手。

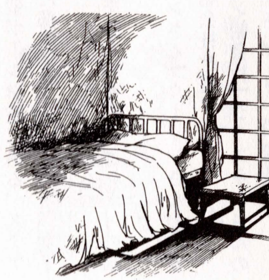
【ステア】コーンウェル家の長男。本名アリステア＝コーンウェル。

【ステアの絶筆】このかぎりなく広がる夕やけをいつかきみに見せてやりたい……。

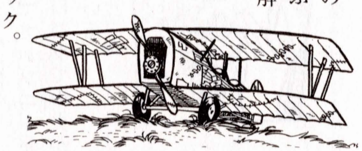
【ストラスフォード劇団】テリィの入団したブロードウェーの人気劇団。『リア王』、『リチャードⅢ』、『ロミオとジュリエット』とシェークスピア専門らしい。ストラスフォードとはシェークスピアの生地の名。

【聖ポール学院】ロンドンにある寄宿制の名門校。良家の子女を預かっているが、通うことも可能らしい。女子に対しては良き妻、良き母をつくる教育方針で男女交際にきびしい。そのほかも規律が多く、罰のため反省室と学生牢が

ある。イギリスらしく女子寮、男子寮それぞれに特別室がある。制服が定められ、特に女子は礼装と普段着の二種がある。
【聖ヨアンナ病院】メリー＝ジェーン看護学校の本校にあたるシカゴの外科専門の病院。
【セオドラ】聖ポール学院でのテリィの馬。
【0号室】聖ヨアンナ病院の身元不明者や犯罪者などを収容する汚らしい病室。西日しかあたらない。アードレー家の総帥を入れていたことがばれたら、この病院はどうなるのだろうか。



【空の王者号】ステアのつくった飛行機。飛ぶには飛んだが空中分解に終わった。



タ行

【ダグ】ラガン家のコック。
【ターザンガール】テリィがつけたキャンディのあだ名。
【ターザンそばかす】ターザンガールとレディー＝そばかすの融合。
【ダニエルさん】ヨセフ病院の患者。片足は切断しないですんだのだろうか。

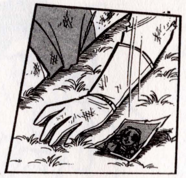


【誕生日】キャンディがポニーの家に拾われた日。又はアンソニーがスイートキャンディをくれた日。
【チエの輪】マーチン先生の趣味。ヒステリーを治す薬。



【中世ヨーロッパにおける統計学的体系】ステアがイライザたちを遠ざけるために使ったでまかせ。
【デイジー＝ディルマン】ニールを慕っているお嬢様。
【テリィ】グランチェスター家の長男。本名テリュース＝G＝グランチェスター。
【動物コンサルタント】アルバートさんの作った架空の仕事。
【ドミィ】ステアの戦友。本名ドミール＝ロアン。

【ドミィの彼女】家族を戦争で殺されたドミィの心にやすらぎをあたえた。



【トム】キャンディと同期のポニーの家の子。農家にもらわれた。



【ドリス】アードレー家の使用人。
【トンゴ】ボトムサーカスのライオン。

ナ行

【ナタリー＝ビンス】メリー＝ジェーン看護学校の看護生。首席で看護婦試験をパスした。
【にせポニーの丘】聖ポール学院の裏庭にある小高いしげみ。ポニーの丘に似ていることからキャンディがそう呼んだ。



【ニーブン船長】キャンディが密航した船の船長。
【ニール＝ラガン】ラガン家の長男。
【乗合馬車】近い場所への主な交通手段。ときどきキャンディに無賃乗車される。

ハ行

【バグパイプ】スコットランドの民族楽器。アードレー一族の男子には必修のようだがニールが吹いたことはない。



【ハッピー診療所】シカゴのマーチン先生の診療所。人間、イヌ、ネコなんでも歓迎。アルバートさんが車にはねられたときに、かつぎ込まれた。後のキャンディの就職先。



【パティ】キャンディの親友。ステアの彼女。本名パトリシア＝オブライエン。
【ハーディ＝シュニッツェル】ドイツ軍の凄腕のパイロット。ドミィの仇。
【話し相手】将来使用人にする予定のお坊ちゃま、お嬢様のおもちゃ。
【花の精】五月祭の花形。五月生まれの

女の子が選ばれた。
【ハーモニカ】未成年のテリィがタバコの代わりにふかしている。キャンディへの愛のなせる技。
【バラの門】レイクウッドの別荘のアンソニーの門。通常の出入りにはもっぱらこの門を使う。
【ヒューリィ】パティのペットのカメ。
【プッペ】アルバートさんのペットのスカンク。
【ブラウン】アンソニーの父。
【フラニー】メリー＝ジェーン看護学校の優秀な看護生。
【フランク先生】ヨセフ病院の医師。マクレガーさんの担当医だった。



【ブライトン夫妻】アニーをひきとったお金持ち。



【ブルーリバー動物園】ロンドンのアルバートさんの勤務先。アメリカで人の飼い動物を捕獲して成り立たせているらしい。
【変装】



【ホイットマン】ラガン家の庭師。
【ボウフマン大尉】ステアの入ったフランスの航空隊の将校。



【ボトムサーカス】ライオンのトンゴを逃がしてアルバートさんに怪我をさせたシカゴのサーカス団。
【ポニー先生】ポニーの家の院長。
【ポニー先生とレイン先生にささげる歌】ホッカホカのチキンパイそれはポニー先生、あまくてトロロンチーズケーキそれはレイン先生、ポニーの家はおかしの家、たのしたのしいおかしの家、だいすきだいすきポニー先生レイン先生。
作／キャンディ
【ポニー先生のクルス】一二才でポニーの家を出るときに先生がキャンディに

くれたもの。キリストならぬマリアのついたロザリオ。



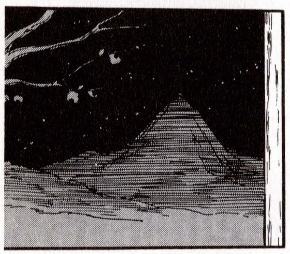
【ポニーの家】ミシガン湖の南にある小さな村の教会。身寄りのない子供をあずかっている。



【ポニーの丘】ポニーの家から続く丘。
【ホワイトパーティー】何もかも白ずくめのガーデンパーティー。スコットランドでイライザがテリィのために主催した。パーティーとはいえ顔触れはいつもと同じ。

マ行

【マウント＝ロドニ】イギリス、サウザンプトン港の近くにある山。その向こうには天国があるという。



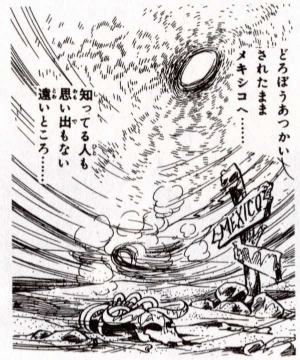
【マクレガーさん】キャンディの最初の担当患者。
【マーチン先生】ハッピー診療所の医師。
【マーロウ夫人】スザナの母。
【マリー】聖ポール学院でのイライザの友達。



【水の門】レイクウッドの別荘のステアの門。つってある石に触れると開く仕掛けになっている。仕組みが気になる。
【ミーナ】マクレガーさんのペットの犬。
【メアリー】ラガン家の使用人。
【五月祭（メイ＝フェスティバル）】聖ポール学院で年に二度行われるお祭りのひとつ。学園祭。



【メキシコ】地獄のようなところ。



【メリー＝ジェーン看護学校】ヨセフ病院の付属看護学校。ポニーの家から馬車で四時間ほどの町にあり、働きながら学べる。

【メリー＝ジェーン先生】メリー＝ジェーン看護学校の校長。

【モリス軍曹】ステアの入ったフランス航空隊の軍曹。シャンパーニュで落命。

ヤ行

【ヤコブ病院】スザナが入院したニューヨークの病院。

【ヨセフ病院】看護生と学校長に看護婦をさせる人手不足の病院。

ラ行

【ライラックのパイ】むしったライラックの花で飾ったパイ。女の子らしくてあこがれたが現実を考えると汚い。～ライラック　東ヨーロッパ南部原産のモクセイ科の落葉低木。欧米で花木として重用される。春、淡紫色の細かい花を房状に咲かせる。花言葉は〈初恋の味〉。これを家の中に持ち込むと不吉とされている。特に女の子が婚期を逃すという言い伝えがある。

【ラガン】イライザたちの父。サリーちゃんのパパに似ている。



【リア王】ストラスフォード劇団がシカゴで慈善公演をしたときの出し物。テリィはフランス王だった

【臨時収入】出所不明のアルバートさんのポケットマネー。結構高額。

【ルイゼ】聖ポール学院でのイライザの友達。

【レイクウッド】ポニーの家から車で三、四時間のところにある。ラガン家の屋敷とアードレー家の別荘がある。

【レイン先生】ポニーの家の先生。

【レディー＝そばかす】テリィが最初につけたキャンディの愛称。

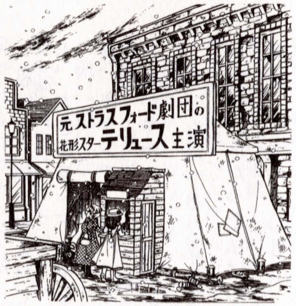
【レナード副院長】聖ヨアンナ病院の副院長。

【ろう人形】レイクウッドの別荘の三階の廊下にある代々のアードレー家の先祖の人形。南の塔が十時を打つと歩きだすらしい。



【ローズマリー】アンソニーの母。

【ロックスタウン】アルバートさんが落ちぶれたテリィに会わせるためキャンディをおびきだした町。これを「駄目押しのロックスタウン」という。場末の劇場でテリィが『胸さわぎ』を演じていた。



【ロバート＝ハサウェイ】ストラスフォード劇団の団長。シカゴの市長と親しい様子。

【ロミオとジュリエット】五月祭でのキャンディの仮装。テリィとの間では「思い出の～」といわれている。また、テリィが劇団に入って初めて主役をもらった劇。

ワ行

【わたしはうそつきです】シスター　クライスが生徒に反省を促す恐ろしい罰。黒板に書いて授業時間中その前にたたせる。こんなことを続けたらグレるに違いない。



さいごに

『キャンディ♡キャンディ』は一九七五年四月から七九年三月まで月刊『なかよし』に連載され、七七年七月には第一回講談社漫画賞を受賞した。

私は六八年に生まれて七五年四月に小学校に入学した。桜の花びらの舞い散る中、大きなランドセルを背負い、不安とときめきを胸に小学校の門をくぐったとき、キャンディはバラの花びらにかこまれてうぶ声をあげていたのである。しかし私がキャンディと出会ったのはもう少しあとになってからのことだ。

今でもはっきり覚えている。内弁慶で友達とおままごとをするよりも絵本を読む方が好きだった私はめったに友人の家に遊びに行くような子ではなかったが、小学校二年生のその日は、なかば強引に、それほど親しく感じていたわけでもないクラスメイトに、一学年上の「彼女のお友達」の家に遊びに連れて行かれたのだ。初対面の「彼女のお友達」の家で、クラスメイトは楽しく遊び始めたが、どうにもなじめず、習慣で本棚をながめているうちオレンジ色の（既に表紙が取れていた）小さな本を見つけて手に取った。

それが『キャンディ♡キャンディ』だったのだ。

本を開いたが、絵本でも童話でも小説でもないらしく、絵の横の丸い囲いに人の話した言葉が書かれている不思議な画面にまず驚いた。私の漫画との初めての出会いである。「これなぁに?」と問うと、「彼女のお友達」は「それ、面白いよ」と答えにならない返事をくれた。これに「読書好き」を自称していた私のプライドは突然反応した。私はそれがどういうジャンルのものか知らないことを暴露するのが許せなくなり、「ふーん」と知ったかぶりをして、私に読めないはずがないとばかりに猛然と読み始めたのだ。そして数ページもめくらないうちに、キャンディの世界へ入り込んでいった。

声をかけられてそこが友人の家であることを思い出したのは、キャンディと一緒にアードレー家の三階の一番奥の部屋に閉じ込められたときだった。「近藤さん、一緒に遊ばないとつまんない。外で遊ぼう」と、パッと本を取り上げられて、無理矢理現実に引き戻され、それまで感じたことのないほどの喪失感に自分で驚きながらうわのそらで遊んだ。遊びつつもしつこくあの話の続きはどうなるのかたずねて「もう二巻も出てるよ」とさらなる希望をもたされた。そのあと自分がどのようにして家へ帰ったのかまったく記憶にない。私の記憶はそこから一気に数日後の本屋の入り口へと飛ぶ。

文部省が推薦してしまうような児童文学や絵本などを愛していた私は、もちろ

ん、ねだればそれらを母が買ってくれる本屋が大好きだった。しかし一人で入ったことは一度もなかった。一人でのぞく本屋は、店員や立ち読みをしているお兄さんお姉さんがとても大きく見えて、すごくこわかったのだが、「知りたい、あの続きがどうなったのか、どうしても読みたい！」というコケの一念で入り、そこで『キャンディ♡キャンディ』の新刊として出たばかりの三巻を発見。売り切れていた一、二巻をなんと注文して来てしまうという大躍進ぶりで、私の漫画漬けの少女時代は始まりを告げたのであった。

私は今でもそらでキャンディやアニーを描くことができる。漫画という文化を教えてくれた、それは人が創るものと教えてくれた、『キャンディ』を今でも描けるこの手は、真似して絵を描きまくった私の少女時代の大切な遺産である。

（近藤　恵）

●本書の売上げの一部は、財団法人 日本フォスター・プラン協会に寄附され、開発途上国の子どもたちのための教育関連プロジェクト資金として使われます。これは、孤児院ポニーの家で育ったキャンディに、人生を切り拓くチャンスを与えたウイリアム大おじさまに学んでのものです。「フォスター・プラン」は民間の国際援助機関で、世界40カ国以上で活動を行なっています。

●JASRAC　出9662105-601

キャンディ♡キャンディBOX

1996年 10月 14日　第１刷

著　者　川上千恵子
　　　　近　藤　恵
発行者　田村　隆英

定価はカバーに表示してあります。

発行所　株式会社情報センター出版局
東京都新宿区四谷 2-1
四谷ビル　〒160
電話　03(3358)0231
振替　00140-4-46236

ISBN4-7958-2242-5

印刷　萩原印刷所